

PROFESSIONAL DIGITAL TWO-WAY RADIOS

MOTOTRBO™

XiR™ M6660

ALPHANUMERIC DISPLAY MOBILE



- ① EN USER GUIDE
- ② 簡 用户手册
- ③ ID PEDOMAN PENGGUNA
- ④ JP ユーザーガイド
- ⑤ KO 사용 설명서





**MOTOROLA**

MOTOTRBO XiR™ M6660

英数字ディスプレイ移動無線機  
ユーザーガイド

68012008034-A

## 目次

このユーザーガイドには、MOTOTRBO XiR M6660 車載型無線機を使用する上で必要なすべての情報が記載されています。

### 重要な安全情報 ..... vi

業務用移動無線機の電磁波エネルギー被曝  
および製品安全性ガイド .....vi

### ソフトウェアバージョン ..... vi

### コンピュータ ソフトウェア著作権 .....vii

### はじめに ..... 1

このガイドの使用方法 ..... 1  
 ディーラー/システム管理者からの情報 ..... 2  
 無線機の電源を入れる ..... 2  
 音量の調節 ..... 3

### 無線機コントロールの特定 ..... 3

無線機コントロール ..... 4  
 プログラム可能なボタン ..... 5  
 指定可能な無線機機能 ..... 5  
 指定可能な設定/ユーティリティ機能 ..... 7  
 プログラムされた機能のアクセス ..... 7  
 プッシュアウトーク (PTT) ボタン ..... 8  
 一般アナログモードとデジタルモードの  
切り替え ..... 8

IP サイト コネクト ..... 9

### ステータス インジケータの特定 ..... 10

ディスプレイ アイコン ..... 11  
 通話アイコン ..... 12  
 ミニ通知アイコン ..... 13  
 送信 BOX アイコン ..... 13  
 LED インジケータ ..... 14  
 インジケータ トーン ..... 15  
 音声トーン ..... 15

### 通話の着信と発信 ..... 15

ゾーン選択 ..... 16  
 チャネル選択 ..... 16  
 無線通話の受信と応答 ..... 17  
 グループコールの受信と応答 ..... 17  
 個別コールの受信と応答 ..... 18  
 一斉コールの受信 ..... 19  
 選択コールの受信と応答 ..... 19  
 コールの受信と応答 ..... 20  
 個別コールとして電話 ..... 20  
 グループコールとしての無線電話 ..... 20  
 一斉コールとしての無線通話 ..... 21  
 無線通話の発信 ..... 21  
 グループコールの発信 ..... 22  
 個別コール発信 ..... 22  
 一斉コールの発信 ..... 23

電話コールの発信	24
通話を行う	24
無線通話の停止	26
ダイレクトモード	26
連続モニタ	27
<b>高度な機能</b>	<b>28</b>
無線機チェック	29
無線機チェックの送信	29
リモート モニタ	30
リモート モニタの開始	30
リモート モニタの停止	31
スキャン リスト	32
スキャン リスト内のエントリの表示	32
スキャン リストの編集	33
スキャン リストへの新規エントリの追加	33
スキャン リストからのエントリの削除	33
スキャン リスト内のエントリの優先度の設定と編集	34
スキャン	35
スキャン開始と停止	35
スキャン中の送信への応答	36
迷惑チャネルの削除	36
迷惑チャネルの復元	36
基地局選択スキャン	37
連絡先設定	37

連絡先からのグループ コール発信	38
連絡先からの個別コール発信	39
プログラミング可能な数値キーにエントリを割り当てる	39
エントリとプログラミング可能な数値キー間の関連付けの削除	40
既定の連絡先の設定	41
新規登録	42
通話インジケータ設定	42
着信音のオンとオフの切り替え (ページング用)	42
着信音のオンとオフの切り替え (個別コール用)	43
着信音のオンとオフの切り替え (選択コール用)	43
着信音のオンとオフの切り替え (テキストメッセージ用)	44
警告トーンの音量を上げる	45
通話履歴機能	46
最近の通話の表示	46
通話リストからの通話の削除	46
通話リストからのすべての通話の削除	47
ページング操作	48
ページングの受信と応答	48
連絡先リストからのページング	48

ワンタッチ アクセス ボタンを使用し たページング .....	49	クイック テキストでのテキスト メッセージへの返信 .....	61
緊急操作 .....	49	受信トレイのメッセージの削除 .....	62
緊急アラームの受信 .....	50	受信トレイの全メッセージの削除 .....	62
緊急アラームへの応答 .....	50	アナログ メッセージ .....	63
緊急アラームの送信 .....	51	統制台への MDC メッセージの送信 .....	63
通話による緊急アラームの送信 .....	52	連絡先への 5 トーン メッセージ の送信 .....	64
緊急アラームと音声ガイドの送信 .....	53	アナログ ステータス更新 .....	64
緊急モードの再開 .....	54	定義済み連絡先へのステータス更新の送信 .....	64
緊急モードの終了 .....	54	5 トーン ステータスの詳細の表示 .....	65
テキスト メッセージ機能 .....	55	プライバシー .....	65
クイック テキスト メッセージの送信 .....	55	アナログ スクランブル .....	66
ワンタッチ アクセス ボタンでクイック メッセージを送信 .....	55	アナログ スクランブルのオンとオフの切り替え .....	67
送信失敗メッセージの管理 .....	56	アナログ スクランブル コードの設定 .....	67
メッセージの再送信 .....	56	複数サイト コントロール .....	68
メッセージの転送 .....	56	自動サイト検索の開始 .....	68
送信済みメッセージの管理 .....	57	自動サイト検索の停止 .....	69
送信済みメッセージの表示 .....	57	手動サイト検索の開始 .....	70
送信済みメッセージの送信 .....	57	セキュリティ .....	71
送信 BOX からの全送信済みメッセージの 削除 .....	59	無線機停止 .....	71
メッセージの受信 .....	59	停止解除 .....	72
メッセージの表示 .....	59	ローン ワーカー .....	73
受信メッセージの管理 .....	60	通知リスト .....	73
受信トレイのメッセージの表示 .....	60	通知リストへのアクセス .....	74
		オートレンジ トランスポンダ システム (ARTS) ..	74
		無線 (Over-the-Air) プログラミング (OTAP) .....	75

ユーティリティ	75	ソフトウェア更新	87
無線機トーン/警告のオンとオフの切り替え	75	<b>キーパッドマイクの機能</b>	<b>88</b>
トーンアラートボリュームオフセット		キーパッドの使用	89
レベルの設定	76	キー操作音のオンとオフの切り替え	90
許可トーンのオンとオフの切り替え	77	高度な追加機能	90
パワーアップアラートトーンのオン/オフの切り替え	77	エイリアス検索によるゾーン選択	90
メッセージ警告トーンの設定	78	手動ダイヤルによる無線機チェックの開始	91
送信出力の設定	78	手動ダイヤルによるリモートモニタの開始	92
表示輝度の調整	79	手動ダイヤルによる個別コール	92
ホーン/ライトのオン/オフの切り替え	79	手動ダイヤルによる無線通話	93
スケルチレベルの設定	80	ワンタッチアクセスボタンを使用した通話	95
LED表示のオンとオフの切り替え	81	プログラミング可能な数値キーを使用した、グループ、個別コール、または一斉コールの実行	96
言語	81	プログラム可能な通話ボタンを使用した無線通話の発信	97
音声起動送信 (VOX) 機能のオンとオフの切り替え	82	エイリアス検索によるグループコール、個別コール、または一斉コールの実行	101
オプションボード機能のオンとオフの切り替え	83	エイリアス検索を使用したスキャンリストへのエントリの表示	102
音声ガイド	83	エイリアス検索を使用したスキャンリストの編集	103
通話転送	84	スキャンリストへの新規エントリの追加	103
アナログ Mic AGC (Mic AGC-A)	84	スキャンリストからのエントリの削除	104
デジタル Mic AGC (Mic AGC-D)	85	スキャンリスト内のエントリの優先度の設定と編集	104
インテリジェントオーディオ	85		
一般無線機情報へのアクセス	86		
無線エイリアスとIDをチェックする	86		
ファームウェアバージョンとコードプラグバージョンのチェック	87		

通話リストからのエイリアスまたは ID の保存	105	?????	114
手動ダイヤルによるページング	106	????	114
RSSI 値	106	??	114
テキスト メッセージング	107	????	115
送信失敗メッセージの管理	107	????????	115
手動ダイヤルによるテキスト メッセージの 転送	107	その他アクセサリ	115
デュアル トーン マルチ周波数 (DTMF)	108		
セキュリティ	108		
手動ダイヤルによる無線機の停止	108		
手動ダイヤルによる無線機停止の解除	109		
パスワード ロック機能	110		
パスワードを使用した無線機へのアクセス	110		
無線機をロック ステータスからロック 解除する	111		
パスワード ロックのオン/オフを切り換える	111		
パスワードの変更	112		
正面パネル プログラミング (FPP)	113		
FPP モードの開始	113		
FPP モード パラメータの編集	113		

## 重要な安全情報

### 業務用移動無線機の電磁波エネルギー被曝および製品安全性ガイド

#### 注意！

この無線機の利用は、業務用に限定されています。本無線機をご使用になる前に、『業務用車載型無線機の電磁波エネルギー被曝および製品安全性ガイド』をよくお読みください。安全にお使いいただくための取り扱い方法と、電磁波エネルギーについての重要な説明が記載されています。また、電磁波エネルギー被曝限度についての該当基準および法規制に対する適合情報の説明も記載されています。

Motorola 承認アンテナ、バッテリー、その他アクセサリのリストは、以下のウェブサイトをご覧ください。

<http://www.motorolasolutions.com>

### タイで利用可能なモデル

อุปกรณ์โทรคมนาคมนี้ได้ปฏิบัติตามข้อกำหนดของคณะกรรมการกิจการโทรคมนาคมแห่งชาติ

この通信機器は、National Telecommunications Commission の要件に適合しています。

### ソフトウェアバージョン

以下の項で説明されているすべての機能が、無線機ソフトウェアバージョン **R01.00.00** でサポートされます。

無線機のソフトウェアバージョンを確認するには、87 ページの「ファームウェアバージョンとコードプラグバージョンのチェック」を参照してください。

サポートされる機能の詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

## コンピュータ ソフトウェア著作権

本マニュアルに記載されている Motorola 製品には、半導体メモリやその他メディアに保管されている著作権取得済み Motorola コンピュータ プログラムが含まれている場合があります。米国およびその他諸国の法律で、著作権取得済みのコンピュータ プログラムの一定の独占権が Motorola のために保護されています。この際、著作権取得済みコンピュータ プログラムを形式を問わず複製あるいは再生する独占権が含まれますが、これに限定されません。従って、本マニュアルで説明される Motorola 製品に含まれるいかなる著作権取得済み Motorola コンピュータ プログラムをも、Motorola からの書面による明示的な許可なしに、いかなる方法においても複製、再生、修正、リバース エンジニアリング、配信してはなりません。さらに、Motorola 製品の購入は、直接的あるいは黙示的、禁反言的、またはその他の方法によって、Motorola の著作権、特許または特許アプリケーションの対象となる一切のライセンスを付与するものとはみなされないものとします。ただし、製品の販売において法の運用によって生ずる通常の非独占的な使用ライセンスについては、この限りではありません。

本製品に組み込まれている AMBE+2™ 音声コーディング技術は、Digital Voice Systems, Inc. の特許、著作権、企業秘密を含む知的所有権で保護されています。

この音声コーディング技術は、この通信機器の範囲内での使用のみを対象にライセンス付与されています。この技術を使用するユーザーは、オブジェクトコードを逆コンパイル、リバース エンジニアリング、逆アセンブルしようと試みることを、またはいかなる方法においてもオブジェクトコードを人間が読み取り可能な形式に変換しようと試みることを明確に禁じています。

米国特許番号 #5,870,405、#5,826,222、#5,754,974、#5,701,390、#5,715,365、#5,649,050、#5,630,011、#5,581,656、#5,517,511、#5,491,772、#5,247,579、#5,226,084、#5,195,166。

### オープン ソース ソフトウェアの法定通知

この Motorola 製品にはオープン ソース ソフトウェアが含まれています。ライセンス、承認、必要な著作権表記、その他の使用条件の詳細については、次の Web ページにあるこの Motorola 製品の文書を参照してください。

<https://asiaonline.motorolasolutions.com>

メモ

## はじめに

まずは以下をご確認ください:

このガイドの使用方法 . . . . .	1 ページ
ディーラー/システム管理者からの情報 . . . . .	2 ページ
無線機の電源を入れる . . . . .	2 ページ
音量の調節 . . . . .	3 ページ

## ■ このガイドの使用方法

このユーザー ガイドでは、MOTOTRBO 車載型無線装置の基本的な操作方法を説明しています。

ただし、ディーラーやシステム管理者が、特定のニーズのために無線機をカスタマイズしている可能性もあります。詳しくは、ディーラーかシステム管理者にご確認ください。

このガイドでは、一般アナログ モードと一般デジタル モードのみの機能を区別するために、2 つのアイコンが使われています。



一般アナログ モードのみの機能を示しています。



一般デジタル モードのみの機能を示しています。

アナログとデジタルの両方のモードで利用可能な機能については、アイコンは表示されません。

一般複数サイト モードで利用可能な機能の詳細については、9 ページの「IP サイト コネクト」を参照してください。

## ■ ディーラー/システム管理者からの情報

以下については、ディーラーまたはシステム管理者にご相談ください。

- 無線機は、事前設定のチャンネルがプログラムされているか？
- 他の機能にアクセスするためにどのボタンがプログラムされているか？
- どのオプション アクセサリが自分のニーズに対応するか？
- 効果的に通信するには、無線機をどのように使用すれば良いか？
- 無線機の寿命を延長するには、どのような保守手段が役立つか？

**注：** 仕様は無線機のモデルにより異なることがあります。詳しくは、ディーラーかシステム管理者にご確認ください。

## ■ 無線機の電源を入れる

**[オン/オフ] ボタン**を短く押します。無線機のディスプレイには、MOTOTRBO (TM) が短時間表示された後、WELCOME のメッセージまたはようこそ画面が表示されます。

LED が緑色に点灯し、ホーム画面のライトが点灯します。

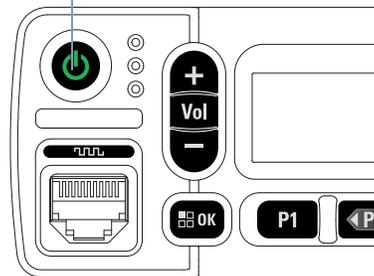
短いトーン音は、電源テストが成功したことを示しています。

**注：** 無線機トーン/アラート機能が無効になっている場合、パワー アップ トーンはありません (75 ページの「無線機トーン/警告のオンとオフの切り替え」を参照)。

無線機の電源が入らない場合は、ディーラーにお問い合わせください。

無線機の電源を切るには、無線機のディスプレイに [でんげん シャットダウン] が表示されるまで [オン/オフ] ボタンを押し続けます。

オン/オフ ボタン

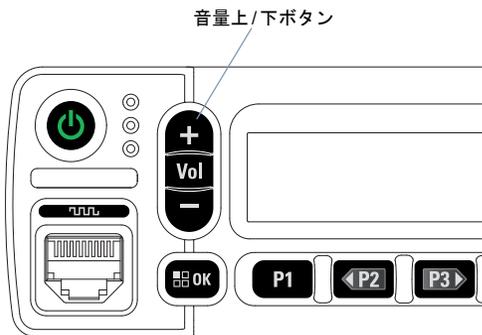


**注:** 無線機がロックされてボタンを押しても反応がない場合は、最低 7 秒以上オン/オフ ボタンを押し続けます。これにより無線機が強制的にリセットされます。

無線機の電源が完全にオフになるまでに、最長 7 秒間かかる場合があります。

## ■ 音量の調節

音量を上げるには、音量の **[+]** ボタンを押します。



音量を下げるには、音量の **[-]** ボタンを押します。

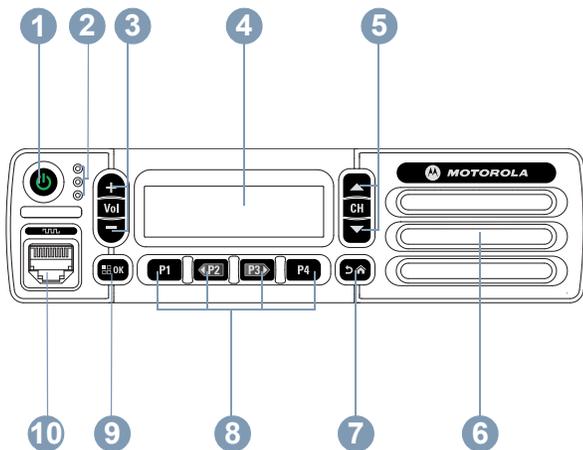
お使いの無線機は、音量が最小となるようプログラム設定できます。音量レベルは、プログラムで設定された最小音量より小さくすることはできません。詳しくは、ディーラーかシステム管理者にご確認ください。

## 無線機コントロールの特定

まずは以下をご確認ください:

無線機コントロール	4 ページ
プログラム可能なボタン	5 ページ
プログラムされた機能のアクセス	7 ページ
プッシュアウトーク (PTT) ボタン	8 ページ
一般アナログ モードとデジタル モードの切り替え	8 ページ
IP サイトコネク	9 ページ

## ■ 無線機コントロール



- 1 オン/オフ ボタン
- 2 LED インジケータ
- 3 音量上/下ボタン
- 4 表示
- 5 チャンネル上/下ボタン

- 6 スピーカー
- 7 ホーム/戻るボタン
- 8 正面プログラム可能ボタン
- 9 メニュー /OK ボタン
- 10 マイク/アクセサリ コネクタ

## ■ プログラム可能なボタン

ボタンを押す長さに応じ、無線機の機能または最高6つまでのプリセットされたチャンネル/グループへのショートカットとして、プログラム可能なボタンをプログラミングできます。

- 短押し – 押してすぐに離します。
- 長押し – プログラムされた長さの間、押し続けます。
- 押し下げる – ボタンを押し続けます。

**注:** ボタン押しの長さをプログラミングすれば、割り当てる無線/ユーティリティの機能や設定に適用できます。  
緊急ボタン押しの長さをプログラミングする詳細については、49ページの「緊急操作」を参照してください。

### 指定可能な無線機機能

**アナログスクランブル**  – アナログスクランブルのオンとオフを切り替えます。

**連絡先** – 連絡先リストに直接アクセスできます。

**ページング** – 連絡先リストに直接アクセスして、ページングの送信先となる連絡先を選択できるようにします。

**通話転送**  – 通話転送機能のオンとオフを切り替えます。

**通話履歴** – 通話履歴のリストを選択します。

**緊急** – プログラムに応じて、緊急アラームや通話を始動またはキャンセルします。

**インテリジェントオーディオ オン/オフ** – インテリジェントオーディオのオンとオフを切り替えます。

**手動ダイヤル**  – プログラミングに従い、サブスクライバIDまたは電話番号を入力して個別コールまたは通話を開始します。

**手動サイトローミング**  – 手動サイト検索を開始します。

**モニタ** – 選択されたチャンネルのアクティビティをモニタします。

**通知** – 通知リストに直接アクセスできます。

**迷惑チャンネル削除** – 選択されたチャンネルを除く不要なチャンネルをスキャンリストから一時的に削除します。選択されたチャンネルとは、スキャンの開始元としてユーザーが選択したゾーン/チャンネルの組み合わせを指します。

**ワンタッチアクセス**  – 事前に定義した個別コール、無線通話、またはグループコール、ページングまたはクイックテキストメッセージを直接開始します。

**オプションボード機能** – オプションボード有効チャンネルで、オプションボード機能のオンとオフを切り替えます。

**連続モニタ** – 機能が無効になるまで、すべての無線機トラフィックの選択されたチャンネルをモニタします。

**通話**  – 連絡先リストに直接アクセスできます。

**秘話モード**  – プライバシーのオンとオフを切り替えます。

**無線エイリアスと ID** – 無線エイリアスと ID を提供します。

**無線機チェック**  – システム内の無線機がアクティブであるかどうかを確認します。

**停止解除**  – 相手の無線機を遠隔で停止解除できます。

**無線機停止**  – 相手の無線機を遠隔で停止できます。

**リモート モニタ**  – インジケータを表示せずに相手の無線機のマイクをオンにします。

**リピータ/ダイレクト モード**<sup>\*†</sup> – リピーターの使用と、別の無線機との直接的な通信とを切り替えます。

**スキャン** – スキャンのオンとオフを切り替えます。

**サイト情報** – 現在のサイトの音声ガイドメッセージを再生します (この機能は、音声ガイドが無効になっているときには利用できません)。

**サイト ロック オン/オフ**  – 自動サイト ローミングのオンとオフを切り替えます。

**ステータス** – ステータス リストメニューを選択します。

**メッセージ**  – メッセージメニューを選択します。

**リモート送信解除**  – インジケータによる通知なしに、リモートのモニタ対象無線機の送信を停止するか、または現在進行中の割り込み可能な通話を停止し、チャンネルを解放します。

**チャンネルの音声ガイド** – 現在のチャンネルのゾーンとチャンネルアナウンス音声メッセージを示します。この機能は、音声ガイド機能が無効のときは使用できません。

**音声ガイド オン/オフ** – 音声ガイドのオン/オフを切り替えます。

**VOX (音声による送信操作)** – VOX のオンとオフを切り替えます。

**ゾーン選択** – ゾーン間で切り替えできます。

## 指定可能な設定/ユーティリティ機能

**全トーン/アラート** – すべてのトーンとアラートのオンとオフを切り替えます。

**アナログスクランブルコード**  – スクランブルコードを 3.29KHz と 3.39KHz の間で切り替えます。

**バックライト** – 輝度レベルを調節します。

**チャンネル上/下ボタン** – プログラミングに従い、チャンネルを次のチャンネルまたは前のチャンネルに切り替えます。

**送信出力** – 送信出力の高低を切り替えます。

**スケルチ**  – 通常と深めのスケルチレベルを切り替えます。

## プログラムされた機能のアクセス

以下の方法のいずれかを使用して、無線機のさまざまな機能にアクセスできます。

- 該当するプログラム可能なボタンを短く押すか、長く押す。

あるいは

- [メニュー ナビゲーション] ボタンを次のように使用する。

1 メニューにアクセスするには、 ボタンを押します。左側のナビゲーション ボタン ( または ) を押してメニュー機能にアクセスします。

2 機能を選択、またはサブメニューに入るには、 ボタンを押します。

3 1つ前のメニュー レベルに戻ったり、1つ前の画面に戻るには、 ボタンを押します。ホーム画面に戻るには、 ボタンを長く押します。

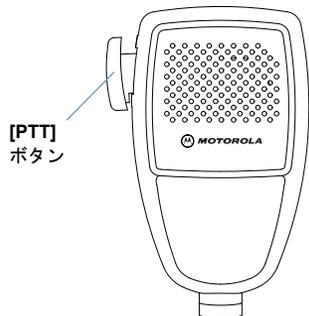
メニュー ナビゲーション ボタンはキーパッド付きマイクにもあります (89 ページの「キーパッドの使用」を参照)。

注: 一定時間操作しないと、無線機は自動的にメニューを終了し、ホーム画面に戻ります。

## ■ プッシュトゥートーク (PTT) ボタン

マイクの横側にある [PTT] ボタンには基本的に 2 つの用途があります。

- 通話中、[PTT] ボタンを使うと、無線機を通話中の他の無線機に送信できます。



[PTT] ボタンを押し下げて話します。[PTT] ボタンを離して聞きます。

[PTT] ボタンを押すと、マイクが有効になります。

- 通話していない間、新規通話を発信するには [PTT] ボタンを使います (21 ページの「無線通話の発信」を参照)。

通話許可トーン (77 ページの「許可トーンのオンとオフの切り替え」を参照) または [PTT] サイドトーン (🔊) が有効となっている場合、短い警告トーンが終了してから話します。

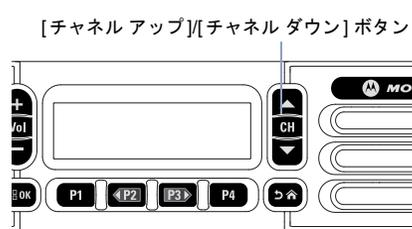
- 🔊 通話中、お使いの無線機でチャンネルフリー指示機能が有効になっている (ディーラーによってプログラムされている) 場合、相手先の無線機 (電話を受けている無線機) が [PTT] ボタンを離れた瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。

- 🔊 継続した通話禁止音が聞こえます。これは、無線機が緊急通話を受信した場合などに、[PTT] ボタンを放す必要があるという意味です。

## ■ 一般アナログモードとデジタルモードの切り替え

無線機の各チャンネルを、一般アナログチャンネルか一般デジタルチャンネルとして設定できます。

アナログチャンネルとデジタルチャンネルの間で切り替えるには、[チャンネルアップ] または [チャンネルダウン] ボタンを使用します。



デジタルモードからアナログモードに切り替えると、特定の機能が利用できなくなります。この切り替えにより、デジタル機能 (メッセージなど) のアイコンは「グレーアウト」します。無効な機能はメニューには表示されません。

無線機には、アナログとデジタルの両方のモードで利用できる機能もあります。ただし、それぞれの機能のわずかな違いが、無線機の性能に影響を及ぼすことはありません。

注: また、デュアルモードスキャン中にデジタルモードとアナログモードが切り替わります (35 ページの「スキャン」を参照)。

左右のナビゲーション ボタンを使用するには、必要なゾーンのホーム画面で、**[◀P2]** または **[P3▶]** を押して必要なチャンネルを選択します。

プログラムされた **[チャンネル アップ]** または **[チャンネル ダウン]** ボタンを使用するには、必要なゾーンのホーム画面で、**[チャンネル アップ]** または **[チャンネル ダウン]** を押して必要なチャンネルを選択します。

## ■ IP サイト コネクト

この機能を使用すると、無線機はインターネット プロトコル (IP) ネットワーク経由で接続されるサイトに接続して、従来の単一サイトでは通信範囲外となる地域と通信することが可能になります。

無線機があるサイトの通信範囲から別のサイトの通信範囲に移動すると、無線機は新しいサイトのリピーターに接続して、通話またはデータ送信を送受信します。設定に応じて、この切り替えは自動や手動で行われます。

無線機がこの切り替えを自動的に行うように設定されている場合、現在のサイトからの信号が弱くなったり、無線機が現在のサイトから信号をまったく検出できなくなった場合に、無線機はすべての利用可能サイトをスキャンします。その後、無線機は受信信号強度インジケータ (RSSI) 値が最も強いリピーターにロックします。

手動サイト検索では、無線機はローミング リスト内を検索して、現在通信範囲内にある次のサイト (ただし、信号強度が最も強いサイトとは限らない) を見つけ、そのサイトにロックします。

**注:** 各チャンネルは、スキャンまたはローミングのいずれか1つを有効にできますが、同時に両方を有効にすることはできません。

この機能が有効になっているチャンネルは、特定ローミング リストに追加されます。無線機は、自動ローミング動作時にローミング リスト内のチャンネルを検索し、最適なサイトを見つけてます。

ローミング リストは、最大 16 チャンネルをサポートします (選択されたチャンネルを含む)。

**注:** ローミング リストへのエントリの追加や削除は手動では行えません。詳しくは、ディーラーかシステム管理者にご確認ください。

## ステータス インジケータの特定

以下によって、お使いの無線機の操作ステータスが示されます:

ディスプレイ アイコン . . . . .	11 ページ
通話アイコン . . . . .	12 ページ
ミニ通知アイコン . . . . .	13 ページ
送信 BOX アイコン . . . . .	13 ページ
LED インジケータ . . . . .	14 ページ
音声トーン . . . . .	15 ページ
インジケータ トーン . . . . .	15 ページ

## ■ ディスプレイ アイコン

無線機の液晶ディスプレイ (LCD) には、無線機の状態、テキスト エントリ、メニュー エントリが表示されます。

以下は、無線機ディスプレイの最上部にあるステータス バーに表示されるアイコンです。アイコンはステータス バーに表示され、外観と使用法の順に左から右に配列され、チャンネル固有です。



### 受信信号強度インジケータ (RSSI)

バーの数で無線機の信号強度を表します。バーが 4 本のときが最大強度です。このアイコンは受信時にのみ表示されます。



### 緊急

無線機が緊急モードです。



### 大量データ

無線機は大量データを受信中で、チャンネルがビジーです。



### 通知

通知リストに、1 つ以上の不在イベントがあります。



### スキャン\*

スキャン機能が有効になっています。



### スキャン - 優先度 1\*

無線機は、優先度 1 に指定されたチャンネル/グループのアクティビティを検出します。



### スキャン - 優先度 2\*

無線機は、優先度 2 に指定されたチャンネル/グループのアクティビティを検出します。



### 基地局選択スキャン

基地局選択スキャン機能が有効です。



### モニタ

選択されたチャンネルをモニタ中です。



### ダイレクトモード\*

リピータがない場合、無線機は無線機間で直接通信を行うように設定されています。



### サイトローミング\*

サイトローミング機能が有効です。



### セキュア

秘話機能が有効です。



### 非セキュア

秘話機能が無効です。



### オプションボード

オプションボードが有効です。



### オプションボード非動作

オプションボードが無効です。



### 無線 (Over-the-Air) プログラミング遅延タイマー

無線機の自動再起動までの残り時間を示します。

**トーン無効**

トーンがオフです。

**高出力**

無線機は高パワーに設定されています。

## ■ 通話アイコン

以下は、通話中に無線機のディスプレイに表示されるアイコンです。これらのアイコンは、[連絡先] リストにも表示され、エイリアスや ID タイプを示します。

**個別通話**

個別コール中であることを示します。

[連絡先] リストでは、サブスクライバのエイリアス (名前) または ID (番号) を示します。

**グループコール/一斉コール**

グループコール中または一斉コールであることを示します。

[連絡先] リストでは、グループのエイリアス (名前) または ID (番号) を示します。

**個別コールとして通話**

個別コールとしてコール中であることを示します。

[連絡先] リストでは、電話のエイリアス (名前) または ID (番号) を示します。

**グループコール/一斉コールとして通話**

グループコール/一斉コールとしてコール中であることを示します。[連絡先] リストでは、グループのエイリアス (名前) または ID (番号) を示します。

## ■ ミニ通知アイコン

次のアイコンは、タスクを実行するアクションが行われた後で、無線機のディスプレイに瞬時的に表示されます。



### 送信に成功

アクションに成功しました。



### 送信に失敗

アクションに失敗しました。



### 通信処理中

送信中。このアイコンは、通信の成功または失敗を示す前に表示されます。

## ■ 送信 BOX アイコン

次のアイコンは、送信 BOX フォルダに表示されます。



### 送信完了

あるいは  
メッセージが無事送信されたことを示します。



### 送信失敗

あるいは  
メッセージを送信できません。

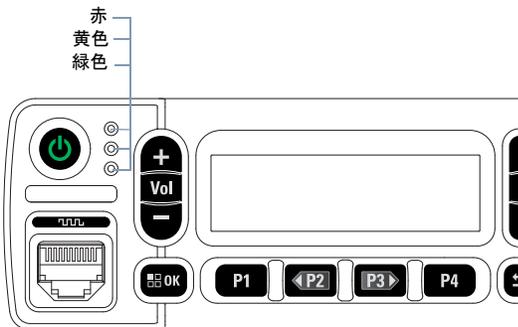


### 実行中

- あるいは
- サブスクライバのエイリアスまたは ID に対するメッセージの送信は保留となり、承認を待っている状態です。
  - グループのエイリアスまたは ID に対するメッセージの送信が保留中です。

## ■ LED インジケータ

LED インジケータは、お使いの無線機の操作ステータスを示します。



**赤色の点滅** – 無線機が緊急送信を受信しているか、電源を入れた際のセルフテストが失敗しているか、あるいはオートレンジトランスポンダシステムで設定されている通信圏外に移動しています。

**緑色の点灯** – 無線機に電源が入れられたか、送信しています。

**緑色の点滅** – 無線機が、非秘話対応通話またはデータを受信しているか、無線 (Over-the-Air) アクティビティを検知しているか、あるいは無線 (Over-the-Air) プログラミングを無線で取得しています。

**緑色の 2 回点滅** – 無線機が秘話対応通話またはデータを受信しています。

**黄色の点灯** – 無線機が一般チャンネルをモニタしています。

**黄色の点滅** – 無線機がアクティビティをスキャンしているか、あるいはページングを受信しています。

**黄色の 2 回点滅** – また、無線機がグループのページングにまだ応答していないか、無線機がロックされていることも意味します。

従来モードで LED が緑色に点滅した場合、無線機が無線 (Over-the-Air) アクティビティを検出したことを表します。デジタルプロトコルの性質により、このアクティビティは無線機のプログラム済みチャンネルに影響を与える、または与えない場合があります。

## ■ インジケータ トーン

高いトーン □

低いトーン ■



ポジティブ インジケータ  
トーン



ネガティブ インジケータ  
トーン

## ■ 音声トーン

警告トーンは、無線機のステータスまたは受信データへの無線機の反応を音声で示します。

**連続トーン** モノトーン音。終了まで音が続きます。



**定期トーン** 無線機で設定された時間に応じ、定期的に音が鳴ります。トーンが開始、中止して、繰り返されます。



**反復トーン** ユーザーが終了するまで、シングルトーンが繰り返されます。



**瞬間トーン** 無線機で定義された短い時間、一度だけ音が鳴ります。



## 通話の着信と発信

MOTOTRBO 車載型無線機の設定方法についてご理解いただけましたら、いよいよ無線機をお使いいただけます。

このナビゲーションガイドを使って、基本的な通話機能に慣れてください。

ゾーン選択	16 ページ
チャンネル選択	16 ページ
無線通話の受信と応答	17 ページ
無線通話の発信	21 ページ
無線通話の停止	26 ページ
ダイレクトモード	26 ページ
連続モニタ	27 ページ

## ■ ゾーン選択

ゾーンとは、チャンネルのグループのことです。無線機は最大 256 チャンネルと 25 ゾーンをサポートします。1 ゾーン当たりの最大チャンネル数は 160 です。

以下の手順でゾーンを選択します。

手順:

プログラムされた [ゾーン] ボタンを押して、ステップ 3 に進みます。あるいは以下に示す手順を実行します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して [ゾーン] に移動し、 を押し  
て選択します。
- 3 現在のゾーンが表示され、✓ で示されます。
- 4  または  を押して必要なゾーンに移動し、 を押  
して選択します。
- 5 ディスプレイに [ゾーンせんたくずみ] と表示され、すぐに  
選択されたゾーンの画面に戻ります。

注: キーパッドマイクでエイリアス検索をしてゾーンを選択することもできます。90 ページの「エイリアス検索によるゾーン選択」を参照してください。

## ■ チャネル選択

送信が行われ、チャンネルに受信されます。無線機の設定によって、それぞれのチャンネルで、さまざまなユーザーグループをサポートするために異なるプログラム設定が行われたり、さまざまな機能が提供されています。必要なゾーンを選択した後で、送受信に必要なチャンネルを選択します。

手順:

[チャンネル アップ]/[チャンネル ダウン] ボタンを使用してチャンネルを選択します。

- 左右のナビゲーション ボタン、または
- [チャンネル アップ]/[チャンネル ダウン] ボタン、または
- プログラムされた [チャンネル アップ] または [チャンネル ダウン] ボタン

必要なゾーンの選択の詳細については、16 ページの「ゾーン選択」を参照してください。

[チャンネル アップ]/[チャンネル ダウン] ボタンについては、8 ページの「一般アナログモードとデジタルモードの切り替え」を参照してください。

## ■ 無線通話の受信と応答

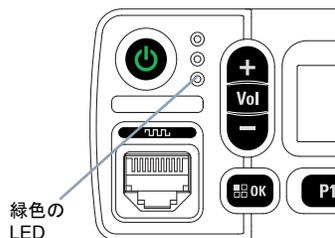
チャンネル、サブスクライバのエイリアスまたは ID、あるいはグループのエイリアスまたは ID が表示されたら、通話の受信や応答に進むことができます。

無線機が送信している間は緑色の LED が点灯し、無線機が受信している間は点滅します。

**注：** 無線機が送信している間は緑色の LED が点灯し、無線機が秘話対応通話を受信している際には 2 回点滅します。

秘話対応通話のスクランブルを解除するには、お使いの無線機が、送信側無線機（通話を受信している無線機）と同一のプライバシー キー、または同一のキー値とキー ID（ディーラーがプログラミング）を有している必要があります。

詳しくは、65 ページの「**プライバシー**」を参照してください。🔊



## 📄 グループ コールの受信と応答

ユーザーのグループへの通話を受信するには、お使いの無線機がそのグループの一部として設定されている必要があります。

**手順：**

グループ コールを受信する場合（ホーム画面で）：

- 1 LED が緑色に点滅します。
- 2 発信者の ID 情報が右上に表示されます。テキスト行の 1 行目に、グループ コール アイコンと グループ コール エイリアスが表示されます。無線機の消音が無効され、着信通話の音は無線機のスピーカーから聞こえます。
- 3 🔊 チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が [PTT] ボタンを離れた瞬間に、短い警告音が鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、[PTT] ボタンを押します。  
**あるいは**  
🔊 音声割り込み機能が有効になっている場合、[PTT] ボタンを押して送信側無線機からの現在の通話を停止し、会話/応答ができるようにそのチャンネルを解放します。
- 4 LED が緑色に点灯します。

5 通話許可トーンが完了するまで待機し (有効な場合)、マイクに向かってはっきりと話してください。

あるいは

 PTT サイドトーンが完了するまで待機し (有効な場合)、マイクに向かってはっきりと話してください。

6 [PTT] ボタンを放して聞きます。

7 事前に定められた時間中、音声アクティビティがない場合、通話が終了します。

グループコールについて詳しくは、22 ページの「グループコールの発信」を参照してください。

#### 個別コールの受信と応答

個別コールとは、ある無線機から別の無線機への通話のことです。

手順:

個別コールを受信する際:

1 LED が緑色に点滅します。

2 テキスト行の 1 行目に、個別コールのアイコンと発信者のエイリアスが表示されます。無線機の消音が解除され、着信通話の音は無線機のスピーカーから聞こえます。

3  チャンル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が [PTT] ボタンを離れた瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。

電話に応答するには、[PTT] ボタンを押します。

あるいは

 音声割り込み機能が有効になっている場合、[PTT] ボタンを押して送信側無線機からの現在の通話を停止し、会話/応答ができるようにそのチャンネルを解放します。

4 LED が緑色に点灯します。

5 通話許可トーンが完了するまで待機し (有効な場合)、マイクに向かってはっきりと話してください。

6 [PTT] ボタンを放して聞きます。

7 事前に定められた時間中、音声アクティビティがない場合、通話が終了します。

8 ディスプレイには [コールしゅうりょう] と表示されます。

個別コールの詳細については、22 ページの「個別コール発信」を参照してください。

## 📄 一斉コールの受信

一斉コールとは、ある無線機からチャンネルの各無線機への通話を指します。ユーザーの注意を十分に促す必要がある重要な通知を行うために使われます。

手順：

一斉コールを受信する際：

- 1 トーンが鳴り、緑色の LED が点滅します。
- 2 発信者の ID 情報が右上に表示されます。テキスト行の 1 行目に、グループコールアイコンと一斉コールが表示されます。無線機の消音が解除され、着信通話の音は無線機のスピーカーから聞こえます。
- 3 一斉コールが終了すると、通話を受信する前の画面に戻ります。一斉コールは、終了前の事前に定められた時間中、待機しません。  
 チャンネルフリー指示機能が有効になっている場合、送信側無線機が [PTT] ボタンを離れた瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが使用できるようになったことを示しています。

一斉コールに応答することはできません。

一斉コールについて詳しくは、23 ページの「一斉コールの発信」を参照してください。

注： 通話を受信中に別のチャンネルに切り替える場合、無線機は一斉コールの受信を停止します。一斉コールが終了するまでは、メニュー ナビゲーションや編集を続行することはできません。

## 📄 選択コールの受信と応答

選択コールとは、ある無線機から別の無線機への通話のことです。アナログシステムでは、「個別コール」です。

手順：

選択コールを受信する場合：

- 1 LED が緑色に点滅します。
- 2 テキスト行の 1 行目には、個別コールのアイコンが表示されます。無線機には、選択コールまたはコールアラートが表示されます。無線機の消音が解除され、着信通話の音は無線機のスピーカーから聞こえます。
- 3 電話に応答するには、[PTT] ボタンを押します。
- 4 LED が緑色に点灯します。
- 5 通話許可トーンが完了するまで待機し (有効な場合)、マイクに向かってはっきりと話してください。
- 6 [PTT] ボタンを放して聞きます。
- 7 事前に定められた時間中、音声アクティビティがない場合、通話が終了します。
- 8 ディスプレイには [コールしゅうりょう] と表示されます。

注： 選択コールについて詳しくは 24 ページの「電話コールの発信」を参照してください。

## 📞 コールの受信と応答 📞

**注:** 無線通話機能が有効な場合には、無線通話に回答することができます。この設定の詳細については、ディーラーかシステム管理者にご確認ください。

### 📞 個別コールとして電話

**手順:**

個別コールとして電話を受信した場合:

- 1 電話アイコンが右上端に表示されます。ディスプレイに発信者のエイリアスまたは[でんわ]が表示されます。
- 2 [PTT] ボタンを押して話し、放して聞きます。
- 3 電話を終了するには **(☎)** を押します。  
ディスプレイには [でんわせつだん] と表示されます。
- 4 正常に行われた場合:  
トーンが鳴り、ディスプレイに [コールしゅうりょう] と表示されます。  
**あるいは**  
正常に行われなかった場合:  
無線機は通話画面に戻ります。ステップ 3 を繰り返すか、電話機ユーザーが通話を終了するまで待ちます。

ご使用の無線機で電話機能が有効になっていない場合、ディスプレイには [Unavailable] と表示され、無線機ではコールが消音となります。コールが終了すると、無線機は前の画面に戻ります。

### 📞 グループコールとしての無線電話

**手順:**

グループコールとして電話を受信した場合:

- 1 電話グループコールアイコンが右上端に表示されます。ディスプレイにグループのエイリアスと [でんわ] が表示されます。
- 2 [PTT] ボタンを押して話し、放して聞きます。
- 3 電話を終了するには **(☎)** を押します。  
ディスプレイには [でんわせつだん] と表示されます。
- 4 正常に行われた場合:  
トーンが鳴り、ディスプレイに [コールしゅうりょう] と表示されます。  
**あるいは**  
正常に行われなかった場合:  
無線機は電話画面に戻ります。ステップ 3 を繰り返すか、電話機ユーザーが通話を終了するまで待ちます。

ご使用の無線機で電話機能が有効になっていない場合、ディスプレイには [Unavailable] と表示され、無線機ではコールが消音となります。コールが終了すると、無線機は前の画面に戻ります。

## 📄 一斉コールとしての無線通話

### 手順:

一斉コールとして電話を受信した場合:

- 1 通話アイコンが右上端に表示されます。ディスプレイに[いっせいコール]と[でんわ]が表示されます。
- 2 [PTT] ボタンを押して話し、放して聞きます。
- 3 電話を終了するには  を押します。  
ディスプレイには[でんわせつだん]と表示されます。
- 4 正常に行われた場合:  
トーンが鳴り、ディスプレイに[いっせいコール]と[コールしゅうりょう]が表示されます。

### あるいは

正常に行われなかった場合:

無線機は通話画面に戻ります。コールを終了するには、ステップ 3 を繰り返します。

**ご使用の無線機で無線電話機能が有効になっていない場合、ディスプレイには [Unavailable] と表示され、無線機によって通話がミュートされます。コールが終了すると、無線機は前の画面に戻ります。**

**注:** 一斉コールとして通話を受信した場合、一斉コールタイプがチャンネルに割り当てられている場合のみ、コールに応答したりコールを終了したりできます。

## ■ 無線通話の発信

チャンネルの選択後、以下を使ってサブスクライバのエイリアスまたは ID、もしくはグループのエイリアスまたは ID を選ぶことができます。

- 連絡先リスト (37 ページの「**連絡先設定**」を参照)
- プログラムされたワンタッチ アクセス ボタン 
- プログラムされた数値キー – この方法は、グループコール、個別コール、および一斉コール専用で、キーパッドで使用します (96 ページの「**プログラミング可能な数値キーを使用した、グループ、個別コール、または一斉コールの実行**」を参照)。
- 手動ダイヤル (連絡先を使用) – この方法は個別コールおよび通話にのみ対応し、キーパッドを使用してダイヤルします (92 ページの「**手動ダイヤルによる個別コール**」、93 ページの「**手動ダイヤルによる無線通話**」を参照)。
- プログラム可能なボタン – この方法は通話にのみ対応します (92 ページの「**手動ダイヤルによる個別コール**」を参照)。

**注:** プライバシー有効送信を送るには、お使いの無線機のチャンネルでプライバシー機能が有効になっている必要があります。お使いの無線機と同一のプライバシーキーを持つ相手先無線機のみが、送信のスクランブルを解除できます。詳しくは、65 ページの「**プライバシー**」を参照してください。

ワンタッチ アクセス機能により、事前に設定された ID に対し、簡単にグループ コールまたは個別コールをかけることができます。この機能は、ボタンを短くまたは長く押すというプログラム可能なボタンの押し方に割り当てることができます。**ワンタッチ アクセス ボタン**に指定される ID は 1 つのみです。お使いの無線機で、複数の**ワンタッチ アクセス ボタン**をプログラムすることが可能です。

### グループ コールの発信

ユーザーのグループに通話を発信するには、お使いの無線機がそのグループの一部として設定されている必要があります。

手順:

- 1 アクティブなグループのエイリアスまたは ID のチャンネルを選びます。16 ページの「**チャンネル選択**」を参照してください。  
**あるいは**  
プログラムされた [**ワンタッチアクセス**] ボタンを押します。
- 2 **[PTT]** ボタンを押して、通話を発信します。LED が緑色に点灯します。テキスト行の 1 行目には、グループ コール アイコンとグループ コール エイリアスが表示されます。
- 3 通話許可トーンが完了するまで待機し (有効な場合)、マイクに向かってはっきりと話してください。  
**あるいは**  
 **PTT** サイドトーンが完了するまで待機し (有効な場合)、マイクに向かってはっきりと話してください。

4 **[PTT]** ボタンを放して聞きます。相手先無線機が応答すると、LED が緑色に点滅します。ディスプレイに、グループ コール アイコン、送信中の無線機のエイリアスまたは ID が表示されます。

5  チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、相手先無線機が **[PTT]** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。**[PTT]** ボタンを押して応答します。

**あるいは**

事前に定められた時間中、音声アクティビティがない場合、通話が終了します。

6 無線機は、コールを開始する前の画面に戻ります。

**連絡先からもグループ コールを発信できます (38 ページの「連絡先からのグループ コール発信」を参照)。**

### 個別コール発信

許可した個別の無線機が開始した個別コールの受信や応答を行うには、お使いの無線機が個別コールを開始できるようにプログラムされている必要があります。

個別コールには 2 種類あります。1 つは、通話設定の前に無線機プレゼンスチェックが行われる場合で、もう 1 つは通話を即座に設定するものです。

ディーラーは、これらの通話タイプのいずれか 1 つのみを無線機にプログラムできます。

この機能が無効である場合に、メニュー、通話履歴、[ワンタッチアクセス] ボタン、プログラムされた数値キー、左右のナビゲーション ボタン、[音量アップ]/[音量ダウン] ボタン または [チャンネルアップ]/[チャンネルダウン] ボタン を使用して個別コールを試みると、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

個別の無線機に連絡するには、テキストメッセージまたはページング機能を使用します。詳細については、55 ページの「テキストメッセージ機能」または 48 ページの「ページング操作」を参照してください。

手順：

- 1 アクティブなサブスクライバ のエイリアスまたは ID のチャンネルを選びます。16 ページの「チャンネル選択」を参照してください。  
あるいは  
プログラムされた [ワンタッチアクセス] ボタンを押します。
- 2 [PTT] ボタンを押して、通話を発信します。LED が緑色に点灯します。ディスプレイに、個別コール アイコンとサブスクライバ エイリアスが、通話アイコンと交互に表示されます。
- 3 通話許可トーンが完了するまで待機し(有効な場合)、マイクに向かってはっきりと話してください。
- 4 [PTT] ボタンを放して聞きます。相手先無線機が応答すると、LED が緑色に点滅します。

- 5  チャンネルフリー指示機能が有効になっている場合、相手先無線機が [PTT] ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。[PTT] ボタンを押して応答します。

あるいは

事前に定められた時間中、音声アクティビティがない場合、通話が終了します。

- 6 ディスプレイには [コールしゅうりょう] と表示されます。

また、[連絡先] から個別コールを発信したり (39 ページの「連絡先からの個別コール発信」)、手で個別コールをダイヤルしたり (92 ページの「手動ダイヤルによる個別コール」を参照)、または英数字のキーボード入力が必要なエイリアスを素早く検索したりすることもできます (101 ページの「エイリアス検索によるグループコール、個別コール、または一斉コールの実行」を参照)。

## 一斉コールの発信

この機能により、チャンネルのすべてのユーザーに送信できます。この機能を使用するには、お使いの無線機をプログラムする必要があります。

手順：

- 1 アクティブな一斉コール グループのエイリアスまたは ID のチャンネルを選びます。16 ページの「チャンネル選択」を参照してください。

- 2 [PTT] ボタンを押して、通話を発信します。LED が緑色に点灯します。ディスプレイに、グループコールアイコンと一斉コールが表示されます。
- 3 通話許可トーンが完了するまで待機し (有効な場合)、マイクに向かってはっきりと話してください。  
あるいは  
 PTT サイドトーンが完了するまで待機し (有効な場合)、マイクに向かってはっきりと話してください。

チャンネルのユーザーは一斉コールに応答することはできません。

### 電話コールの発信

個別コールと同様に、許可を受けた個別の無線機が開始した選択コールの受信や応答を行うことができますが、選択コールを自分から開始するには、無線機がそのようにプログラムされている必要があります。

手順:

- 1 アクティブなサブスクライバのエリアスまたは ID のチャンネルを選びます。16 ページの「チャンネル選択」を参照してください。
- 2 [PTT] ボタンを押して、通話を発信します。LED が緑色に点灯します。ディスプレイに、個別コールアイコンとサブスクライバエリアスが表示されます。
- 3 通話許可トーンが完了するまで待機し (有効な場合)、マイクに向かってはっきりと話してください。

- 4 [PTT] ボタンを放して聞きます。相手先無線機が応答すると、LED が緑色に点滅します。
- 5 事前に定められた時間中、音声アクティビティがない場合、通話が終了します。
- 6 短いトーンが鳴ります。ディスプレイには [コールしゅうりょう] と表示されます。

### 通話を行う

- 1 プログラムされた [通話] ボタンを押すと、通話エントリリストが表示されます。  
 または  を押して必要なサブスクライバのエリアスまたは ID に移動し、 を押して選択します。  
 あるいは  
 プログラムされた [ワンタッチアクセス] ボタンを押します。
- 2 アクセスコードが事前に設定されていなかった場合は、ディスプレイに [アクセスコード:] と表示されます。  
 アクセスコードを入力し、 を押して先に進みます。
- 3 [PTT] ボタンを押して、通話を発信します。LED が緑色に点灯します。通話アイコンが右上端に表示されます。テキスト行の 1 行目には、サブスクライバのエリアスが表示されます。テキスト行の 2 行目に、通話ステータスが表示されます。

- 4 正常に行われた場合：  
DTMF トーンが鳴ります。電話ユーザーのダイヤル トーンが鳴ります。テキスト行の 1 行目には、サブスクライバのエイリアスが表示されます。通話アイコンは引き続き右上端に表示されています。

**あるいは**

正常に行われなかった場合：

トーンが鳴り、ディスプレイに [ でんわ NG ] と表示されず。無線機はアクセスコード入力画面に戻ります。アクセスコードが [ 連絡先 ] リストで事前に設定されている場合、無線機はそのコールを開始する前の画面に戻ります。

- 5 [PTT] ボタンを押して話し、放して聞きます。  
通話中に要求されて、さらに数字を入力するには：

キーパッドを使用して追加の数字を入力し、 を押して先に進みます。DTMF トーンが鳴り、無線機は前の画面に戻ります。

- 6 通話を終了するには  を押します。

アクセス解除コードが [ 連絡先 ] リストで事前に設定されていなかった場合、ディスプレイには [ ディアクセスコード ] と表示されます。アクセス解除コードを入力し、 を押して先に進みます。無線機は前の画面に戻ります。

**あるいは**

[ ワンタッチアクセス ] ボタンを押します。DTMF トーンが鳴ります。ワンタッチアクセス ボタンのエントリが空の場合、ネガティブインジケータ トーンが鳴ります。

- 7 DTMF トーンが鳴り、ディスプレイに [ でんわせつだん ] と表示されます。

- 8 正常に行われた場合：

トーンが鳴り、ディスプレイに [ コールしゅうりょう ] と表示されます。

**あるいは**

正常に行われなかった場合：

無線機は通話画面に戻ります。ステップ 6 と 7 を繰り返すか、電話機ユーザーが通話を終了するまで待ちます。

電話機ユーザーが通話を終了するとトーンが鳴り、ディスプレイに [ コールしゅうりょう ] と表示されます。

通話でリクエストされた追加の数字を入力している間に通話が終了した場合、無線機はそのコールを開始する前の画面に戻ります。

チャンネルアクセス中に  を押すと、コール試行が解除され、トーンが鳴ります。

コール中、アクセス解除コードが事前設定されている状態でワンタッチアクセス ボタンを押すか、追加の数字の入力としてアクセス解除コードを入力すると、無線機はコールを終了しようとします。

アクセスコードまたはアクセス解除コードは、10 文字以上に設定できません。

## ■ 無線通話の停止

この機能により、現在進行中のグループまたは個別コールを停止し、送信のためにチャンネルを解放することができます。たとえば、ユーザーが気づかずに [PTT] ボタンを押してしまう「スタックマイク」の状態にある場合に、この機能を使うことができます。

この機能を使用するには、お使いの無線機をプログラムする必要があります。

**注：** この設定の詳細については、ディーラーかシステム管理者にご確認ください。

**手順：**

必要なチャンネル上で：

- 1 プログラムされた [リモート送信解除] ボタンを押します。
- 2 ディスプレイに [リモートストップ] と表示されます。
- 3 確認応答を待ちます。
- 4 無線機がポジティブインジケータトーンを鳴らし、ディスプレイに [リモートストップかんりょう] と表示されます。これはチャンネルが解放されていることを示しています。  
**あるいは**  
無線機がネガティブインジケータトーンを鳴らし、ディスプレイに [リモートストップしっぱい] と表示されます。

無線機が、この機能を介して停止される割り込み可能な通話を発信している場合、割り込まれた側の無線機では、ディスプレイに [つうわりこみ] と表示され、無線機は [PTT] ボタンを放すまでネガティブインジケータトーンを鳴らします。

## ■ ダイレクトモード

リピーターが作動していない場合や、お使いの無線機がリピーターの圏外にある場合でも、他の無線機が通話範囲内であれば通信を継続できます。これが「ダイレクトモード」と呼ばれる機能です。

**手順：**

プログラムされた [リピーター/ダイレクトモード] ボタンを押して、ダイレクトモードとリピーターモード間を切り替えます。

**あるいは**

以下に示す手順を実行します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して [ユーティリティ] に移動し、 を押して選択します。
- 3  または  を押して [きのうせってい] に移動し、 を押して選択します。

- 4 **◀P2** または **P3▶** を押して [ダイレクトモード] に移動し、  
**OK** を押して選択します。
- 5 **OK** を押してダイレクトモードをオンにします。ディスプレイで [ゆうこう] の隣に ✓ が表示されます。  
あるいは  
**OK** を押してダイレクトモードをオフにします。ディスプレイで [ゆうこう] の隣から ✓ が消えます。
- 6 画面は前のメニューに自動的に戻ります。

電源が切れた後も、ダイレクトモード設定が保持されます。

## ■ 連続モニタ

連続モニタを使って、選択したチャンネルのアクティビティを継続的にモニタします。

手順:

- 1 プログラムされた **[連続モニタ]** ボタンを押します。
- 2 無線機で警告トーンが鳴ります。黄色の LED が点灯し、ディスプレイに [れんぞくモニタ オン] と表示されます。ステータスバーにモニタのアイコンが表示されます。
- 3 プログラムされた **[れんぞくモニタ]** ボタンを押し、連続モニタモードを終了します。
- 4 無線機で警告トーンが鳴ります。黄色の LED が消灯し、ディスプレイに [れんぞくモニタ オフ] と表示されます。

## 高度な機能

このナビゲーションガイドを使って、お使いの無線機で利用可能な高度な機能について詳しく学びましょう。

無線機チェック	29 ページ
リモート モニタ	30 ページ
スキャン リスト	32 ページ
スキャン	35 ページ
スキャン	37 ページ
連絡先設定	37 ページ
通話インジケータ設定	42 ページ
通話履歴機能	46 ページ
ページング操作	48 ページ
緊急操作	49 ページ
テキスト メッセージ機能	55 ページ
アナログ メッセージ	63 ページ
アナログ ステータス更新	64 ページ
プライバシー	65 ページ
アナログ スクランブル	66 ページ
複数サイト コントロール	68 ページ
セキュリティ	71 ページ
ローン ワーカー	73 ページ
通知リスト	73 ページ

## オートレンジ トランスポンダ システム

(ARTS)	74 ページ
無線 (Over-the-Air) プログラミング (OTAP)	75 ページ
ユーティリティ	75 ページ

## ■ 無線機チェック

有効である場合、この機能を使用することで、システム内の他の無線機がアクティブであるかどうかを、その無線機のコピーを呼び出さずに判断できます。相手先の無線機には、音声や映像による通知は行われません。

この機能は、加入者のエリアスまたは ID にのみ利用できます。

### 無線機チェックの送信

手順:

プログラムされた【むせんきチェック】ボタンを使用します。

- 1 プログラムされた【むせんきチェック】ボタンを押します。
- 2  または  を押して必要なサブスクライバのエリアスまたは ID に移動し、 を押して選択します。
- 3 ディスプレイには経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。LED が緑色に点灯します。
- 4 承認を待ちます。
- 5 成功すると、ポジティブインジケータ トーンが鳴り、ディスプレイにミニ通知が表示されます。  
あるいは  
失敗の場合、ネガティブインジケータ トーンが鳴り、ディスプレイにミニ通知が表示されます。

- 6 加入者のエリアスまたは ID の画面に戻ります。

あるいは

手順:

メニューを使用します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して [れんらくさき] に移動し、 を押して選択します。
- 3  または  を押して必要なサブスクライバのエリアスまたは ID に移動し、 を押して選択します。
- 4  または  を押して [むせんチェック] に移動し、 を押して選択します。
- 5 ディスプレイには経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。LED が緑色に点灯します。
- 6 承認を待ちます。
- 7 成功すると、ポジティブインジケータ トーンが鳴り、ディスプレイにミニ通知が表示されます。  
あるいは  
失敗の場合、ネガティブインジケータ トーンが鳴り、ディスプレイにミニ通知が表示されます。

## 8 加入者のエイリアスまたは ID の画面に戻ります。

無線機が承認待ちのときに  ボタンを押すと、トーンが鳴り、無線機はすべての試行を強制終了し、無線機チェックモードを終了します。

手動ダイヤルで無線チェックを開始することもできます (91 ページの「手動ダイヤルによる無線機チェックの開始」を参照)。

## ■ リモート モニタ

リモート モニタ機能を使用して、相手先の無線機 (サブスクライバ ID のみ) のマイクをオンにします。相手先の無線機には、音声や映像による通知は行われません。この機能を使用することで、相手先無線機の周りのあらゆる音声アクティビティを遠隔でモニタできます。

この機能を使用するには、お使いの無線機をプログラムする必要があります。

### リモート モニタの開始

手順:

プログラムされた [リモート モニタ] ボタンを使用します。

- 1 プログラムされた [リモート モニタ] ボタンを押します。
- 2  または  を押して必要なサブスクライバのエイリアスまたは ID に移動し、 を押して選択します。
- 3 ディスプレイには経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。LED が緑色に点灯します。
- 4 確認応答を待ちます。

- 5 成功すると、ポジティブインジケータ トーンが鳴り、ディスプレイにミニ通知が表示されます。無線機は、プログラムされた期間、モニタ対象無線機からの音声の再生を開始し、ディスプレイに[きょうせいモニタ]と表示されます。タイマーが終了すると、無線機から警告トーンが鳴り、LEDが消灯します。
- あるいは**  
失敗の場合、ネガティブインジケータ トーンが鳴り、ディスプレイにミニ通知が表示されます。

#### あるいは

##### 手順:

メニューを使用します。

- 1 を押してメニューにアクセスします。
- 2 または を押して[れんらくさき]に移動し、を押して選択します。
- 3 または を押して必要なサブスクライバのエリアまたはIDに移動し、を押して選択します。
- 4 または を押して[リモートモニタ]に移動し、を押して選択します。
- 5 ディスプレイには経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。LEDが緑色に点灯します。

- 6 確認応答を待ちます。

- 7 成功すると、ポジティブインジケータ トーンが鳴り、ディスプレイにミニ通知が表示されます。無線機は、プログラムされた期間、モニタ対象無線機からの音声の再生を開始し、ディスプレイに[きょうせいモニタ]と表示されます。タイマーが終了すると、無線機から警告トーンが鳴り、LEDが消灯します。
- あるいは**  
失敗の場合、ネガティブインジケータ トーンが鳴り、ディスプレイにミニ通知が表示されます。

または、手動で送信先の無線機のアドレスを選択することもできます(92ページの「手動ダイヤルによるリモートモニタの開始」を参照)。

#### リモートモニタの停止

リモートモニタは、プログラムされた期間、または相手先の無線機でユーザーが何らかの操作を実行したとき、自動的に停止します。

##### 手順:

- 1 プログラムされた[リモート送信解除]ボタンを押します。
- 2 ディスプレイには経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。LEDが緑色に点灯します。
- 3 確認応答を待ちます。

- 4 成功すると、ポジティブインジケータ トーンが鳴り、ディスプレイにミニ通知が表示されます。

あるいは

失敗の場合、ネガティブインジケータ トーンが鳴り、ディスプレイにミニ通知が表示されます。

## ■ スキャン リスト

スキャン リストは、個別チャンネル/グループに対して作成され、割り当てられます。現在のチャンネル/グループのスキャン リストで指定されたチャンネル/グループ系列を循環することにより、無線機が音声アクティビティをスキャンします。

無線機は最大 250 のスキャン リストをサポートできます。リスト内の最大メンバー数は 16 です。各スキャン リストはアナログとデジタルの両方が混在するエントリをサポートします。

スキャン リストを編集して、チャンネルの追加、削除、または優先順位付けを行えます。

正面パネル プログラミングからは、新しいスキャン リストを無線機に追加することができます。

### 📄 スキャン リスト内のエントリの表示

手順:

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2  または  を押して [スキャン] に移動し、 を押して選択します。

- 3  または  を押して [リストへんしゅう] に移動し、 を押して選択します。

- 4  または  を使用して、リストにある各メンバーを表示します。

メンバーのエイリアスの左に優先度アイコンが表示されます (設定されている場合)。これは、メンバーが優先度 1 または優先度 2 のチャンネルリストに含まれているかどうかを示します。スキャン リストに複数の優先度 1 または優先度 2 チャンネルを含めることはできません。

優先度をなしに設定すると優先度アイコンは表示されません。

## 📄 スキャン リストの編集

### 📄 スキャン リストへの新規エントリの追加

手順:

- 1 **[OK]** を押してメニューにアクセスします。
- 2 **[P2]** または **[P3]** を押して [スキャン] に移動し、**[OK]** を押して選択します。
- 3 **[P2]** または **[P3]** を押して [リストへんしゅう] に移動し、**[OK]** を押して選択します。
- 4 **[P2]** または **[P3]** を押して [メンバーつか] に移動し、**[OK]** を押して選択します。
- 5 **[P2]** または **[P3]** を押して必要なエイリアスまたは ID に移動し、**[OK]** を押して選択します。
- 6 **[P2]** または **[P3]** を押して必要な優先度移动到し、**[OK]** を押して選択します。
- 7 ディスプレイには、ミニ通知が表示され、その直後に [つかか?] が表示されます。

- 8 **[P2]** または **[P3]** を押して [はい] に移動し、**[OK]** を押してさらにエントリを追加することを選択し、ステップ 5 と 6 を繰り返します。

あるいは

- [P2]** または **[P3]** を押して [いいえ] に移動し、**[OK]** を押して現在のリストを保存します。

### 📄 スキャン リストからのエントリの削除

手順:

- 1 **[OK]** を押してメニューにアクセスします。
- 2 **[P2]** または **[P3]** を押して [スキャン] に移動し、**[OK]** を押して選択します。
- 3 **[P2]** または **[P3]** を押して [リストへんしゅう] に移動し、**[OK]** を押して選択します。
- 4 **[P2]** または **[P3]** を押して必要なエイリアスまたは ID に移動し、**[OK]** を押して選択します。
- 5 **[P2]** または **[P3]** を押して [さくじょ] に移動し、**[OK]** を押して選択します。

6 [エントリーをさくじょ?]が表示されたら、**◀P2** または **P3▶** を押して [はい] に移動し、**ⓀOK** を押してエントリーを削除します。ディスプレイにミニ通知が表示されます。

あるいは

**◀P2** または **P3▶** を押して [いいえ] に移動し、**ⓀOK** を押して、前の画面に戻ります。

7 その他のエントリーを削除するには、ステップ 4 ~ 6 を繰り返します。

すべての必要なエイリアスまたは ID を削除したら、**🏠** を長く押してホーム画面に戻ります。

## 📁 スキャン リスト内のエントリーの優先度の設定と編集

手順:

1 **ⓀOK** を押してメニューにアクセスします。

2 **◀P2** または **P3▶** を押して [スキャン] に移動し、**ⓀOK** を押して選択します。

3 **◀P2** または **P3▶** を押して [リストへんしゅう] に移動し、**ⓀOK** を押して選択します。

4 **◀P2** または **P3▶** を押して必要なエイリアスまたは ID に移動し、**ⓀOK** を押して選択します。

5 **◀P2** または **P3▶** を押して [ゆうせんど] に移動し、**ⓀOK** を押して選択します。

6 **◀P2** または **P3▶** を押して必要な優先度に移り、**ⓀOK** を押して選択します。

7 ディスプレイにミニ通知が表示され、その後前画面に戻ります。

8 優先度アイコンがメンバー名の左側に表示されます。

優先度をなしに設定すると優先度アイコンは表示されません。

## ■ スキャン

スキャンを開始すると、現在のチャンネルのプログラム スキャン リストを無線機が循環し、音声アクティビティを検索します。

黄色の LED が点滅し、スキャン アイコンがステータス バーに表示されます。

デュアル モード スキャン中、デジタル チャンネルをお使いの場合、無線機はアナログ チャンネルにロックされます。通話中にデジタル モードからアナログ モードに自動的に切り替わります。逆もまた同じです。

スキャンを開始するには 2 通りの方法があります。

- **メインチャンネル スキャン (マニュアル):** 無線機が、スキャン リストにあるすべてのチャンネル/グループをスキャンします。スキャンを開始すると、設定に応じて、最近スキャンされた「アクティブな」チャンネル/グループ、あるいはスキャンが開始されたチャンネルで無線機が自動的に開始する場合があります。
- **自動スキャン (自動):** 自動スキャンが有効になっているチャンネル/グループを選択すると、無線機が自動的にスキャンを開始します。

## 📄 スキャン開始と停止

手順:

プログラムされた【スキャン】ボタンを押して、スキャンを開始、または停止します。あるいは以下に示す手順を実行します。

- 1 Use the **左右のナビゲーション** ボタンを使用して、スキャン リストでプログラムされたチャンネルを選択します。
- 2 **[OK]** を押してメニューにアクセスします。
- 3 **[P2]** または **[P3]** を押して [スキャン] に移動し、**[OK]** を押しして選択します。
- 4 **[P2]** または **[P3]** を押して [オフ] に移動し、**[OK]** を押しして選択します。  
あるいは  
**[P2]** または **[P3]** を押して [オフ] に移動し、**[OK]** を押しして選択します。
- 5 スキャンが有効であれば、ディスプレイに [スキャンオン] と表示されます。黄色の LED が点滅し、スキャン アイコンが表示されます。  
あるいは  
スキャンが無効であれば、ディスプレイに [スキャン オフ] と表示されます。スキャン アイコンが消えます。

スキャン中、無線機は選択されたチャンネルから送信されるデータ(テキストメッセージ、位置情報、PC データなど)の受信のみを行います。

### 📖 スキャン中の送信への応答

スキャン中、無線機はアクティビティが検知されたチャンネル/グループで停止します。無線機は、「ハング タイム」と呼ばれるプログラムされた時間だけそのチャンネルにとどまります。

手順:

- 1 📞 チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が [PTT] ボタンを離した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。
- 2 ハング タイム中に [PTT] ボタンを押します。LED が緑色に点灯します。
- 3 通話許可トーンが完了するまで待機し(有効な場合)、マイクに向かってはっきりと話してください。  
あるいは  
📞 PTT サイドトーンが完了するまで待機し(有効な場合)、マイクに向かってはっきりと話してください。
- 4 [PTT] ボタンを放して聞きます。
- 5 ハング タイム中に応答しないと、無線機は他のチャンネル/グループのスキャンに戻ります。

### 📖 迷惑チャンネルの削除

チャンネルが不要な通話やノイズ(「迷惑」チャンネルと称する)を作成し続ける場合、その不要なチャンネルをスキャン リストから一時的に削除することができます。

この機能は、選択チャンネルとして指定されたチャンネルには適用されません。

手順:

- 1 無線機が不要あるいは迷惑チャンネルに「ロック」されたら、プログラムされた [迷惑チャンネル削除] ボタンをトーンが聞こえるまで押します。
- 2 [迷惑チャンネル削除] ボタンを離します。迷惑チャンネルが削除されます。

「迷惑」チャンネルの削除は、プログラムされた [めいわくチャンネル さくじょ] ボタンからのみ行えます。この機能は、メニューからはアクセスできません。

### 📖 迷惑チャンネルの復元

手順:

削除された迷惑チャンネルを復元するには、以下のいずれかを行ってください:

- 無線機の電源を切り、もう一度電源を入れます。または
- プログラムされた [スキャン] ボタン、またはメニューでスキャンを停止し、再開します。または
- [チャンネル アップ]/[チャンネル ダウン] ボタンでチャンネルを変更します。

## ■ 基地局選択スキャン

基地局選択スキャン機能では、同じ情報をさまざまなアナログチャンネルで送信しているベースステーションが複数ある領域を幅広くカバーすることができます。

無線機は、複数のベースステーションのアナログチャンネルをスキャンし、基地局選択プロセスを実行して最も強い受信信号を選択します。これがいったん確立されると、そのベースステーションからの送信のミュートを解除します。

黄色の LED が点滅し、基地局選択スキャンアイコンがステータスバーに表示されます。

**基地局選択スキャン中に送信にตอบสนองするには、36 ページの「スキャン中の送信への応答」と同じ手順に従ってください。**

## ■ 連絡先設定

連絡先は、無線機の「アドレス帳」機能です。各エントリは、通話の発信先とするエイリアスまたは ID に対応します。

各エントリは、コンテキストに応じて、5 タイプのコールのうちの 1 つ (グループコール、個別コール、一斉コール、PC コール、ディスパッチコールのいずれか) に関連付けられます。

PC コールとディスパッチ コールはデータ関連です。これらはアプリケーションで使用する場合のみ利用できます。詳細については、データ アプリケーションのマニュアルを参照してください。

**注:** あるチャンネルでプライバシー機能が有効になっている場合には、そのチャンネルで、プライバシーが有効なグループコール、個別コール、および一斉コールを行えます。お使いの無線機と同一のプライバシーキー、または同一のキー値とキー ID が設定された相手先無線機のみが、送信のスクランブルを解除できます。詳しくは、65 ページの「**プライバシー**」を参照してください。 

その他、[れんらくさき]メニューでは、各エントリを 1 つのプログラミング可能な数値キーに、複数のエントリをキーパッドマイクに割り当てることができます。1 つのエントリが 1 つの数値キーに割り当てられると、無線機はそのエントリに対してクイックダイヤルを実行します。 

無線機は、アナログ連絡先とデジタル連絡先の2つの連絡先リストをサポートします。各連絡先リストは最大で500メンバーです。

連絡先の各エントリには、以下の情報が表示されます。

- 通話タイプ
- 通話エイリアス
- 通話 ID

**注:** デジタル連絡先リストのサブスクライバ ID の追加または編集を行うことができます。サブスクライバ ID の削除は、ディーラーのみが実行できます。

アナログ連絡先リストでは、サブスクライバ ID の表示、サブスクライバ ID の編集、およびページングの開始のみを行うことができます。追加および削除機能は、ディーラーのみが実行できます。

## 📞 連絡先からのグループ コール発信

手順:

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して [れんらくさき] に移動し、 を押して選択します。エントリはアルファベット順にソートされます。

- 3  または  を押して必要なグループ エイリアスまたは ID に移動します。
- 4 **[PTT]** ボタンを押して、通話を発信します。LED が緑色に点灯します。
- 5 通話許可トーンが完了するまで待機し (有効な場合)、マイクに向かってはっきりと話してください。  
**あるいは**  
 **PTT** サイドトーンが完了するまで待機し (有効な場合)、マイクに向かってはっきりと話してください。
- 6 **[PTT]** ボタンを離して聞きます。グループ内のいずれかのユーザーが応答すると、緑色の LED が点滅します。ディスプレイに、グループ コール アイコン、グループ エイリアス または ID、そしてそのユーザーのエイリアスまたは ID が表示されます。
- 7  チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、相手先無線機が **[PTT]** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。**[PTT]** ボタンを押して応答します。  
**あるいは**  
プログラムされた時間中、音声アクティビティがない場合、通話が終了します。

## 📄 連絡先からの個別コール発信 📞

手順:

- 1 **[OK]**を押してメニューにアクセスします。
- 2 **[P2]**または**[P3]**を押して[れんらくさき]に移動し、**[OK]**を押して選択します。エントリはアルファベット順にソートされます。
- 3 **[P2]**または**[P3]**を押して必要なサブスクライバのエイリアスまたは ID に移動します。
- 4 **[PTT]** ボタンを押して、通話を発信します。LED が緑色に点灯します。宛先のエイリアスが表示されます。
- 5 通話許可トーンが完了するまで待機し(有効な場合)、マイクに向かってはっきりと話してください。
- 6 **[PTT]** ボタンを離して聞きます。相手先無線機が応答すると緑色の LED が点滅し、ディスプレイに送信ユーザーのエイリアスまたは ID が表示されます。
- 7 📞 チャンネルフリー指示機能が有効になっている場合、相手先無線機が**[PTT]** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。**[PTT]** ボタンを押して応答します。  
**あるいは**  
プログラムされた時間中、音声アクティビティがない場合、通話が終了します。

- 8 短いトーンが鳴ります。ディスプレイには[コールしゅうりょう]と表示されます。

注: 無線機が通話を設定しているときに、**[PTT]** ボタンを離すと、無線機は通知なしに前の画面に戻ります。

個別コールを設定する前に、無線機プレゼンスチェックを実行するように無線機をプログラムすることができます。相手先無線機が利用不可であれば、短いトーンが鳴り、ミニ通知がディスプレイに表示されます。

無線機は、無線機プレゼンスチェックを開始する前のメニューに戻ります。

## 📄 プログラミング可能な数値キーにエントリを割り当てる 📞

手順:

- 1 **[OK]**を押してメニューにアクセスします。
- 2 **[P2]**または**[P3]**を押して[れんらくさき]に移動し、**[OK]**を押して選択します。エントリはアルファベット順にソートされます。
- 3 **[P2]**または**[P3]**を押して必要なエイリアスまたは ID に移動し、**[OK]**を押して選択します。

- 4 **[P2]** または **[P3]** を押して [キープログラム] に移動し、  
**[OK]** を押して選択します。
- 
- 5 **[P2]** または **[P3]** を押して必要な数値キーに移動し、**[OK]** を押して選択します。  
あるいは  
数値キーが現在別のエントリに割り当てられている場合、ディスプレイに [しようちゅうキー] と表示され、ディスプレイの 1 行目には、[うわがき?] と表示されます。  
**[P2]** または **[P3]** を押して [はい] に移動し、**[OK]** を押して選択します。
- 
- 6 ディスプレイには [れんらくさきほぞんずみ] と表示され、ミニ通知が表示されます。

注: 各エントリは、さまざまな数値キーに割り当てられません。各エントリに割り当てられる数値キーの前にチェックマークが表示されます。チェックマークが [なし] の前にある場合、数値キーがエントリに割り当てられていません。

数値キーが特定のモードのエントリに割り当てられている場合、別のモードで数値キーを長く押すと、この機能はサポートされません。

プログラミングされた数値キーによるグループ、個別コール、または一斉のコールの詳細については、96 ページの「プログラミング可能な数値キーを使用した、グループ、個別コール、または一斉コールの実行」を参照してください。

## 📄 エントリとプログラミング可能な数値キー間の関連付けの削除 🎧

手順:

プログラミング可能な数値キーを長押しして、必要なエイリアスまたは ID に移動し、**[OK]** を押して選択し、ステップ 4 に進みます。  
あるいは  
以下に示す手順を実行します。

- 1 **[OK]** を押してメニューにアクセスします。

---

- 2 **[P2]** または **[P3]** を押して [れんらくさき] に移動し、**[OK]** を押して選択します。エントリはアルファベット順にソートされます。

---

- 3 **[P2]** または **[P3]** を押して必要なエイリアスまたは ID に移動し、**[OK]** を押して選択します。

---

- 4 **[P2]** または **[P3]** を押して [キープログラム] に移動し、**[OK]** を押して選択します。

- 5 **[P2]** または **[P3]** に移動し、**[なし]** に移動し、**[OK]** を押して選択します。

---

- 6 ディスプレイの 1 行目に、**[ぜんキーからさくじよしますか?]** と表示されます。

---

- 7 **[P2]** または **[P3]** を押して **[はい]** に移動し、**[OK]** を押して選択します。

---

- 8 ディスプレイには **[れんらくさきほぞんずみ]** と表示され、ミニ通知が表示されます。

---

- 9 画面は前のメニューに自動的に戻ります。

---

**注:** エントリが削除されたら、エントリとそのプログラミングされた数値キー間の関連付けは、削除されます。

## 既定の連絡先の設定

### 手順:

以下に示す手順を実行します。

- 1 **[OK]** を押してメニューにアクセスします。

---

- 2 **[P2]** または **[P3]** を押して **[れんらくさき]** に移動し、**[OK]** を押して選択します。

---

- 3 **[P2]** または **[P3]** を押して必要なエリアスまたは ID に移動し、**[OK]** を押して選択します。

---

- 4 **[P2]** または **[P3]** を押して **[しよきちセット]** に移動し、**[OK]** を押して選択します。

---

- 5 無線機からはポジティブインジケータ トーンが聞こえ、ディスプレイにはミニ通知が表示されます。

---

- 6 選択した既定のエリアスまたは ID の横に **✓** が表示されます。

---

## 新規登録

### 手順:

以下に示す手順を実行します。

- 1 **[P2]** を押してメニューにアクセスします。
- 2 **[P2]** または **[P3]** を押して [れんらくさき] に移動し、**[OK]** を押して選択します。
- 3 **[P2]** または **[P3]** を押して [しんきとうろく] に移動し、**[OK]** を押して選択します。
- 4 キーパッドを使用して連絡先番号を入力し、**[OK]** を押して確認します。
- 5 キーパッドを使用して連絡先の名前を入力し、**[OK]** を押して確認します。
- 6 **[P2]** または **[P3]** を押して必要な着信音タイプに移動し、**[OK]** を押して選択します。
- 7 無線機からはポジティブインジケータ トーンが聞こえ、ディスプレイには正のミニ通知が表示されます。

## 通話インジケータ設定

### 着信音のオンとオフの切り替え (ページング用)

受信ページングの着信音を選択したり、オンとオフを切り替えたりすることができます。

### 手順:

- 1 **[OK]** を押してメニューにアクセスします。
- 2 **[P2]** または **[P3]** を押して [せってい] に移動し、**[OK]** を押して選択します。
- 3 **[P2]** または **[P3]** を押して [きのうせってい] に移動し、**[OK]** を押して選択します。
- 4 **[P2]** または **[P3]** を押して [トーン/アラート] に移動し、**[OK]** を押して選択します。
- 5 **[P2]** または **[P3]** を押して [ちゃくしんおん] に移動し、**[OK]** を押して選択します。
- 6 **[P2]** または **[P3]** を押して [ページング] に移動し、**[OK]** を押して選択します。現在のトーンは ✓ で示されます。

- 7 **[P2]** または **[P3]** を押して必要な着信音に移動し、**[OK]** を押して選択します。選択したトーンの隣に ✓ が表示されます。  
あるいは  
**[P2]** または **[P3]** を押して [オフ] に移動し、**[OK]** を押して選択します。
- 
- 8 **[OK]** を押してページングの着信音を無効にします。ディスプレイで [オフ] の隣に ✓ が表示されます。  
あるいは  
**[OK]** を押して、ページングの着信音を有効にします。ディスプレイで [オフ] の隣から ✓ が消えます。

### 📄 着信音のオンとオフの切り替え (個別コール用) 📞

受信した個別コールの着信音のオンとオフを切り替えられます。

手順:

- 1 **[OK]** を押してメニューにアクセスします。

---

- 2 **[P2]** または **[P3]** を押して [せってい] に移動し、**[OK]** を押して選択します。

---

- 3 **[P2]** または **[P3]** を押して [きのうせってい] に移動し、**[OK]** を押して選択します。

- 4 **[P2]** または **[P3]** を押して [トーン/アラート] に移動し、**[OK]** を押して選択します。

---

- 5 **[P2]** または **[P3]** を押して [ちやくしんおん] に移動し、**[OK]** を押して選択します。

---

- 6 **[P2]** または **[P3]** を押して [こべつコール] に移動します。

---

- 7 **[P2]** または **[P3]** を押して [オン] に移動し、個別コールの着信音をオンにします。ディスプレイで [オン] の隣に ✓ が表示されます。  
あるいは  
**[P2]** または **[P3]** を押して [オフ] に移動し、個別コールの着信音をオフにします。ディスプレイで [オフ] の隣に ✓ が表示されます。

### 📄 着信音のオンとオフの切り替え (選択コール用) 📞

選択コールの着信音を選択したり、オンとオフを切り替えたりすることができます。

手順:

- 1 **[OK]** を押してメニューにアクセスします。

---

- 2 **[P2]** または **[P3]** を押して [せってい] に移動し、**[OK]** を押して選択します。

- 3 **[P2]** または **[P3]** を押して[きのうせつてい]に移動し、**[OK]** を押して選択します。
- 
- 4 **[P2]** または **[P3]** を押して[トーン/アラート]に移動し、**[OK]** を押して選択します。
- 
- 5 **[P2]** または **[P3]** を押して[ちゃくしんおん]に移動し、**[OK]** を押して選択します。
- 
- 6 **[P2]** または **[P3]** を押して[せんたくコール]に移動し、**[OK]** を押して選択します。現在のトーンは ✓ で示されます。
- 
- 7 **[P2]** または **[P3]** を押して必要な着信音に移動し、**[OK]** を押して選択します。選択したトーンの隣に ✓ が表示されます。  
あるいは  
**[P2]** または **[P3]** を押して[オフ]に移動し、**[OK]** を押して選択します。
- 
- 8 **[OK]** を押して選択コールの着信音をオフにします。ディスプレイで[オフ]の隣に ✓ が表示されます。  
あるいは  
**[OK]** を押して選択コールの着信音をオンにします。ディスプレイで[オフ]の隣から ✓ が消えます。
- 

## 着信音のオンとオフの切り替え (テキストメッセージ用)

テキストメッセージの着信音のオンとオフを切り替えられます。

手順:

- [OK]** を押してメニューにアクセスします。

---

- [P2]** または **[P3]** を押して[せつてい]に移動し、**[OK]** を押して選択します。

---

- [P2]** または **[P3]** を押して[きのうせつてい]に移動し、**[OK]** を押して選択します。

---

- [P2]** または **[P3]** を押して[トーン/アラート]に移動し、**[OK]** を押して選択します。

---

- [P2]** または **[P3]** を押して[ちゃくしんおん]に移動し、**[OK]** を押して選択します。

---

- [P2]** または **[P3]** を押して[メッセージ]に移動し、**[OK]** を押して選択します。現在のトーンは ✓ で示されます。

---

- 7 **[P2]** または **[P3]** を押して必要な着信音に移動し、**[OK]** を押して選択します。選択したトーンの隣に ✓ が表示されます。  
あるいは  
**[P2]** または **[P3]** を押して [オフ] に移動し、**[OK]** を押して選択します。
- 
- 8 **[OK]** を押してテキスト メッセージの着信音をオフにします。ディスプレイで [オフ] の隣に ✓ が表示されます。  
あるいは  
**[OK]** を押してテキスト メッセージの着信音をオンにします。ディスプレイで [オフ] の隣から ✓ が消えます。
- 

## 警告トーンの音量を上げる

無線通話に応答がない状態が続くと継続的に警告を発するよう、無線機をプログラムできます。時間が経つ毎に警告トーンが自動的に大きくなるようになっています。この機能はステップアラート (Escalart) として知られています。

手順:

- [OK]** を押してメニューにアクセスします。

---

  - [P2]** または **[P3]** を押して [せってい] に移動し、**[OK]** を押して選択します。

---

  - [P2]** または **[P3]** を押して [きのうせってい] に移動し、**[OK]** を押して選択します。

---

  - [P2]** または **[P3]** を押して [トーン/アラート] に移動し、**[OK]** を押して選択します。

---

  - [P2]** または **[P3]** を押して [ステップアラート] に移動します。

---

  - [P2]** または **[P3]** を押して [オン] に移動し、ステップアラートをオンにします。ディスプレイで [オン] の隣に ✓ が表示されます。  
あるいは  
**[P2]** または **[P3]** を押して [オフ] に移動し、ステップアラートをオフにします。ディスプレイで [オフ] の隣に ✓ が表示されます。
-

## ■ 通話履歴機能

無線機は、最近の発信、応答、不在の個別コールをすべて記録します。通話履歴機能を使用して、最近の通話を表示して管理します。

各通話リストでは以下のタスクを実行できます。

- 連絡先へのエイリアスまたは ID の保存 (105 ページの「通話リストからのエイリアスまたは ID の保存」を参照)
- 通話の削除
- すべての通話の削除
- 詳細の表示

### 最近の通話の表示

リストは[ふざいちゃくしん]、[へんとうずみ]、および[はっしん]です。

手順:

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して[つうわりれき]に移動し、 を押して選択します。
- 3  または  を押して必要なリストに移動し、 を押して選択します。

- 4 ディスプレイに最近のエントリが表示されます。

- 5  または  を押してリストを表示します。

[PTT] ボタンを押して、現在選択されているエイリアスまたは ID に個別コールを開始します。

### 通話リストからの通話の削除

手順:

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して[かいわりれき]に移動し、 を押して選択します。
- 3  または  を押して必要なリストに移動し、 を押して選択します。
- 4  または  を押して必要なエイリアスまたは ID に移動し、 を押して選択します。
- 5  または  を押して[さくじょ]に移動し、 を押して選択します。

- 6 を押して[はい]を選択し、エントリを削除します。ディスプレイにミニ通知が表示されます。  
あるいは  
または を押して[いいえ]に移動し、前の画面に戻ります。

選択した通話リストにエントリが存在しない場合、ディスプレイに[リストにありません]と表示され、キーパッドトーンがオンであれば低いトーンが鳴ります(90ページの「キー操作音のオンとオフの切り替え」を参照)。

#### 通話リストからのすべての通話の削除

手順:

- 1 を押してメニューにアクセスします。
- 2 または を押して[かわりれき]に移動し、を押して選択します。
- 3 または を押して必要なリストに移動し、を押して選択します。
- 4 または を押して必要なエリアスまたは ID に移動し、を押して選択します。

- 5 または を押して[ぜんさくじょ]に移動し、を押して選択します。
- 6 を押して[はい]に移動し、すべてエントリを削除します。ディスプレイにミニ通知が表示されます。  
あるいは  
または を押して[いいえ]に移動し、前の画面に戻ります。

#### 通話リストからの詳細の表示

手順:

- 1 を押してメニューにアクセスします。
- 2 または を押して[かわりれき]に移動し、を押して選択します。
- 3 または を押して必要なリストに移動し、を押して選択します。
- 4 または を押して必要なエリアスまたは ID に移動し、を押して選択します。
- 5 または を押して[しょうさい]に移動し、を押して選択します。ディスプレイに詳細が表示されます。

## ■ ページング操作

ページング機能により、相手が応答できる状態になった際にか  
け直すよう、特定の無線機ユーザーに警告することができます。

この機能は、サブスクライバのエイリアスまたは ID のみに適用さ  
れ、連絡先メニューまたは手動ダイヤルからアクセスできます。

### 📄 ページングの受信と応答

ページング ページを受信すると、呼び出し元無線機のディスプ  
レイにページングとエイリアスまたは ID がリストされた通知  
リストが表示されます。

手順:

- 1 繰り返しトーンが聞こえます。黄色の LED が点滅します。
- 2 通知リストにページングが表示されている間に [PTT] ボ  
タンを押して、個別コールに応答します。  
あるいは  
☑️ を押して、通知リストを終了します。警告は不在着信履  
歴に移動します。

通知リストの詳細については、73 ページの「通知リスト」を参  
照してください。

不在着信リストの詳細については、46 ページの「通話履歴機  
能」を参照してください。

### 📄 連絡先リストからのページング

手順:

- 1 ☑️ を押してメニューにアクセスします。
- 2 ◀️P2 または P3▶️ を押して [れんらくさき] に移動し、☑️ を  
押して選択します。
- 3 ◀️P2 または P3▶️ を押して必要なサブスクライバのエイリア  
スまたは ID に移動し、☑️ を押して選択します。
- 4 ◀️P2 または P3▶️ を押して [ページング] に移動し、☑️ を押  
して選択します。
- 5 ディスプレイには、ページングとサブスクライバのエイリア  
スまたは ID が表示されます。これはページングが送信され  
たことを示します。
- 6 無線機がページングを送信している間は LED が緑色に点灯  
します。
- 7 ページング承認を受信すると、ディスプレイにミニ通知が表  
示されます。  
あるいは  
ページング承認を受信しない場合、ディスプレイにミニ通知  
が表示されます。

または、サブスクライバ ID を手動でダイヤルしてページングを送信することもできます (106 ページの「手動ダイヤルによるページング」を参照)。

## 📄 ワンタッチ アクセス ボタンを使用したページング

手順:

- 1 プログラムされたワンタッチ アクセス ボタンを押し、事前に定義されたエアリアスまたは ID にページングします。
- 2 ディスプレイには、ページングとサブスクライバのエアリアスまたは ID が表示されます。これはページングが送信されたことを示します。
- 3 無線機がページングを送信している間は LED が緑色に点灯します。
- 4 ページング承認を受信すると、ディスプレイにミニ通知が表示されます。  
あるいは  
ページング承認を受信しない場合、ディスプレイにミニ通知が表示されます。

## ■ 緊急操作

重大な状況を示すために、緊急アラームが使われます。いつでも、どの画面でも、現在のチャンネルでアクティビティがある場合であっても、緊急操作を開始することができます。

ディーラーは、プログラムされた緊急ボタンのボタン押しの長さを設定できます、ただし、他のボタンと同様、長押しは除きます。

- 短押し – 0.05 秒から 0.75 秒の間
- 長押し – 1.00 秒から 3.75 秒の間

緊急ボタンに、緊急オン/オフ機能を割り当てます。緊急ボタンに割り当てられている操作については、ディーラーに確認してください。

緊急モードをオンにするために緊急短押しボタンを割り当てると、緊急長押しボタンは緊急モードの終了に割り当てられます。

緊急モードをオンにするために緊急長押しボタンを割り当てると、緊急短押しボタンは緊急モードの終了に割り当てられます。

お使いの無線機は、3 つの緊急アラームをサポートしています。

- 緊急アラーム
- 通話による緊急アラーム
- 音声ガイドおよび緊急アラーム

また、各アラームには以下のタイプがあります：

- **レギュラー** – 無線機が警告シグナルを送信し、オーディオおよび視覚的インジケータを示します。
- **サイレント** – オーディオあるいは視覚的インジケータなしに、無線機が警告シグナルを送信します。無線機がコールを受信する際、そのスピーカーから音が聞こえません。コールを開始するには、**[PTT]** ボタンを押します。
- **音声つきサイレント** – 無線機は、オーディオまたは視覚的インジケータなしに、アラーム信号を転送しますが、着信コールの音は無線のスピーカから聞こえます。

上記の緊急アラームのいずれか 1 つのみを、プログラムされた**緊急**ボタンまたは**緊急**フットスイッチに割り当てることができます。

## 📄 緊急アラームの受信

手順：

- 1 緊急アイコンが表示され、トーンが鳴り、赤色の LED が点滅し、複数のアラームがある場合はアラーム リストが表示されます。緊急通話発信者のエイリアスが表示されます。  
**[P2]** または **[P3]** を押して必要なエイリアスに移動し、  
**[OK]** を押して選択します。  
再度 **[OK]** を押すと、操作オプションが表示されます。

あるいは

緊急アイコンが表示され、トーンが鳴り、赤色の LED が点滅し、緊急通話発信者のエイリアスが表示されます。**[OK]** を押して詳細を表示します。再度 **[OK]** を押すと、操作オプションが表示されます。

- 2 アラーム リストを終了するには、**[OK]** を押して **[はい]** を選択します。  
アラーム リストに再度アクセスするには、**[OK]** を押してメニューにアクセスし、**[アラーム リスト]** を選択します。

## 📄 緊急アラームへの応答

手順：

緊急アラームの受信時：

- 1 アラーム リストで、**[P2]** または **[P3]** を押して必要なエイリアスに移動します。
- 2 **[L]** チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **[PTT]** ボタンを離れた瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。

- 3 緊急アラームのターゲットであった同じグループに緊急でない音声を転送するには、**[PTT]** ボタンを押します。LED が緑色に点灯します。無線機は緊急モードを保ちます。
- 4 通話許可トーンが完了するまで待機し (有効な場合)、マイクに向かってはっきりと話してください。  
あるいは  
 **PTT** サイドトーンが完了するまで待機し (有効な場合)、マイクに向かってはっきりと話してください。
- 5 **[PTT]** ボタンを離して聞きます。緊急操作を開始した無線機が応答すると、緑色の LED が点滅します。ディスプレイに、グループコールアイコン、送信中の無線機のエイリアスまたは ID が表示されます。
- 6 アラーム リストが無線機に表示されます。

緊急音声を転送できるのは、緊急起動無線だけです。その他の無線 (緊急受信無線を含む) は、緊急以外の音声を転送します。

## 📄 緊急アラームの送信

この機能では、緊急アラーム、音声以外の信号を送信します。これにより、無線機グループにアラートを通知します。

手順:

- 1 プログラムされた **[緊急オン]** ボタンまたは **[緊急]** フットスイッチを押します。
- 2 **[Tx アラーム]** および宛先のエイリアスが表示されます。LED が緑色に点灯し、緊急アイコンが表示されます。  
あるいは  
 **[Tx テレグラム]** および宛先のエイリアスが表示されます。LED が緑色に点灯し、緊急アイコンが表示されます。
- 3 緊急アラーム承認を受信すると、緊急トーンが鳴り、LED が緑色に点滅します。ディスプレイには **[アラーム そうしん]** と表示されます。  
あるいは  
無線機が緊急アラーム承認を受信しないまますべての試行回数を終えると、トーンが鳴り、ディスプレイに **[アラーム NG]** と表示されます。
- 4 無線機は緊急アラーム モードを終了し、ホーム画面に戻ります。

お使いの無線機がサイレントに設定されている場合、緊急モード中にはオーディオや視覚的インジケータは一切表示されません。

## ☐ 通話による緊急アラームの送信

この機能では、緊急アラームを無線機グループに送信します。グループ内で無線機による確認応答があり次第、無線機グループはプログラミング済みの緊急チャンネルで通信します。

手順:

- 1 プログラムされた **[緊急オン]** ボタンまたは **[緊急]** フットスイッチを押します。
- 2 **[Tx アラーム]** および宛先のエイリアスが表示されます。LED が緑色に点灯し、緊急アイコンが表示されます。  
**あるいは**  
④ **[Tx テレグラム]** および宛先のエイリアスが表示されます。LED が緑色に点灯し、緊急アイコンが表示されます。
- 3 緊急アラーム承認を受信すると、緊急トーンが鳴り、LED が緑色に点滅します。ディスプレイには **[アラーム そうしん]** と表示されます。
- 4 ディスプレイに **[きんきゅう]** と宛先グループのエイリアスが表示されると、無線機が緊急通話モードに入ります。
- 5 **[PTT]** ボタンを押して、通話を発信します。緑色の LED が点灯し、ディスプレイにグループアイコンが表示されます。

- 6 通話許可トーンが完了するまで待機し (有効な場合)、マイクに向かってはっきりと話してください。

**あるいは**

- ⑤ **PTT** サイドトーンが完了するまで待機し (有効な場合)、マイクに向かってはっきりと話してください。

- 7 **[PTT]** ボタンを離して聞きます。グループコールを受信すると、ディスプレイに発信者エイリアスとグループエイリアスが表示されます。
- 8 チャンネルがフリーで応答可能であれば、短い警告トーンが聞こえます (⑥ チャンネルフリー通知機能が有効な場合)。  
**[PTT]** ボタンを押して応答します。  
**あるいは**  
コールが終了したら、**緊急オフ** ボタンを押して、緊急モードを終了します。
- 9 無線機はホーム画面に戻ります。

無線機がサイレントに設定されている場合、緊急モードでオーディオまたは視覚的インジケータは表示されません。あるいは、無線機のスピーカーから受信コールは聞こえません。コールを開始するには、**[PTT]** ボタンを押します。

無線機が音声付きのサイレントに設定されている場合、緊急モードでオーディオまたは視覚的インジケータは表示されませんが、無線機のスピーカーから着信コールが聞こえます。**[PTT]** ボタンを押して通話を開始するか、または通話に応答した時点で、インジケータが表示されます。

## 📄 緊急アラームと音声ガイドの送信

この機能では、緊急アラームを無線機グループに送信します。無線機のマイクは、自動的に有効になり、[PTT] ボタンを押さずに無線機グループと通信できます。

このアクティブな状態のマイクを「ホット マイク」と呼びます。

**注：** アクセサリーによっては「ホット マイク」をサポートしていないものもあります。詳しくは、ディーラーかシステム管理者にご確認ください。

無線機で緊急サイクル モードが有効の場合、プログラムされた期間、ホット マイクと受信時間が繰り返されます。

**注：** 緊急サイクル モード中は、受信コールの音は無線機のスピーカーから聞こえます。

プログラムされた受信時間中に [PTT] ボタンを押すと、通話禁止音が聞こえます。これは、[PTT] ボタンを離す必要があるという意味です。無線機は、[PTT] が押されたことを無視して緊急モードを保ちます。

**注：** ホット マイク中に [PTT] ボタンを押し、ホット マイクの期限が切れた後も押し続けると、[PTT] ボタンを離すまで無線機は送信を続けます。

手順：

- 1 プログラムされた **[緊急オン]** ボタンまたは **[緊急]** フットスイッチを押します。
- 2 [Tx アラーム] および宛先のエイリアスが表示されます。LED が緑色に点灯し、緊急アイコンが表示されます。  
**あるいは**  
 [Tx テレグラム] および宛先のエイリアスが表示されます。LED が緑色に点灯し、緊急アイコンが表示されます。
- 3 ディスプレイに [アラームそうしん] と表示されたら、マイクに向かってはっきりと話します。ホット マイクが有効になると、ホット マイクが期限切れになるまで、[PTT] を押さなくても無線機が自動的に送信します。送信中、緑色の LED が点灯し、緊急アイコンが表示されます。
- 4 次のような場合、無線機は自動的に送信を終了します。ホット マイクと受信コール間のサイクルの期限が切れると、緊急サイクルモードが有効になる場合。  
**あるいは**  
ホット マイクの期限が切れると、緊急サイクル モードが無効になる場合。
- 5 再び送信するには、[PTT] ボタンを押します。  
**あるいは**  
プログラムされた **緊急オフ** ボタンを押して、緊急モードを終了します。
- 6 無線機はホーム画面に戻ります。

無線機がサイレントに設定されると、緊急モードで、オーディオまたは視覚的インジケータは表示されません。あるいは、無線機のスピーカから受信コールが聞こえません。プログラムされたホットマイク転送時間が終了したら、[PTT] ボタンを押します。

無線機が音声付きのサイレントに設定されると、ホットマイクでコールしても、緊急モードでオーディオまたは視覚的インジケータは表示されません。ただし、プログラムされたホットマイクの転送時間が終了して、ターゲット無線機が応答すると、無線機のスピーカから音が聞こえます。[PTT] ボタンを押した時点で、インジケータが表示されます。

**注：** 緊急アラームのリクエストに失敗したら、無線機はそのリクエストを再送信せず、ホットマイクのステータスを直接入力します。

## 📄 緊急モードの再開

**注：** この機能は、緊急アラームを送信する無線機にのみ適用されます。

この状況が起こるケースは2つあります：

- 無線機が緊急モードである間に、チャンネルを変更する場合があります。これにより、緊急モードが終了します。この新しいチャンネルで緊急アラームが有効になると、無線機は緊急を再開します。
- 緊急の起動/転送ステータス時に、プログラミング済み**緊急オン**ボタンを押します。これにより、無線機がこの状態を終了し、緊急を再開します。

## 📄 緊急モードの終了

**注：** この機能は、緊急アラームを送信する無線機にのみ適用されます。

以下のいずれかが発生した場合、無線機は緊急モードを終了します：

- 緊急アラーム承認を受信した場合（**緊急アラームの場合のみ**）、または
-  緊急終了テレグラムを受信した場合、または
- 警告を送信するすべての再試行が無駄に終わった場合、または
- **[緊急オフ]** ボタンが押された場合、または
- 確認応答を受信した後でも無線機が緊急復帰チャンネルにプログラムされているままの場合は、無線機の電源を切り、もう一度電源を入れます。

**注：** 無線機の電源を切ると、緊急モードは終了します。もう一度電源を入れた際に、無線機が自動的に緊急モードを再開することはありません。

無線機が緊急モードであるときに、緊急システムが設定されていないチャンネルに変更すると、ディスプレイに[きんきゅうなし]と表示されます。

## ■ テキストメッセージ機能

無線機は、他の無線機や電子メールアプリケーションからメッセージなどのデータを受信できます。

### クイック テキスト メッセージの送信

無線機はディーラーがプログラミングするクイック メッセージを最大 50 までサポートします。

手順:

プログラムされた [メッセージ] ボタンを押して、ステップ 3 に進みます。

あるいは

以下に示す手順を実行します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して [メッセージ] に移動し、 を押して選択します。
- 3  または  を押して [クイック テキスト] に移動し、 を押して選択します。
- 4  または  を押して必要なクイック テキストに移動し、 を押して選択します。

5  または  を押して必要なエイリアスまたは ID に移動し、 を押して選択します。

6 ディスプレイには経過に関するミニ通知が表示され、メッセージが送信中であることが示されます。

7 メッセージが送信されると、トーンが鳴り、ディスプレイにミニ通知が表示されます。

あるいは

メッセージが送信されない場合、低いトーンが鳴り、ディスプレイにミニ通知が表示されます。

メッセージの送信に失敗すると、[さいそうしん] オプション画面に戻ります (56 ページの「送信失敗メッセージの管理」を参照)。

### ワンタッチ アクセス ボタンでクイック メッセージを送信

- 1 プログラムされたワンタッチ アクセス ボタンを押して、事前に定義されたクイック メッセージを事前に定義されたエイリアスまたは ID に送信します。
- 2 ディスプレイには経過に関するミニ通知が表示され、メッセージが送信中であることが示されます。
- 3 メッセージが送信されると、トーンが鳴り、ディスプレイにミニ通知が表示されます。  
あるいは  
メッセージが送信されない場合、低いトーンが鳴り、ディスプレイにミニ通知が表示されます。

メッセージの送信が失敗すると、[さいそうしん] オプション画面に戻ります (56 ページの「送信失敗メッセージの管理」を参照)。

### 送信失敗メッセージの管理

[さいそうしん] オプション画面では、以下のいずれかのオプションを選択できます。

- 再送信
- 次へ

注: チャンネルタイプ (一般デジタル) が一致しない場合、送信失敗メッセージの編集と転送のみが可能です。

### メッセージの再送信

手順:

- 1 **[OK]** を押して、同じサブスクライバ/グループのエイリアスまたは ID に同じメッセージを再送信します。
- 2 メッセージが送信されると、トーンが鳴り、ディスプレイにポジティブのミニ通知が表示されます。  
あるいは  
メッセージを送信できない場合には、ディスプレイにネガティブのミニ通知が表示されます。

### メッセージの転送

別のサブスクライバ/グループのエイリアスまたは ID にメッセージを送信するには、[てんそう] を選択します。

手順:

- 1 **[P2]** または **[P3]** を押して [てんそう] に移動し、**[OK]** を押し  
て選択します。
- 2 **[P2]** または **[P3]** を押して必要なエイリアスまたは ID に移動し、**[OK]** を押して選択します。
- 3 ディスプレイには経過に関するミニ通知が表示され、メッセージが送信中であることが示されます。
- 4 メッセージが送信されると、トーンが鳴り、ディスプレイにミニ通知が表示されます。  
あるいは  
メッセージが送信されない場合、低いトーンが鳴り、ディスプレイにミニ通知が表示されません。

または、手動で送信先の無線機のアドレスを選択することもできます (107 ページの「手動ダイヤルによるテキストメッセージの転送」を参照)。

## 送信済みメッセージの管理

別の無線機に送信されたメッセージは、送信 BOX に保存されません。最近送信されたメッセージは、必ず送信 BOX リストの一番上に追加されます。

送信 BOX フォルダは、最大で 30 件の最近送信されたメッセージを格納することができます。フォルダが一杯であるときにメッセージを送信すると、フォルダの一番古いメッセージが削除されます。

**注:**  ボタンを長く押すと、いつでもホーム画面に戻ります。

## 送信済みメッセージの表示

**手順:**

プログラムされた [メッセージ] ボタンを押して、ステップ 3 に進みます。

**あるいは**

以下に示す手順を実行します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して [メッセージ] に移動し、 を押して選択します。
- 3  または  を押して [そうしん BOX] に移動し、 を押して選択します。

- 4  または  を押して必要なメッセージに移動し、 を押して選択します。  
メッセージが電子メール アプリケーションから送信された場合、件名が表示される場合があります。

各メッセージの隣のアイコンは、メッセージのステータスを示します (13 ページの「送信 BOX アイコン」を参照)。

## 送信済みメッセージの送信

送信済みメッセージを表示中、以下のいずれかのオプションを選択できます。

- 再送信
- 次へ
- 削除

**注:** チャネルタイプ (一般デジタル) が一致しない場合、送信メッセージの編集、転送、または削除のみが可能です。

**手順:**

- 1 メッセージの表示中に、 を再度押します。
- 2  または  を押して [ユーティリティ] に移動し、 を押して選択します。

3 ディスプレイには経過に関するミニ通知が表示され、同じメッセージが同じ送信先無線機に送信されていることが示されます。

4 メッセージが送信されると、トーンが鳴り、ディスプレイに正のミニ通知が表示されます。

あるいは

メッセージが送信されない場合、低いトーンが鳴り、ディスプレイに負のミニ通知が表示されます。

メッセージの送信に失敗すると、無線機は [さいそうしん] オプション画面に戻ります。 [ESC] を押して、同じサブスクライバ/グループのエリアスまたは ID に同じメッセージを再送信します。

注: ボリュームを変更するか、任意のボタンを押すと ([ESC]、[P2]、または [P3] ボタンを除く)、メッセージに戻ります。

[PTT] ボタンを押して個別コールやグループコールを行ったり、グループコールに応答すると、[さいそうしん] オプション画面を終了します。無線機がテキストメッセージ、緊急通話や緊急アラーム、またはページングを受信した場合にも、画面が終了されます。

個別コールに応答する場合 (無線機が不在通話画面を表示している場合を除く) や、一斉コールの最後で [PTT] ボタンを押すと、[さいそうしん] オプション画面に戻ります。

[P2] または [P3] を押して [てんそう] または [さくじょ] オプション画面にアクセスします。

- [てんそう] を選択して、選択したテキストメッセージを別の送信先無線機に送信します (56 ページの「メッセージの転送」を参照)。または、キーパッド付きマイクを使用して送信先の無線機のアドレスを手動で選択することもできます (107 ページの「手動ダイヤルによるテキストメッセージの転送」を参照)。
- メッセージを削除するには、[さくじょ] を選択します。

注: メッセージ送信中にメッセージ送信画面を終了すると、無線機は、ディスプレイや音声による通知を行わずに送信 BOX フォルダ内のメッセージのステータスを更新します。

送信 BOX 内のメッセージのステータスが更新される前に、無線機のモードが変更されたり電源がオフになると、無線機は実行中のメッセージを完了できなくなり、そのメッセージは送信失敗アイコンで自動的にマークされます。

無線機は、同時に最大で 5 件の実行中メッセージをサポートします。この間、無線機は新しいメッセージを送信することができず、そのメッセージは送信失敗アイコンで自動的にマークされます。

## 送信 BOX からの全送信済みメッセージの削除

手順:

プログラムされた [メッセージ] ボタンを押して、ステップ 3 に進みます。

あるいは

以下に示す手順を実行します。

- 1 **[OK]** を押してメニューにアクセスします。

---

- 2 **[P2]** または **[P3]** を押して [メッセージ] に移動し、**[OK]** を押して選択します。

---

- 3 **[P2]** または **[P3]** を押して [そうしん BOX] に移動し、**[OK]** を押して選択します。

---

- 4 **[P2]** または **[P3]** を押して [ぜんさくじょ] に移動し、**[OK]** を押して選択します。

---

- 5 **[P2]** または **[P3]** を押して [はい] に移動し、**[OK]** を押して選択します。ディスプレイに正のミニ通知が表示されます。  
あるいは  
**[P2]** または **[P3]** を押して [いいえ] に移動し、**[OK]** を押して、前の画面に戻ります。

選択した送信済みアイテムにメッセージが存在しない場合、ディスプレイに [りすとがありません] と表示され、キーパッドトーンがオンであれば低いトーンが鳴ります (90 ページの「キー操作音のオンとオフの切り替え」を参照)。

## メッセージの受信

無線機がメッセージを受信すると、ディスプレイに送信者のエイリアスまたは ID 付きの通知リストとメッセージアイコンが表示されます。

メッセージを受信すると、以下のいずれかのオプションを選択できます。

- 表示
- 後で表示
- 削除

注:     メッセージ警告画面が表示されているときに **[PTT]** ボタンが押されると、無線機は警告画面を終了して、送信者への個別コールまたはグループコールを開始します。

## メッセージの表示

手順:

- 1 **[P2]** または **[P3]** を押して [ひょうじ] に移動し、**[OK]** を押して選択します。

---

- 2 [じゅしん BOX] 内の選択したメッセージが開きます。メッセージが電子メール アプリケーションから送信された場合、件名が表示される場合があります。

3  を押して [じゅしん BOX] に戻ります。

あるいは

 を押して、テキスト メッセージの返信、転送、または削除を行います。

 または  を押して [あとでひょうじ] または [さくじょ] オプション画面にアクセスします。

- メッセージを受信する前の画面に戻るには、[あとでひょうじ] を選択します。
- メッセージを削除するには、[さくじょ] を選択します。

### 受信メッセージの管理

受信トレイを使用してメッセージを管理します。受信トレイは最大で 30 件のメッセージを格納できます。

無線機は、メッセージ用の以下のオプションをサポートします。

- 返信 (クイック テキストで)
- 次へ
- 削除
- 全削除

注: チャネル タイプ (一般デジタル) が一致しない場合、受信メッセージの転送、削除、および全削除のみが可能です。

受信トレイ内のメッセージは、新しく受信した順番にソートされます。

注:  ボタンを長く押すと、いつでもホーム画面に戻ります。

### 受信トレイのメッセージの表示

手順:

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して [メッセージ] に移動し、 を押して選択します。
- 3  または  を押して [じゅしん Box] に移動し、 を押して選択します。
- 4  または  を押してメッセージを表示します。  
メッセージが電子メール アプリケーションから送信された場合、件名が表示される場合があります。
- 5  を押して現在のメッセージを選択し、 を再度押して、そのメッセージの返信、転送、または削除を行います。  
あるいは  
ホーム画面に戻るには、 ボタンを長く押します。

## 📄 クイック テキストでのテキスト メッセージへの返信

### 手順:

プログラムされた [メッセージ] ボタンを押して、ステップ 3 に進みます。

### あるいは

以下に示す手順を実行します。

- 1 **[OK]** を押してメニューにアクセスします。

---

- 2 **[P2]** または **[P3]** を押して [メッセージ] に移動し、**[OK]** を押して選択します。

---

- 3 **[P2]** または **[P3]** を押して [じゅしん Box] に移動し、**[OK]** を押して選択します。

---

- 4 **[P2]** または **[P3]** を押して必要なメッセージに移動し、**[OK]** を押して選択します。  
メッセージが電子メール アプリケーションから送信された場合、件名が表示される場合があります。

---

- 5 サブメニューにアクセスするには、**[OK]** ボタンをもう一度押します。

---

- 6 **[P2]** または **[P3]** を押して [へんしん] に移動し、**[OK]** を押して選択します。

---

- 7 **[P2]** または **[P3]** を押して [クイックへんしん] に移動し、**[OK]** を押して選択します。

---

- 8 **[P2]** または **[P3]** を押して必要なメッセージに移動し、**[OK]** を押して選択します。

---

- 9 ディスプレイには経過に関するミニ通知が表示され、メッセージが送信中であることが示されます。

---

- 10 メッセージが送信されると、トーンが鳴り、ディスプレイにポジティブのミニ通知が表示されます。  
**あるいは**  
メッセージを送信できない場合には、ディスプレイにネガティブのミニ通知が表示されます。

---

メッセージの送信に失敗すると、[さいそうしん] オプション画面に戻ります (56 ページの「送信失敗メッセージの管理」を参照)。

## 受信トレイのメッセージの削除

### 手順:

プログラムされた【メッセージ】ボタンを押して、ステップ3に進みます。

### あるいは

以下に示す手順を実行します。

- 1 **[OK]**を押してメニューにアクセスします。
- 2 **[P2]**または**[P3]**を押して【メッセージ】に移動し、**[OK]**を押して選択します。
- 3 **[P2]**または**[P3]**を押して【じゅしん Box】に移動し、**[OK]**を押して選択します。
- 4 **[P2]**または**[P3]**を押して必要なメッセージに移動し、**[OK]**を押して選択します。  
メッセージが電子メールアプリケーションから送信された場合、件名が表示される場合があります。
- 5 サブメニューにアクセスするには、**[OK]**ボタンをもう一度押します。
- 6 **[P2]**または**[P3]**を押して【さくじょ】に移動し、**[OK]**を押して選択します。

- 7 **[P2]**または**[P3]**を押して【はい】に移動し、**[OK]**を押して選択します。
- 8 ディスプレイにミニ通知が表示されます。
- 9 画面は受信トレイに戻ります。

## 受信トレイの全メッセージの削除

### 手順:

プログラムされた【メッセージ】ボタンを押して、ステップ3に進みます。

### あるいは

以下に示す手順を実行します。

- 1 **[OK]**を押してメニューにアクセスします。
- 2 **[P2]**または**[P3]**を押して【メッセージ】に移動し、**[OK]**を押して選択します。
- 3 **[P2]**または**[P3]**を押して【じゅしん Box】に移動し、**[OK]**を押して選択します。
- 4 **[P2]**または**[P3]**を押して【ぜんさくじょ】に移動し、**[OK]**を押して選択します。

- 5 **◀P2** または **P3▶** を押して [はい] に移動し、**OK** を押して選択します。
- 6 ディスプレイにミニ通知が表示されます。

選択した受信トレイにメッセージが存在しない場合、ディスプレイに [リストにありません] と表示され、キーパッドトーンがオンであれば低いトーンが鳴ります (90 ページの「キー操作音のオンとオフの切り替え」を参照)。

**注:** キーパッドが有効になったマイクでは、さらに多くのテキストメッセージ機能があります。詳細については、107 ページの「テキストメッセージング」を参照してください。

## ■ アナログ メッセージ

無線機は、メッセージリストから無線エイリアスまたは統制台に予めプログラムされたメッセージを送信できます。

### 統制台への MDC メッセージの送信

手順:

- 1 **OK** を押してメニューにアクセスします。
- 2 **◀P2** または **P3▶** を押して [メッセージ] に移動し、**OK** を押して選択します。
- 3 **◀P2** または **P3▶** を押して [クイック テキスト] に移動し、**OK** を押して選択します。
- 4 **◀P2** または **P3▶** を押して必要なメッセージに移動します。**OK** を押して送信します。
- 5 ディスプレイには経過に関するミニ通知が表示され、メッセージが送信中であることが示されます。
- 6 メッセージが送信されると、トーンが鳴り、ディスプレイにミニ通知が表示されます。  
**あるいは**  
メッセージが送信されない場合、低いトーンが鳴り、ディスプレイにミニ通知が表示されます。

## ☐ 連絡先への 5 トーン メッセージ の送信

手順:

- 1  を押してメニューにアクセスします。

---

- 2  または  を押して [メッセージ] に移動し、 を押して選択します。

---

- 3  または  を押して [クイック テキスト] に移動し、 を押して選択します。

---

- 4  または  を押して必要なメッセージに移動します。 を押して選択します。

---

- 5  または  を押して必要な連絡先に移動します。 を押して選択します。

---

- 6 ディスプレイには経過に関するミニ通知が表示され、メッセージが送信中であることが示されます。

---

- 7 メッセージが送信されると、トーンが鳴り、ディスプレイにミニ通知が表示されます。  
あるいは  
メッセージが送信されない場合、低いトーンが鳴り、ディスプレイにミニ通知が表示されます。

注: この設定の詳細については、ディーラーかシステム管理者にご確認ください。

## ■ アナログ ステータス更新

無線機は、現在のアクティビティを示すステータス リストから無線機の連絡先 (5 トーン システム) または統制台 (MDC システム) に、事前にプログラムされたメッセージを送信できます。

最後に確認されたメッセージがステータス リストの最上部に保存されます。他のメッセージは英数字順に並べられます。

### ☐ 定義済み連絡先へのステータス更新の送信

手順:

- 1  を押してメニューにアクセスします。

---

- 2  または  を押して [ステータス] に移動し、 を押して選択します。

---

- 3  または  を押して必要なステータスに移動します。 を押して選択します。

---

- 4  または  を押して to [しよきちセット] に移動します。 を押してステータス更新を送信します。

---

- 5 ディスプレイには経過に関するミニ通知が表示され、ステータス更新が送信中であることが示されます。

- 6 ステータス更新が承認されると、トーンが鳴り、ディスプレイにミニ通知が表示されます。承認されたステータスの隣に✓が表示されます。

#### あるいは

ステータス更新が承認されない場合、低いトーンが鳴り、ディスプレイにミニ通知が表示されます。前のステータスの隣に✓が引き続き表示されます。5 トーンシステムの場合、既定連絡先の設定詳細については、41 ページの「既定の連絡先の設定」を参照してください。

- 5 トーンシステムの場合、ステータスリストで選択したステータス更新の送信中に [PTT] ボタンを押すと、ホーム画面に戻り音声通話が開始されます。

### 📖 5 トーン ステータスの詳細の表示

#### 手順:

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して [ステータス] に移動し、 を押して選択します。
- 3  または  を押して必要なステータスに移動します。  
 を押して選択します。

- 4  または  を押して [しょうさい] に移動します。

 を押して選択します。

- 5 ディスプレイに選択したステータスの詳細が表示されます。

注: この設定の詳細については、ディーラーかシステム管理者にご確認ください。

## ■ プライバシー

有効になっている場合、この機能は、ソフトウェアベースのスクランブルソリューションの使用により、不正なユーザーによる盗聴を防ぐのに役立ちます。送信のシグナリングおよび特定の部分はスクランブルされません。

秘話モード対応で送信するには、無線機のチャンネルに秘話モードを設定する必要があります。ただし、秘話モードを設定していなくても受信はできます。プライバシー有効チャンネル上で、無線機はクリアな (スクランブルされていない) 送信を引き続き受信できます。

お使いの無線機は、**拡張プライバシー**のみをサポートしています。

秘話モード対応の通話またはデータ送信のスクランブルを解除するには、送信側の無線機と同じキー値およびキー ID を無線機にプログラムする必要があります。

無線機が別のキー値およびキー ID によるスクランブル通話を受信すると、何も聞こえません。

無線機が送信中には、緑色の LED が点灯します。無線機が進行中の秘話対応通話を受信中には、LED は 2 回点滅します。

**注：** 無線機のモデルまたは使用場所によっては、秘話モード機能がサポートされないことがあります。この機能の使用に必要なソフトウェアライセンスキーは別売りです。詳しくは、ディーラーかシステム管理者にご確認ください。

#### 手順：

プログラムした [プライバシー] ボタンを押し、プライバシーのオンとオフを切り替えます。

#### あるいは

以下に示す手順を実行します。

- 1 **[OK]** を押してメニューにアクセスします。

---

- 2 **[P2]** または **[P3]** を押して [せってい] に移動し、**[OK]** を押して選択します。

---

- 3 **[P2]** または **[P3]** を押して [きのうせってい] に移動し、**[OK]** を押して選択します。

---

- 4 **[P2]** または **[P3]** を押して [ひわモード] に移動します。

---

- 5 **[P2]** または **[P3]** を押して [オン] に移動し、秘話モードをオンにします。ディスプレイで [オン] の隣に ✓ が表示されます。  
**あるいは**  
**[P2]** または **[P3]** を押して [オフ] に移動し、秘話モードをオフにします。ディスプレイで [オフ] の隣に ✓ が表示されます。

## ■ アナログ スクランブル

アナログ スクランブルとは、ソフトウェアベースのスクランブル ソリューションを使用した、不正ユーザーによる盗聴を防ぐためのアナログ専用の機能です。送信のシグナリングおよび特定の部分はスクランブルされません。

アナログ スクランブルが有効になった送信を送受信するには、お使いの無線機でアナログ スクランブルが有効になっている必要があります。アナログ スクランブルが有効になったチャンネルの使用中は、無線機はクリアな (スクランブルされていない) 送信を受信することができません。

お使いの無線機は、2 つのアナログ スクランブル コードをサポートしています。これらのコードは、プログラム可能なボタンを使って切り替えることができます。

## 📄 アナログスクランブルのオンとオフの切り替え

### 手順:

この機能を有効または無効にするには、プログラムされた【アナログスクランブル】ボタンを押します。

### あるいは

以下に示す手順を実行します。

- 1 **[OK]** を押してメニューにアクセスします。

---

- 2 **[P2]** または **[P3]** を押して [せってい] に移動し、 **[OK]** を押して選択します。

---

- 3 **[P2]** または **[P3]** を押して [きのうせってい] に移動し、 **[OK]** を押して選択します。

---

- 4 **[P2]** または **[P3]** を押して [スクランブル] に移動します。

---

- 5 **[OK]** を押して秘話モードを有効にします。ディスプレイで [ゆうこう] の隣に ✓ が表示されます。  
あるいは  
**[OK]** を押して秘話モードを無効にします。ディスプレイで [ゆうこう] の隣から ✓ が消えます。

## 📄 アナログスクランブルコードの設定

### 手順:

この機能を有効または無効にするには、プログラムされた【アナログスクランブル】ボタンを押します。

### あるいは

以下に示す手順を実行します。

- 1 **[OK]** を押してメニューにアクセスします。

---

- 2 **[P2]** または **[P3]** を押して [せってい] に移動し、 **[OK]** を押して選択します。

---

- 3 **[P2]** または **[P3]** を押して [きのうせってい] に移動し、 **[OK]** を押して選択します。

---

- 4 **[P2]** または **[P3]** を押して [スクランブル] に移動します。

---

- 5 **[P2]** または **[P3]** を押して必要なコードに移動し、 **[OK]** を押して選択します。

## ■ 複数サイト コントロール

現在の無線機チャンネルが IP サイト コネクトまたはリンクド キャパシティ プラス設定に含まれている場合に適用されます。

これらの設定の詳細については、および9ページの「IP サイト コネクト」を参照してください。

注： この設定の詳細については、ディーラーかシステム管理者にご確認ください。

### 自動サイト検索の開始

注： 無線機は、現在のサイトからの信号が弱くなったり、無線機が現在のサイトから信号をまったく検出できなくなった場合にのみ、新規サイトをスキャンします。RSSI 値が強ければ、無線機は現在のサイトのままです。

手順：  
プログラムされた [サイト ロック オン/オフ] ボタンを押します。

- 1 トーンが鳴り、ディスプレイに [サイトロックかいじょ] と表示されます。
- 2 無線機が新規サイトを検索しているときには、黄色の LED が高速で点滅します。無線機がサイトにロックオンすると LED は消灯します。
- 3 ディスプレイに、チャンネルのエイリアスとサイト ローミング アイコンが表示されます。

あるいは

手順：  
メニューを使用します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して [せってい] に移動し、 を押し て選択します。
- 3  または  を押して [きのうせってい] に移動し、 を 押して選択します。
- 4  または  を押して [サイト ローミング] に移動し、  を押して選択します。
- 5  または  を押して [サイト アンロック] に移動し、  を押して選択します。トーンが鳴り、ディスプレイに [サイトロックかいじょ] と表示されます。
- 6 無線機はホーム画面に戻ります。ディスプレイに、チャンネル のエイリアスとサイト ローミング アイコンが表示されます。
- 7 無線機が新規サイトを検索しているときには、黄色の LED が高速で点滅します。無線機がサイトにロックオンすると LED は消灯します。

現在のチャンネル (ローミング リスト付きの複数サイト チャンネル) が通信範囲外であれば、[PTT] ボタンが押されている間やデータの送信中は、無線機は自動サイト検索も実行します (サイトはロック解除)。

### 📄 自動サイト検索の停止

無線機が新しいサイトを検索している間に次の手順を実行します。

手順:

プログラムされた [サイト ロック オン/オフ] ボタンを押します。

- 1 トーンが鳴り、ディスプレイに [サイト ロック ずみ] と表示されます。
- 2 LED が消灯し、ディスプレイにチャンネルのエイリアスが表示されます。

あるいは

手順:

メニューを使用します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して [せってい] に移動し、 を押して選択します。
- 3  または  を押して [きのうせってい] に移動し、 を押して選択します。
- 4  または  を押して [サイト ローミング] に移動し、 を押して選択します。
- 5  または  を押して [Lock Site State] に移動します。
- 6  を押してサイトをロックします。ディスプレイで [ゆうこう] の隣に ✓ が表示されます。  
あるいは  
 を押してサイトをロック解除します。ディスプレイで [ゆうこう] の隣から ✓ が消えます。
- 7 LED は消灯し、無線機はホーム画面に戻ります。ディスプレイにはチャンネルのエイリアスが表示されます。

## 📖 手動サイト検索の開始

### 手順:

プログラムされた [しゅどうローミング] ボタンを押して、ステップ 6 に進みます。

### あるいは

以下に示す手順を実行します。

- 1 **[OK]** を押してメニューにアクセスします。

---

- 2 **[P2]** または **[P3]** を押して [せってい] に移動し、**[OK]** を押して選択します。

---

- 3 **[P2]** または **[P3]** を押して [きのうせってい] に移動し、**[OK]** を押して選択します。

---

- 4 **[P2]** または **[P3]** を押して [サイト ローミング] に移動し、**[OK]** を押して選択します。

---

- 5 **[P2]** または **[P3]** を押して [サイト サーチ] に移動し、**[OK]** を押して選択します。

---

- 6 トーンが鳴り、ディスプレイに [サイト サーチ] と表示されます。LED が緑色に点滅します。

---

7 新しいサイトが見つかったと、トーンが鳴り、LED が消灯します。ディスプレイには [Site Alias Found] と表示されます。

### あるいは

通信範囲内にサイトが見つからないと、トーンが鳴り、LED が消灯します。ディスプレイには [けんがい] と表示されます。

### あるいは

通信範囲内にサイトが存在するものの無線機が接続できない場合、トーンが鳴り、LED が消灯します。ディスプレイには [チャンネルビジー] と表示されます。

8 無線機はホーム画面に戻ります。

## ■ セキュリティ

システム内の任意の無線機の有効、無効を切り替えられます。たとえば、盗難にあった無線機を無効にして使用できないようにし、無線機を回収したら有効にすることができます。

**注：** 無線機の停止、停止解除の切り替えは、これらの機能が有効である無線機に限られます。

### 無線機停止

**手順：**

プログラムされた【むせんていし】ボタンを使用します。

- 1 プログラムされた【むせんていし】ボタンを押します。
  - 2  または  を押して必要なサブスクライバのエリアスまたは ID に移動し、 を押して選択します。
  - 3 ディスプレイには経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。LED が緑色に点滅します。
  - 4 確認応答を待ちます。
  - 5 成功すると、ポジティブインジケータ トーンが鳴り、ディスプレイにミニ通知が表示されます。
- あるいは**  
失敗の場合、ネガティブインジケータ トーンが鳴り、ディスプレイにミニ通知が表示されます。

あるいは

**手順：**

メニューを使用します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
  - 2  または  を押して【れんらくさき】に移動し、 を押して選択します。エントリはアルファベット順にソートされます。
  - 3  または  を押して必要なサブスクライバのエリアスまたは ID に移動し、 を押して選択します。
  - 4  または  を押して【むせんていし】に移動し、 を押して選択します。
  - 5 ディスプレイには経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。LED が緑色に点滅します。
  - 6 確認応答を待ちます。
  - 7 成功すると、ポジティブインジケータ トーンが鳴り、ディスプレイにミニ通知が表示されます。
- あるいは**  
失敗の場合、ネガティブインジケータ トーンが鳴り、ディスプレイにミニ通知が表示されます。

無線機停止操作中に  キーを押さないでください。承認メッセージが受信できなくなります。

また、手動ダイヤルでもこの機能にアクセスできます (108 ページの「手動ダイヤルによる無線機の停止」を参照)。

## 停止解除

手順:

プログラムされた【むせんオン】ボタンを使用します。

- 1 プログラムされた【むせんオン】ボタンを押します。
- 2 **◀P2** または **P3▶** を押して必要なサブスクライバのエリアまたは ID に移動し、**☑OK** を押して選択します。
- 3 ディスプレイに【むせんオン】および加入者のエリアまたは ID が表示されます。LED が緑色に点灯します。
- 4 確認応答を待ちます。
- 5 成功すると、ポジティブインジケータ トーンが鳴り、ディスプレイにミニ通知が表示されます。  
あるいは  
失敗の場合、ネガティブインジケータ トーンが鳴り、ディスプレイにミニ通知が表示されます。

あるいは

手順:

メニューを使用します。

- 1 **☑OK** を押してメニューにアクセスします。

- 2 **◀P2** または **P3▶** を押して【れんらくさき】に移動し、**☑OK** を押して選択します。エントリはアルファベット順にソートされます。
- 3 **◀P2** または **P3▶** を押して必要なサブスクライバのエリアまたは ID に移動し、**☑OK** を押して選択します。
- 4 **◀P2** または **P3▶** を押して【ていしかいじょ】に移動し、**☑OK** を押して選択します。LED が緑色に点滅します。
- 5 ディスプレイに【むせんオン】および加入者のエリアまたは ID が表示されます。LED が緑色に点灯します。
- 6 確認応答を待ちます。
- 7 成功するとトーンが鳴り、ディスプレイに【ていしかいじょ かんりょう】と表示されます。  
あるいは  
失敗するとトーンが鳴り、ディスプレイに【ていしかいじょ しっぱい】と表示されます。

停止解除操作中に **☑OK** キーを押さないでください。承認メッセージが受信できなくなります。

また、手動ダイヤルでもこの機能にアクセスできます (109 ページの「手動ダイヤルによる無線機停止の解除」を参照)。

## ■ ローンワーカー

この機能は、あらかじめ定義された期間に、無線機のボタンの押下やチャンネルセレクターの使用などのユーザー操作がない場合に、緊急アラームを発します。

プログラムされた期間にユーザーによる操作がないと、無操作タイマー終了後に、無線機は音声インジケータでユーザーに最初の警告を発します。

定義済みの通知タイマの時間が経過してもユーザーから確認応答がない場合、無線機は緊急アラームを発します。

この機能には、緊急アラームのいずれか1つのみを割り当てられます。

- 緊急アラーム
- 通話による緊急アラーム
- 音声ガイドおよび緊急アラーム

無線機は、操作が行われるまで緊急状態のままとなります。この間も音声メッセージは送信できます。緊急状態の終了方法については、49ページの「**緊急操作**」を参照してください。

**注：** この機能は、この機能が有効である無線機に限られません。詳しくは、ディーラーかシステム管理者にご確認ください。

## ■ 通知リスト

無線機には、未読のメッセージ、不在着信やページングなど、チャンネル上の“未読”のイベントをすべて収集する通知リストがあります。

通知リストにイベントが1件以上あると、ステータスバーに通知アイコンが表示されます。

リストは、最大40の未読イベントをサポートします。リストが一杯のときは、最も古いイベントが次のイベントに取って代わられます。

これらのイベントは、読まれた後、通知リストから削除されます。

**注：** 通知リストが表示されると、無線機はスキャンを一時停止します。通知リストを終了すると、無線機はスキャンを再開します。を押して通知リストを終了するか、メニュータイマが切れるまで待ちます。

## 通知リストへのアクセス

手順:

プログラムされた **[通知]** ボタンを押します。

あるいは

以下に示す手順を実行します。

- 1 **[OK]** を押してメニューにアクセスします。
- 2 **[P2]** または **[P3]** を押して [つうち] に移動し、**[OK]** を押して選択します。
- 3 **[P2]** または **[P3]** を押して必要なイベントに移動し、**[OK]** を押して選択します。

ホーム画面に戻るには、**[戻る]** ボタンを長く押します。

## ■ オートレンジ トランスポンダ システム (ARTS)

ARTS はアナログのみの機能で、無線機が ARTS を搭載したほかの無線機の通信圏外にあるときに通知するよう設計されています。

ARTS を搭載した無線機は、定期的に信号の送受信を行なって、互いに通信圏内にあることを確認します。ディーラーは、ARTS 信号の送受信を実行するように、無線機をプログラムすることができます。

無線機は、次のようなステータスを示します。

- **最初の警告** – トーンが鳴り、ディスプレイでチャンネル エイリアスの後に [けんない] と表示されます。
- **ARTS 通信圏内警告** – トーンが鳴り、プログラムされている場合は、ディスプレイでチャンネル エイリアスの後に [けんない] と表示されます。
- **ARTS-通信圏外警告** – トーンが鳴り、LED が高速で赤色に点滅します。ディスプレイには、[けんがい] とホーム画面が交互に表示されます。

## ■ 無線 (Over-the-Air) プログラミング (OTAP)

ご使用の無線機は、物理的に接続する必要なく、OTAP を経由してリモートでディーラーによる更新が可能です。さらに、一部の設定も OTAP 経由で行えます。

OTAP での操作実行中は、LED が緑色に点滅します。

**注：** 無線機が大量データを受信しているとき、大量データアイコンが表示され、チャンネルはビジーになります。そのとき [PTT] ボタンを押すと、ネガティブ トーンが鳴ることがあります。

プログラミングが完了すると、無線機の設定により次の状態になります。

- トーンが鳴り、ディスプレイに [アップデートリセット] と表示され、無線機が再起動します (電源が切れてから再度入る)。
- [リスタート] または [えんきする] のいずれかを選択します。 [えんきする] を選択すると、無線機は前の表示に戻り、自動再起動が行われるまでの間、OTAP タイマー アイコンが表示されます。

自動再起動が行われた後で電源が入ると、OTAP による更新が正常に行われた場合は [ソフト アップデートかんりょう]、正常に行われなかった場合は [ソフト アップデートしっばい] がディスプレイに表示されます。

ソフトウェアの更新バージョンについては、87 ページの「ソフトウェア更新」を参照してください。

## ■ ユーティリティ

### 📄 無線機トーン/警告のオンとオフの切り替え

必要に応じ、すべての無線機トーンや警告 (着信緊急アラーム トーンは除く) を有効にすることも無効にすることもできます。

**手順：**

プログラムされた [ぜん トーン/アラート] ボタンを押し、すべてのトーンのオンとオフを切り替えます。

**あるいは**

以下に示す手順を実行します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して [せってい] に移動し、 を押して選択します。
- 3  または  を押して [きのうせってい] に移動し、 を押して選択します。
- 4  または  を押して [トーン/アラート] に移動し、 を押して選択します。
- 5  または  を押して [ぜん トーン] に移動し、 を押して選択します。

- 6 **[P2]** または **[P3]** を押して [オン] に移動し、全トーンをオンにします。ディスプレイで [オン] の隣に ✓ が表示されます。  
**あるいは**  
**[P2]** または **[P3]** を押して [オフ] に移動し、全トーンをオフにします。ディスプレイで [オフ] の隣に ✓ が表示されます。

### トーンアラート ボリューム オフセット レベルの 設定

必要に応じて、トーンアラート ボリューム オフセット レベルを調節できます。この機能は、音声ボリュームを基準としてトーンアラートのボリュームを調節できます。

手順:

- 1 **[OK]** を押してメニューにアクセスします。
- 2 **[P2]** または **[P3]** を押して [せってい] に移動し、**[OK]** を押して選択します。
- 3 **[P2]** または **[P3]** を押して [きのうせってい] に移動し、**[OK]** を押して選択します。

- 4 **[P2]** または **[P3]** を押して [トーン/アラート] に移動し、**[OK]** を押して選択します。

- 5 **[P2]** または **[P3]** を押して [Vol オフセット] に移動し、**[OK]** を押して選択します。

- 6 **[P2]** または **[P3]** を押して必要なボリューム値に移動します。無線機は、それぞれの対応するボリューム値のフィードバック トーンを発します。

- 7 **[OK]** を押して、表示されている必要なボリューム値を維持します。  
**あるいは**  
ステップ 6 を繰り返して、その他のボリューム値を選択します。  
**あるいは**  
**[C]** を押して、現在のボリューム オフセット設定を変更せずに終了します。

## 許可トーンのオンとオフの切り替え

必要に応じて、許可トーンの有効、無効を切り替えられます。

手順：

- 1 **[OK]**を押してメニューにアクセスします。

---

- 2 **[P2]**または**[P3]**を押して[せってい]に移動し、**[OK]**を押して選択します。

---

- 3 **[P2]**または**[P3]**を押して[きのうせってい]に移動し、**[OK]**を押して選択します。

---

- 4 **[P2]**または**[P3]**を押して[トーン/アラート]に移動し、**[OK]**を押して選択します。

---

- 5 **[P2]**または**[P3]**を押して[きょかトーン]に移動し、**[OK]**を押して選択します。

---

- 6 **[P2]**または**[P3]**を押して[オン]に移動し、許可トーンをオンにします。ディスプレイで[オン]の隣に✓が表示されます。  
あるいは  
**[P2]**または**[P3]**を押して[オフ]に移動し、許可トーンをオフにします。ディスプレイで[オフ]の隣に✓が表示されます。

## パワーアップアラート トーンのオン/オフの切り替え

必要に応じ、パワーアップアラート トーンを有効/無効にすることができます。

手順：

- 1 **[OK]**を押してメニューにアクセスします。

---

- 2 **[P2]**または**[P3]**を押して[せってい]に移動し、**[OK]**を押して選択します。

---

- 3 **[P2]**または**[P3]**を押して[きのうせってい]に移動し、**[OK]**を押して選択します。

---

- 4 **[P2]**または**[P3]**を押して[トーン/アラート]に移動し、**[OK]**を押して選択します。

---

- 5 **[P2]**または**[P3]**を押して[でんげん オン]に移動し、**[OK]**を押して選択します。

---

- 6 **[P2]**または**[P3]**を押して[オン]に移動し、パワーアップトーンをオンにします。ディスプレイで[オン]の隣に✓が表示されます。  
あるいは  
**[P2]**または**[P3]**を押して[オフ]に移動し、パワーアップトーンをオフにします。ディスプレイで[オフ]の隣に✓が表示されます。

## 📄 メッセージ警告トーンの設定

無線機のメッセージ警告トーンをカスタマイズして、連絡先リストの各エントリに対して瞬間トーンまたは反復トーンを設定できます。

手順:

- 1 **[OK]**を押してメニューにアクセスします。

---

- 2 **[P2]**または**[P3]**を押して[れんらくさき]に移動し、**[OK]**を押して選択します。

---

- 3 **[P2]**または**[P3]**を押して必要なサブスクライバのエリアスまたはIDに移動し、**[OK]**を押して選択します。

---

- 4 **[P2]**または**[P3]**を押して[メッセージアラーム]に移動し、**[OK]**を押して選択します。

---

- 5 ディスプレイに[1かいのみ]と[くりかえし]が表示されます。  
**[P2]**または**[P3]**を押して必要な設定に移動し、**[OK]**を押して選択します。選択した設定の隣に✓が表示されます。

## 📄 送信出力の設定

各チャンネルの無線機のパワー設定の高低をカスタマイズできます。

**設定:** 高レベルに設定すると、かなり離れた場所にある無線機とも交信できるようになります。低レベルに設定すると、近い場所にある無線機と交信できます。

手順:

プログラムされた**[送信出力]**ボタンを押して、送信出力レベルを高くと低くで切り替えます。

あるいは

以下に示す手順を実行します。

- 1 **[OK]**を押してメニューにアクセスします。

---

- 2 **[P2]**または**[P3]**を押して[せってい]に移動し、**[OK]**を押して選択します。

---

- 3 **[P2]**または**[P3]**を押して[きのうせってい]に移動し、**[OK]**を押して選択します。

---

- 4 **[P2]**または**[P3]**を押して[でんげん]に移動し、**[OK]**を押して選択します。

---

- 5 **[P2]**または**[P3]**を押して必要な設定に移動し、**[OK]**を押して選択します。選択した設定の隣に✓が表示されます。

## 6 画面は前のメニューに戻ります。

---

ホーム画面に戻るには、**[戻る]** ボタンを長く押します。パワーレベルアイコンが表示されます。

### 📄 表示輝度の調整

必要に応じて、無線機の表示輝度を調整することができます。

手順：

プログラムされた**[きど]** ボタンを押して、ステップ 5 に進みます。

あるいは

以下に示す手順を実行します。

- 1 **[OK]** を押してメニューにアクセスします。

---

- 2 **[P2]** または **[P3]** を押して [せってい] に移動し、**[OK]** を押し  
て選択します。

---

- 3 **[P2]** または **[P3]** を押して [きのうせってい] に移動し、**[OK]** を  
押しして選択します。

---

- 4 **[P2]** または **[P3]** を押して [きど] に移動し、**[OK]** を押しして選  
択します。

## 5 進行状況バーが表示されます。

ディスプレイの輝度を下げるには **[P2]** を、ディスプレイの  
輝度を上げるには **[P3]** を押します。

選択を確認するには、**[OK]** を押します。

---

### 📄 ホーン/ライトのオン/オフの切り替え

お使いの無線機では、着信通話をホーンとライトで知らせるこ  
とができます。この機能を有効にすると、着信通話があるたび  
に車両のホーンが鳴り、ライトが点灯します。

この機能は、ディーラーが無線機の後部アクセサリ コネクタに  
インストールする必要があります。

手順：

プログラムされた**[ホーン/ライト]** ボタンを押して、ホーン/  
ライト機能のオンとオフを切り替えます。

あるいは

以下に示す手順を実行します。

- 1 **[OK]** を押してメニューにアクセスします。

---

- 2 **[P2]** または **[P3]** を押して [せってい] に移動し、**[OK]** を押し  
て選択します。

---

- 3 **[P2]** または **[P3]** を押して [きのうせってい] に移動し、**[OK]** を  
押しして選択します。

4 **◀P2** または **P3▶** を押して [ホーン/ライト] に移動し、**ⓄOK** を押して選択します。

5 **◀P2** または **P3▶** を押して [オン] に移動し、ホーン/ライトをオンにします。ディスプレイには、[オン] の隣に ✓ が表示されます。

あるいは

**◀P2** または **P3▶** を押して [オフ] に移動し、ホーン/ライトをオフにします。ディスプレイには、[オフ] の隣に ✓ が表示されます。

#### スケルチ レベルの設定

低い信号強度の不要な通話や、通常の背景雑音よりも強い雑音があるチャンネルを取り除くために、無線機のスケルチ レベルを調整できます。

**設定:** 通常レベルが初期設定です。深めのレベルにすると、(不要な) 通話や背景雑音を取り除きます。ただし、遠隔地からの通話もまた取り除かれる可能性があります。

**手順:**

プログラムされた [**スケルチ**] ボタンを押して、スケルチレベルを通常スケルチと深めのスケルチ間で切り替えます。

あるいは

以下に示す手順を実行します。

1 **ⓄOK** を押してメニューにアクセスします。

2 **◀P2** または **P3▶** を押して [せってい] に移動し、**ⓄOK** を押して選択します。

3 **◀P2** または **P3▶** を押して [きのうせってい] に移動し、**ⓄOK** を押して選択します。

4 **◀P2** または **P3▶** を押して [スケルチ] に移動し、**ⓄOK** を押して選択します。

5 ディスプレイには深めのレベルと通常レベルが表示されます。  
**◀P2** または **P3▶** を押して必要な設定に移動し、**ⓄOK** を押して選択します。選択した設定の隣に ✓ が表示されます。

6 画面は前のメニューに戻ります。

## 📖 LED 表示のオンとオフの切り替え

必要に応じて、LED 表示のオンとオフを切り替えられます。

手順：

- 1 **[OK]** を押してメニューにアクセスします。

---

- 2 **[P2]** または **[P3]** を押して [せってい] に移動し、**[OK]** を押して選択します。

---

- 3 **[P2]** または **[P3]** を押して [きのうせってい] に移動し、**[OK]** を押して選択します。

---

- 4 **[P2]** または **[P3]** を押して [LED ひょうじ] に移動し、**[OK]** を押して選択します。

---

- 5 **[P2]** または **[P3]** を押して [オン] を押して LED 表示をオンにします。ディスプレイで [オン] の隣に ✓ が表示されます。  
あるいは  
**[P2]** または **[P3]** を押して [オフ] に移動し、LED 表示をオフにします。ディスプレイで [オフ] の隣に ✓ が表示されます。

## 📖 言語

無線機ディスプレイの表示言語を設定することができます。

手順：

- 1 **[OK]** を押してメニューにアクセスします。

---

- 2 **[P2]** または **[P3]** を押して [せってい] に移動し、**[OK]** を押して選択します。

---

- 3 **[P2]** または **[P3]** を押して [げんご] に移動し、**[OK]** を押して選択します。

---

- 4 **[P2]** または **[P3]** を押して必要な言語に移動し、**[OK]** を押して有効にします。選択した言語の隣に ✓ が表示されます。

## □ 音声起動送信 (VOX) 機能のオンとオフの切り替え

この機能により、プログラムされたチャンネルでハンズフリーの音声通話を開始できます。VOX 対応アクセサリのマイクが音声を検出すると、プログラムされた期間中、無線機は自動的に送信します。マイクのソースは事前に設定されている必要があります。また、VOX 対応アクセサリが事前に設定されたポートに接続されている必要があります。

**注:** 別の有効なアクセサリに切り替えるために無線機から VOX 対応マイクを取り外した場合は、無線機の電源を切り、もう一度電源を入れる必要があります。

無線機の動作中に [PTT] ボタンを押すと、VOX は無効になります。VOX を再度有効にするには、以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 電源を切り、もう一度電源を入れます。または
- チャンネル アップ/チャンネル ダウン ボタンを使用してチャンネルを変更します。または
- 以下に示す手順を実行します。

**注:** この機能のオンとオフの切り替えは、この機能が有効である無線機に限られます。詳しくは、ディーラーかシステム管理者にご確認ください。

手順:

プログラムされた [VOX] ボタンを押して、この機能のオンとオフを切り替えます。

あるいは

以下に示す手順を実行します。

- 1 [EQ OK] を押してメニューにアクセスします。

---

- 2 [P2] または [P3] を押して [せってい] に移動し、[EQ OK] を押して選択します。

---

- 3 [P2] または [P3] を押して [きのうせってい] に移動し、[EQ OK] を押して選択します。

---

- 4 [P2] または [P3] を押して [VOX] に移動し、[EQ OK] を押して選択します。

---

- 5 [P2] または [P3] を押して [オン] に移動し、VOX をオンにします。ディスプレイで [オン] の隣に ✓ が表示されます。  
あるいは  
[P2] または [P3] を押して [オフ] に移動し、VOX をオフにします。ディスプレイで [オフ] の隣に ✓ が表示されます。

通話許可トーン機能が有効であれば (77 ページの「許可トーンのオンとオフの切り替え」を参照)、発声して通話を開始します。通話許可トーンが終了するまで待ち、マイクに向かってはっきりと話します。

## 📄 オプションボード機能のオンとオフの切り替え

各チャンネル内のオプション ボード機能をプログラム可能なボタンに割り当てることができます。詳しくは、ディーラーかシステム管理者にご確認ください。

### 手順:

プログラムされた**[オプション ボード機能]** ボタンを押して、機能のオンとオフを切り替えます。

## 📄 音声ガイド

この機能では、ユーザーが割り当てたばかりの現在のゾーンとチャンネル、またはプログラム可能ボタンが押されたことを音声で知らせることができます。この音声インジケータは、ユーザーの要件に応じてカスタマイズすることができます。これが便利なのは、ディスプレイに表示されているコンテンツを読み取るのが難しいときです。

次の機能を使用して、音声ガイドの有効/無効を切り替えます。

### 手順:

プログラムされた**[おんせいガイド]** ボタンを押します。

### あるいは

以下に示す手順を実行します。

- 1 **[OK]** を押してメニューにアクセスします。

---
- 2 **[P2]** または **[P3]** を押して **[せってい]** に移動し、**[OK]** を押して選択します。

---
- 3 **[P2]** または **[P3]** を押して **[おんせいガイド]** を選択します。

---
- 4 **[P2]** または **[P3]** を押して **[オン]** に移動し、音声ガイドをオンにします。ディスプレイで **[オン]** の隣に **✓** が表示されます。  
**あるいは**  
**[P2]** または **[P3]** を押して **[オフ]** に移動し、音声ガイドをオフにします。ディスプレイで **[オフ]** の隣に **✓** が表示されます。

---

## 📄 通話転送 📞

無線機を設定して、音声通話を別の無線機に自動的に転送できます。

手順:

- 1 **[OK]** を押してメニューにアクセスします。

---

- 2 **[P2]** または **[P3]** を押して [せってい] に移動し、**[OK]** を押し  
て選択します。

---

- 3 **[P2]** または **[P3]** を押して [つうわてんそう] に移動します。

---

- 4 **[P2]** または **[P3]** を押して [オン] に移動し、通話転送をオン  
にします。ディスプレイで [オン] の隣に ✓ が表示されます。  
**あるいは**  
**[P2]** または **[P3]** を押して [オフ] に移動し、通話転送をオフ  
にします。ディスプレイで [オフ] の隣に ✓ が表示されます。

注: この設定の詳細については、ディーラーかシステム管理  
者にご確認ください。

## 📄 アナログ Mic AGC (Mic AGC-A)

この機能では、無線機のマイクゲインを自動的に制御しながら、  
アナログシステム上で送信します。大きい音が出ないようにしたり  
小さい音をプリセット値まで増幅したりして、音声レベルを一  
定に保ちます。

手順:

- 1 **[OK]** を押してメニューにアクセスします。

---

- 2 **[P2]** または **[P3]** を押して [せってい] に移動し、**[OK]** を押し  
て選択します。

---

- 3 **[P2]** または **[P3]** を押して [きのうせってい] に移動し、**[OK]** を  
押して選択します。

---

- 4 **[P2]** または **[P3]** を押して [Mic AGC-A] に移動します。

---

- 5 **[P2]** または **[P3]** を押して [オン] に移動し、アナログ Mic  
AGC をオンにします。ディスプレイで [オン] の隣に ✓ が  
表示されます。  
**あるいは**  
**[P2]** または **[P3]** を押して [オフ] に移動し、アナログ Mic  
AGC をオフにします。ディスプレイで [オフ] の隣に ✓ が  
表示されます。

## 📄 デジタル Mic AGC (Mic AGC-D)

この機能では、無線機のマイクゲインを自動的に制御しながら、デジタルシステム上で送信します。大きい音が出ないようにしたり小さい音をプリセット値まで増幅したりして、音声レベルを一定に保ちます。

手順:

- 1 **[OK]**を押してメニューにアクセスします。

---

- 2 **[P2]**または**[P3]**を押して[せってい]に移動し、**[OK]**を押して選択します。

---

- 3 **[P2]**または**[P3]**を押して[きのうせってい]に移動し、**[OK]**を押して選択します。

---

- 4 **[P2]**または**[P3]**を押して[Mic AGC-D]に移動します。

---

- 5 **[P2]**または**[P3]**を押して[オン]に移動し、デジタル Mic AGC をオンにします。ディスプレイで[オン]の隣に✓が表示されます。  
あるいは  
**[P2]**または**[P3]**を押して[オフ]に移動し、デジタル Mic AGC をオフにします。ディスプレイで[オフ]の隣に✓が表示されます。

## 📄 インテリジェント オーディオ 🎧

周辺環境の雑音が大きき場合、それに負けないように音量を自動的に調整します。この機能は受信側限定であり、送信音声は影響を受けません。

次の機能を使用して、Int オーディオの有効/無効を切り替えます。

手順:

- プログラムされた[Int オーディオ] ボタンを押して、この機能のオンとオフを切り替えます。  
あるいは  
以下に示す手順を実行します。
- 1 **[OK]**を押してメニューにアクセスします。

---

  - 2 **[P2]**または**[P3]**を押して[せってい]に移動し、**[OK]**を押して選択します。

---

  - 3 **[P2]**または**[P3]**を押して[きのうせってい]に移動し、**[OK]**を押して選択します。

---

  - 4 **[P2]**または**[P3]**を押して[Int オーディオ]に移動します。

- 5 **[P2]** または **[P3]** を押して [オン] に移動し、インテリジェントオーディオをオンにします。ディスプレイで [オン] の隣に ✓ が表示されます。

あるいは

- [P2]** または **[P3]** を押して [オフ] に移動し、インテリジェントオーディオをオフにします。ディスプレイで [オフ] の隣に ✓ が表示されます。

### 📖 一般無線機情報へのアクセス

お使いの無線機に関する情報には、以下の情報があります。

- 無線エイリアスと ID 
- ファームウェアとコードプラグの各バージョン
- ソフトウェア更新
- サイト情報

注:  を押すといつでも前の画面に戻ることができ、  
 を長く押すとホーム画面に戻ります。無線機は、無操作タイマーが終了後に、現在の画面を終了します。

### 📖 無線エイリアスと ID をチェックする

無線機の ID を表示します。

手順:

無線エイリアスと ID をチェックするには、プログラムされた [むせんエイリアスと ID] ボタンを押します。ポジティブインジケータ トーンが鳴ります。

あるいは

以下に示す手順を実行します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 **[P2]** または **[P3]** を押して [せってい] に移動し、 を押し  
て選択します。
- 3 **[P2]** または **[P3]** を押して [きき じょうほう] に移動し、 を  
押しして選択します。
- 4 **[P2]** または **[P3]** を押して [じきよく ナンバー] に移動し、  
 を押しして選択します。
- 5 ディスプレイの 1 行目に、無線エイリアスが表示されます。  
ディスプレイの 2 行目に、無線 ID が表示されます。

プログラムされた [むせんエイリアスと ID] ボタンを押して前の画面に戻することもできます。

## 📖 ファームウェアバージョンとコードプラグバージョンのチェック

無線機のファームウェアとコードプラグのバージョンを表示します。

手順:

- 1 **[OK]**を押してメニューにアクセスします。

---

- 2 **[P2]**または**[P3]**を押して[せってい]に移動し、**[OK]**を押して選択します。

---

- 3 **[P2]**または**[P3]**を押して[ききじょうほう]に移動し、**[OK]**を押して選択します。

---

- 4 **[P2]**または**[P3]**を押して[バージョン]に移動し、**[OK]**を押して選択します。

ディスプレイに現在のファームウェアとコードプラグの各バージョンが表示されます。

## 📖 ソフトウェア更新

無線プログラミング (OTAP) で実行された最新のソフトウェアアップデートの日付と時間を表示します。

手順:

- 1 **[OK]**を押してメニューにアクセスします。

---

- 2 **[P2]**または**[P3]**を押して[せってい]に移動し、**[OK]**を押して選択します。

---

- 3 **[P2]**または**[P3]**を押して[ききじょうほう]に移動し、**[OK]**を押して選択します。

---

- 4 **[P2]**または**[P3]**を押して[ソフトアップデート]に移動し、**[OK]**を押して選択します。

---

- 5 ディスプレイに最新のソフトウェア更新の日付と時刻が表示されます。

OTAPの詳細については、75ページの「無線 (Over-the-Air) プログラミング (OTAP)」を参照してください。

注: ソフトウェア更新メニューは、少なくとも1回のOTAPセッションが正常に完了した後でのみ利用できるようになります。

## ■ キーパッドマイクの機能

以下に挙げる無線機の追加機能は、キーパッドが有効になったマイクで使用できません。

キーパッドの使用	89 ページ
高度な追加機能	90 ページ
テキストメッセージング	107 ページ
デュアル トーン マルチ周波数 (DTMF)	108 ページ
セキュリティ	108 ページ
パスワード ロック機能	110 ページ
正面パネル プログラミング (FPP)	113 ページ

## ■ キーパッドの使用

4 ウェイ ナビゲーション キーパッド マイク (Motorola 部品番号 PMMN4089\_) の英数字キーパッドを使用して、無線機の機能にアクセスできます。キーパッドを使用して、サブスクライバのエイリアスまたは ID を入力できます。1つのキーを複数回押さないとい入力できない文字もあります。以下の表は、必要な文字を入力するのに1つのキーを押す回数を示します。

キー	キーを押す回数												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
①	1	.	,	?	!	@	&	'	%	-	:	*	#
② abc	A	B	C	2									
③ def	D	E	F	3									
④ ghi	G	H	I	4									
⑤ jkl	J	K	L	5									
⑥ mno	M	N	O	6									
⑦ pqrs	P	Q	R	S	7								
⑧ tuv	T	U	V	8									
⑨ wxyz	W	X	Y	Z	9								
⑩	0	注: 押すと“0”が入力されます。長く押すと CAPS lock がオンになります。再度長く押すと、CAPS lock がオフになります。											
*	* または削除	注: テキストの入力中に押すと、文字が削除されます。数字の入力中に押すと、“*”が入力されます。											
#	# またはスペース	注: テキストの入力中に押すと、スペースが挿入されます。数字の入力中に押すと、“#”が入力されます。											

## 📄 キー操作音のオンとオフの切り替え

必要に応じて、キーパッド トーンのオンとオフを切り替えられます。

手順:

- 1 **[OK]** を押してメニューにアクセスします。
- 2 **[P2]** または **[P3]** を押して [せってい] に移動し、**[OK]** を押して選択します。
- 3 **[P2]** または **[P3]** を押して [きのうせってい] に移動し、**[OK]** を押して選択します。
- 4 **[P2]** または **[P3]** を押して [トーン/アラート] に移動し、**[OK]** を押して選択します。
- 5 **[P2]** または **[P3]** を押して [キーそうさおん] に移動し、**[OK]** を押して選択します。
- 6 **[P2]** または **[P3]** を押して [オン] に移動し、キー操作音をオンにします。ディスプレイで [オン] の隣に ✓ が表示されます。  
**あるいは**  
**[P2]** または **[P3]** を押して [オフ] に移動し、キー操作音をオフにします。ディスプレイで [オフ] の隣に ✓ が表示されます。

## ■ 高度な追加機能

### 📄 エイリアス検索によるゾーン選択

手順:

- 1 **[OK]** を押してメニューにアクセスします。
- 2 **[P2]** または **[P3]** を押して [ゾーン] に移動し、**[OK]** を押して選択します。
- 3 現在のゾーンが表示され、✓ で示されます。
- 4 **[P2]** または **[P3]** を押して必要なゾーンにアクセスし、ステップ 7 に進みます。  
**あるいは**  
必要なゾーンの最初の文字を入力します。
- 5 点滅するカーソルが表示されます。  
キーパッドを使用して、必要なゾーンを入力します。  
**#** を押して、スペース 1 つ分右側に移動します。  
**\*** を押して、不要な文字を削除します。  
**0** を長く押して、大文字と小文字の間で切り替えます。

6 ディスプレイの1行目に、入力した文字が表示されます。ディスプレイの2行目には、検索結果の短い一覧が表示されます。エイリアス検索には大文字と小文字の区別があります。同じ名前前で2つ以上のゾーンある場合は、無線機には、ゾーンリストで最初にリストされたゾーンが表示されます。

7 **[OK]**を押して選択します。

8 ディスプレイに[ゾーンせんたくずみ]と表示され、すぐに選択されたゾーンの画面に戻ります。

### 📄 手動ダイヤルによる無線機チェックの開始 📞

手順:

1 **[OK]**を押してメニューにアクセスします。

2 **[P2]**または**[P3]**を押して[れんらくさき]に移動し、**[OK]**を押して選択します。

3 **[P2]**または**[P3]**を押して[ダイヤル]に移動し、**[OK]**を押して選択します。

4 **[P2]**または**[P3]**を押して[むせん ID]に移動し、**[OK]**を押して選択します。

5 以前にダイヤルしたIDが存在する場合、そのIDと点滅するカーソルが表示されます。キーパッドを使用してIDを編集します。

**[OK]**を押して選択します。

あるいは

サブスクライバのエイリアスまたはIDを入力し、**[OK]**を押します。

6 **[P2]**または**[P3]**を押して[むせんきチェック]に移動し、

**[OK]**を押して選択します。

7 ディスプレイには経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。LEDが緑色に点灯します。

8 承認を待ちます。

9 成功すると、ポジティブインジケータ トーンが鳴り、ディスプレイに正のミニ通知が表示されます。

あるいは

失敗の場合、ネガティブインジケータ トーンが鳴り、ディスプレイにミニ通知が表示されます。

10 加入者のエイリアスまたはIDの画面に戻ります。

無線機で承認待ちをしているときに**[ON]**ボタンを押すと、トーンが鳴り、すべての試行が強制終了され、無線機チェックモードが終了します。

## 📖 手動ダイヤルによるリモート モニタの開始 📞

手順:

- 1 **[OK]** を押してメニューにアクセスします。
- 2 **[P2]** または **[P3]** を押して [れんらくさき] に移動し、**[OK]** を押して選択します。
- 3 **[P2]** または **[P3]** を押して [ダイヤル] に移動し、**[OK]** を押して選択します。
- 4 **[P2]** または **[P3]** を押して [むせん ID] に移動し、**[OK]** を押して選択します。
- 5 以前にダイヤルした ID が存在する場合、その ID と点滅するカーソルが表示されます。キーパッドを使用して ID を編集します。**[OK]** を押して選択します。  
**あるいは**  
サブスクライバのエイリアスまたは ID を入力し、**[OK]** を押します。
- 6 **[P2]** または **[P3]** を押して [リモート モニタ] に移動し、**[OK]** を押して選択します。

7 ディスプレイには経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。LED が緑色に点灯します。

8 確認応答を待ちます。

9 成功すると、ポジティブ インジケータ トーンが鳴り、ディスプレイにミニ通知が表示されます。無線機は、プログラムされた期間、モニタ対象無線機からの音声の再生を開始し、ディスプレイに [きょうせいモニタ] と表示されます。タイマーが終了すると、無線機から警告トーンが鳴り、LED が消灯します。

**あるいは**

失敗の場合、ネガティブ インジケータ トーンが鳴り、ディスプレイにミニ通知が表示されます。

## 📖 手動ダイヤルによる個別コール 📞

手順:

- 1 **[OK]** を押してメニューにアクセスします。
- 2 **[P2]** または **[P3]** を押して [れんらくさき] に移動し、**[OK]** を押して選択します。エントリはアルファベット順にソートされます。
- 3 **[P2]** または **[P3]** を押して [ダイヤル] に移動し、**[OK]** を押して選択します。

- 4 **[P2]** または **[P3]** を押して [むせん ID] に移動し、**[OK]** を押して選択します。

---

- 5 以前にダイヤルしたサブスクライバ ID が存在する場合、その ID と点滅するカーソルが表示されます。キーパッドを使用してサブスクライバ ID を編集します。**あるいは**キーパッドを使用して、新しい加サブスクライバのエリアスまたは ID を入力します。

---

- 6 **[PTT]** ボタンを押して、通話を発信します。LED が緑色に点灯します。宛先のエリアスが表示されます。

---

- 7 通話許可トーンが完了するまで待機し(有効な場合)、マイクに向かってはっきりと話してください。

---

- 8 **[PTT]** ボタンを離して聞きます。相手先無線機が応答すると、LED が緑色に点滅します。

---

- 9 チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、相手先無線機が **[PTT]** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。**[PTT]** ボタンを押して応答します。**あるいは**プログラムされた時間中、音声アクティビティがない場合、通話が終了します。

---

- 10 ディスプレイには [コールしゅうりょう] と表示されます。

## 手動ダイヤルによる無線通話

手順:

- 1 **[OK]** を押してメニューにアクセスします。

---

- 2 **[P2]** または **[P3]** を押して [れんらくさき] に移動し、**[OK]** を押して選択します。エントリーはアルファベット順にソートされます。

---

- 3 **[P2]** または **[P3]** を押して [ダイヤル] に移動し、**[OK]** を押して選択します。

---

- 4 **[P2]** または **[P3]** を押して [Tel ばんごう] に移動し、**[OK]** を押して選択します。

---

- 5 ディスプレイに [ばんごう:] と表示されます。ディスプレイの 2 行目には点滅するカーソルが表示されます。キーパッドを使用して電話番号を入力し、**[OK]** を押して先に進みます。アクセス コードが連絡先リストで事前に設定されていなかった場合、ディスプレイの 1 行目に [アクセス コード:] と表示されます。ディスプレイの 2 行目には点滅するカーソルが表示されます。アクセス コードを入力し、**[OK]** を押して先に進みます。

6 LED が緑色に点灯します。通話アイコンが右上端に表示されます。テキスト行の 1 行目にはサブスクライバのエイリアスが表示され、テキスト行の 2 行目には通話ステータスが表示されます。

7 正常に行われた場合:

DTMF トーンが鳴ります。電話ユーザーのダイヤル トーンが鳴ります。テキスト行の 1 行目には、サブスクライバのエイリアスが表示されます。通話アイコンは引き続き右上端に表示されています。

あるいは

正常に行われなかった場合:

トーンが鳴り、ディスプレイに [でんわNG] と表示されず。無線機はアクセス コード入力画面に戻ります。アクセス コードが [連絡先] リストで事前に設定されている場合、無線機はそのコールを開始する前の画面に戻ります。

8 [PTT] ボタンを押して話し、放して聞きます。[ツール][ユーザオプション][回復][回復モード]  
通話中に要求されて、さらに数字を入力するには:

キーパッド マイクを使用して追加の数字を入力し、 を押して進みます。DTMF トーンが鳴り、無線機は前の画面に戻ります。

9 通話を終了するには  を押します。

連絡先リストにアクセス コードが前もって設定されていない場合には、ディスプレイの 1 行目に [ディアクセス コード] と表示されます。ディスプレイの 2 行目には点滅する

カーソルが表示されます。非アクセス コードを入力し、 を押して先に進みます。無線機は前の画面に戻ります。

あるいは

[ワンタッチ アクセス] ボタンを押します。DTMF トーンが鳴ります。ワンタッチ アクセス ボタンのエントリが空の場合、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

10 DTMF トーンが鳴り、ディスプレイに [でんわせつだん] と表示されます。

11 正常に行われた場合:

トーンが鳴り、ディスプレイに [コールしゅうりょう] と表示されます。無線機は通話画面に戻ります。

あるいは

正常に行われなかった場合:

無線機は通話画面に戻ります。ステップ 9 と 10 を繰り返すか、電話機ユーザーが通話を終了するまで待ちます。

通話連絡先画面で [PTT] ボタンを押すと、トーンが鳴り、ディスプレイに [コール>OK] と表示されます。

電話機ユーザーが通話を終了するとトーンが鳴り、ディスプレイに [コールしゅうりょう] と表示されます。

通話でリクエストされた追加の数字を入力している間に通話が終了した場合、無線機はそのコールを開始する前の画面に戻ります。

**注:** チャンネルアクセス中に  を押すと、コール試行が解除され、トーンが鳴ります。

コール中、アクセス解除コードが事前設定されている状態で **ワンタッチアクセス** ボタンを押すか、追加の数字の入力としてアクセス解除コードを入力すると、無線機はコールを終了しようとします。

チャンネルアクセス中およびコードのアクセス/非アクセス中、あるいは追加の数字の送信中は、無線機は **[オン/オフ]** ボタン **[音量アップ]** **[音量ダウン]** ボタンまたは **[チャンネルアップ]** **[チャンネルダウン]** ボタンのみに応答します。入力するたびにトーンが鳴ります。

アクセスコードまたはアクセス解除コードは、10文字以上に設定できません。

## **ワンタッチアクセス ボタンを使用した通話**

**注:**

**手順:**

- 1 プログラムされた **ワンタッチアクセス** ボタンを押し、事前に定義されたエイリアスまたは ID にコールします。  
**ワンタッチアクセス** ボタンのエントリが空の場合、ネガティブインジケータ トーンが鳴ります。  
アクセスコードが連絡先リストで事前に設定されていない場合、ディスプレイの 1 行目に [アクセスコード:]

と表示されます。ディスプレイの 2 行目で、カーソルが点滅します。アクセスコードを入力し、 を押して先に進みます。

- 2 LED が緑色に点灯します。通話アイコンが右上端に表示されます。テキスト行の 1 行目には、サブスクライバのエイリアスが表示されます。テキスト行の 2 行目に、通話ステータスが表示されます。

- 3 正常に行われた場合:  
DTMF トーンが鳴ります。電話ユーザーのダイヤル トーンが鳴ります。テキスト行の 1 行目には、サブスクライバのエイリアスが表示されます。通話アイコンは引き続き右上端に表示されています。

**あるいは**

正常に行われなかった場合:

トーンが鳴り、ディスプレイに [でんわNG] と表示されます。無線機はアクセスコード入力画面に戻ります。アクセスコードが [連絡先] リストで事前に設定されている場合、無線機はそのコールを開始する前の画面に戻ります。

- 4 **[PTT]** ボタンを押して話し、放して聞きます。[ツール][ユーザオプション][回復][回復モード]  
通話中に要求されて、さらに数字を入力するには:

キーパッドを使用して追加の数字を入力し、 を押して進みます。DTMF トーンが鳴り、無線機は前の画面に戻ります。

- 5 通話を終了するには  を押します。  
アクセスコードが連絡先リストで事前に設定されていない場合、ディスプレイの1行目に[ディアクセスコード]と表示されます。ディスプレイの2行目には点滅するカーソルが表示されます。非アクセスコードを入力し、 を押して先に進みます。無線機は前の画面に戻ります。

あるいは

[ワンタッチアクセス] ボタンを押します。DTMF トーンが鳴ります。ワンタッチアクセス ボタンのエントリが空の場合、ネガティブインジケータ トーンが鳴ります。

- 6 DTMF トーンが鳴り、ディスプレイに[でんわせつたん]と表示されます。

- 7 正常に行われた場合:

トーンが鳴り、ディスプレイに[コールしゅうりょう]と表示されます。無線機は通話画面に戻ります。

あるいは

正常に行われなかった場合:

無線機は通話画面に戻ります。ステップ 5 を繰り返すか、電話機ユーザーが通話を終了するまで待ちます。

電話機ユーザーが通話を終了するとトーンが鳴り、ディスプレイに[でんわしゅうりょう]と表示されます。

通話でリクエストされた追加の数字を入力している間に通話が終了した場合、無線機はそのコールを開始する前の画面に戻ります。

注: チャンネルアクセス中に  を押すと、コール試行が解除され、トーンが鳴ります。

コール中、非アクセスコードが事前設定されている状態で[ワンタッチアクセス] ボタンを押すか、追加の数字の入力として非アクセスコードを入力すると、無線機はコールを終了しようとします。

チャンネルアクセス中およびコードのアクセス/非アクセス中、あるいは追加の数字の送信中は、無線機は[オン/オフ] ボタン [音量アップ]/[音量ダウン] ボタンまたは[チャンネルアップ]/[チャンネルダウン] ボタンのみに応答します。入力するたびにトーンが鳴ります。

アクセスコードまたはアクセス解除コードは、10文字以上に設定できません。

### プログラミング可能な数値キーを使用した、グループ、個別コール、または一斉コールの実行

プログラミング可能な数値キー機能を使用すると、定義済みのエイリアスまたはIDに対し、グループコール、個人コール、または一斉コールを簡単に実行できます。この機能は、キーパッドマイクで利用可能なすべての数値キーに割り当てることが可能です。

各数値キーに割り当てられるのは、1つのエイリアスまたはIDのみですが、エイリアスまたはIDには複数の数値キーを割り当てられます。

**手順:**

ホーム画面が表示されている場合:

- 1 プログラムされた数値キーを長押しすると、事前定義されたエリアまたは ID にグループコール、個別コール、または一斉コールを実行できます。数値キーがエントリに割り当てられていない場合、ネガティブインジケータ トーンが聞こえます。

---

- 2 [PTT] ボタンを押して、通話を発信します。LED が緑色に点灯します。グループ/個別コール アイコンが右上端に表示されます。テキスト行の 1 行目には、発信者のエリアが表示されます。テキスト行の 2 行目に、個別コールの場合は通話ステータスが、または一斉コールの場合は[いっせいコール]と表示されます。

---

- 3 通話許可トーンが完了するまで待機し(有効な場合)、マイクに向かってはっきりと話してください。

---

- 4 [PTT] ボタンを放して聞きます。相手先無線機が応答すると、LED が緑色に点滅します。宛先のエリアが表示されます。

---

- 5  チャネルフリー指示機能が有効になっている場合、相手先無線機が [PTT] ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャネルが応答できるようになったことを示しています。[PTT] ボタンを押して応答します。  
**あるいは**  
事前に定められた時間中、音声アクティビティがない場合、通話が終了します。

- 6 無線機は、コールを開始する前の画面に戻ります。

個別コールの場合は、コール終了時に短い音が聞こえます。

**注:** キーパッドでエントリを数値キーに割り当てる方法については、39 ページの「プログラミング可能な数値キーにエントリを割り当てる」を参照してください。

### プログラム可能な通話ボタンを使用した無線通話の発信

**手順:**

- 1 プログラムされた通話ボタンを押すと、通話エントリ リストが表示されます。

---

- 2  または  を押して必要なサブスクライバのエリアまたは ID に移動し、 を押して選択します。アクセスコードが連絡先リストで事前に設定されていなかった場合、ディスプレイの 1 行目に [アクセスコード:] と表示されます。ディスプレイの 2 行目には点滅するカーソルが表示されます。アクセスコードを入力し、 を押して先に進みます。

---

- 3 ディスプレイの 1 行目に [コールちゅう] と表示されます。ディスプレイの 2 行目にサブスクライバのエリアまたは ID、そして通話アイコンが表示されます。

**4** 正常に行われた場合:

DTMF トーンが鳴ります。電話ユーザーのダイヤル トーンが鳴ります。ディスプレイの 1 行目にサブスクライバのエイリアスまたは ID、そして RSSI アイコンが表示されます。ディスプレイの 2 行目に[でんわ] および通話アイコンが表示されます。

**あるいは**

正常に行われなかった場合:

トーンが鳴り、ディスプレイに[でんわNG]と表示されます。無線機はアクセスコード入力画面に戻ります。

アクセスコードが[連絡先]リストで事前に設定されている場合、無線機はそのコールを開始する前の画面に戻ります。

**5** [PTT] ボタンを押して話し、放して聞きます。送信中は RSSI アイコンが消えます。

通話中に要求されて、さらに数字を入力するには:

ディスプレイの 1 行目に[つかケタ:]と表示されます。ディスプレイの 2 行目には点滅するカーソルが表示されます。

キーパッドを使用して追加の数字を入力し、を押して進みます。DTMF トーンが鳴り、無線機は前の画面に戻ります。

**あるいは**

[ワンタッチアクセス] ボタンを押します。DTMF トーンが鳴ります。ワンタッチアクセス ボタンのエントリが空の場合、ネガティブインジケータ トーンが鳴ります。

**6** 通話を終了するには を押します。

アクセスコードが連絡先リストで事前に設定されていない場合、ディスプレイの 1 行目に[ディアクセスコード]と表示されます。ディスプレイの 2 行目には点滅するカーソルが表示されます。非アクセスコードを入力し、を押して先に進みます。無線機は前の画面に戻ります。

**7** DTMF トーンが鳴り、ディスプレイに[でんわせつだん]と表示されます。**8** 正常に行われた場合:

トーンが鳴り、ディスプレイに[でんわしゅうりょう]と表示されます。無線機は、コールを開始する前の画面に戻ります。

**あるいは**

正常に行われなかった場合:

無線機は通話画面に戻ります。ステップ 6 と 7 を繰り返すか、電話機ユーザーが通話を終了するまで待ちます。

通話連絡先画面で [PTT] ボタンを押すと、トーンが鳴り、ディスプレイに[コール>OK]と表示されます。

電話機ユーザーが通話を終了するとトーンが鳴り、ディスプレイに[でんわしゅうりょう]と表示されます。

通話でリクエストされた追加の数字を入力している間に通話が終了した場合、無線機はそのコールを開始する前の画面に戻ります。

注: チャンネルアクセス中に  を押すと、コール試行が解除され、トーンが鳴ります。

コール中、アクセス解除コードが事前設定されている状態で **ワンタッチアクセス** ボタンを押すか、追加の数字の入力としてアクセス解除コードを入力すると、無線機はコールを終了しようとします。

チャンネルアクセス中およびコードのアクセス/非アクセス中、あるいは追加の数字の送信中は、無線機は **[オン/オフ]** ボタン、**音量の [オン/オフ]** ボタン、または **[チャンネルアップ]** **[チャンネルダウン]** ボタンのみに応答します。入力するたびにトーンが鳴ります。

アクセスコードまたはアクセス解除コードは、10文字以上に設定できません。

## 連絡先から通話を行う

注:

手順:

- 1  を押してメニューにアクセスします。

---

- 2  または  を押して **[れんらくさき]** に移動し、 を押して選択します。エントリはアルファベット順にソートされます。

---

- 3  または  を押して必要なサブスクライバのエイリアスまたは ID に移動します。

あるいは

-  または  を押して **[ダイアル]** に移動し、 を押して選択します。

-  または  を押して **[Tel ばんごう]** に移動し、 を押して選択します。

ディスプレイの 1 行目に **[ばんごう:]** と表示されます。ディスプレイの 2 行目には点滅するカーソルが表示されます。キーパッドを使用して、電話番号を入力します。

---

- 4  を押して選択します。

選択したエントリが空の場合、ネガティブインジケータトーンが鳴り、ディスプレイに **[つうわむこう #]** と表示されます。

---

- 5  または  を押して **[つうわ]** に移動し、 を押して選択します。

アクセスコードが連絡先リストで事前に設定されていなかった場合、ディスプレイの 1 行目に **[アクセスコード:]** と表示されます。ディスプレイの 2 行目で、カーソルが点滅します。アクセスコードを入力し、 を押して先に進みます。

---

6 ディスプレイの 1 行目に [コールちゅう] と表示されます。ディスプレイの 2 行目にサブスクライバのエイリアスまたは ID、そして通話アイコンが表示されます。

7 正常に行われた場合:

DTMF トーンが鳴ります。電話ユーザーのダイヤル トーンが鳴ります。ディスプレイの 1 行目にサブスクライバのエイリアスまたは ID、そして RSSI アイコンが表示されます。ディスプレイの 2 行目に [でんわ] および通話アイコンが表示されます。

あるいは

正常に行われなかった場合:

トーンが鳴り、ディスプレイに [でんわ NG] と表示されます。無線機はアクセス コード入力画面に戻ります。アクセス コードが [連絡先] リストで事前に設定されている場合、無線機はそのコールを開始する前の画面に戻ります。

8 [PTT] ボタンを押して話し、放して聞きます。送信中は RSSI アイコンが消えます。

通話中に要求されて、さらに数字を入力するには:

ディスプレイの 1 行目に [つかケタ:] と表示されます。ディスプレイの 2 行目には点滅するカーソルが表示されます。キーパッドを使用して追加の数字を入力し、 を押して進みます。DTMF トーンが鳴り、無線機は前の画面に戻ります。

あるいは

[ワンタッチ アクセス] ボタンを押します。DTMF トーンが鳴ります。ワンタッチ アクセス ボタンのエントリが空の場合、ネガティブインジケータ トーンが鳴ります。

9 通話を終了するには  を押します。

アクセス コードが連絡先リストで事前に設定されていない場合、ディスプレイの 1 行目に [ディアクセスコード] と表示されます。ディスプレイの 2 行目には点滅するカーソルが表示されます。非アクセス コードを入力し、 を押して先に進みます。無線機は前の画面に戻ります。

10 DTMF トーンが鳴り、ディスプレイに [でんわせつだん] と表示されます。

11 正常に行われた場合:

トーンが鳴り、ディスプレイに [でんわしゅうりょう] と表示されます。無線機は通話画面に戻ります。

あるいは

正常に行われなかった場合:

無線機は通話画面に戻ります。ステップ 9 と 10 を繰り返すか、電話機ユーザーが通話を終了するまで待ちます。

通話連絡先画面で [PTT] ボタンを押すと、トーンが鳴り、ディスプレイに [コール>OK] と表示されます。

電話機ユーザーが通話を終了するとトーンが鳴り、ディスプレイに [でんわしゅうりょう] と表示されます。

通話でリクエストされた追加の数字を入力している間に通話が終了した場合、無線機はそのコールを開始する前の画面に戻ります。

**注：** チャンネルアクセス中に  を押すと、コール試行が解除され、ネガティブインジケータ トーンが鳴ります。無線機は通話画面に戻ります。

コール中、アクセス解除コードが事前設定されている状態で **ワンタッチアクセス** ボタンを押すか、追加の数字の入力としてアクセス解除コードを入力すると、無線機はコールを終了しようとします。

チャンネルアクセス中およびコードのアクセス/非アクセス中、あるいは追加の数字の送信中は、無線機は **[オン/オフ]** ボタン **[音量アップ]** **[音量ダウン]** ボタンまたは **[チャンネルアップ]** **[チャンネルダウン]** ボタンのみに応答します。入力するたびにトーンが鳴ります。

アクセスコードまたはアクセス解除コードは、10文字以上に設定できません。

## エイリアス検索によるグループコール、個別コール、または一斉コールの実行

エイリアス検索や英数字検索を使用して、必要なサブスクライバのエイリアスを取得することもできます。

この機能は、連絡先でのみ利用できます。

**手順：**

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2  または  を押して [れんらくさき] に移動し、 を押して選択します。エントリはアルファベット順にソートされます。

- 3 必要なエイリアスの最初の文字を入力します。

- 4 点滅するカーソルが表示されます。キーパッドを使用して、必要なゾーンを入力します。

 を押して、スペース 1 つ分右側に移動します。

 を押して、不要な文字を削除します。

 を長く押して、大文字と小文字の間で切り替えます。

- 5 ディスプレイの 1 行目に、入力した文字が表示されます。ディスプレイの 2 行目には、検索結果の短い一覧が表示されます。エイリアス検索には大文字と小文字の区別があります。同じ名前のエイリアスが 2 つ以上ある場合は、無線機には、連絡先リストで最初にリストされたエイリアスが表示されます。

- 6 **[PTT]** ボタンを押して、通話を発信します。LED が緑色に点灯します。1 行目に、通信先無線機の ID が表示されます。2 行目には、コールタイプとコールアイコンが表示されます。

- 7 通話許可トーンが完了するまで待機し (有効な場合)、マイクに向かってはっきりと話してください。

- 8 [PTT] ボタンを離して聞きます。相手先無線機が応答すると、LED が緑色に点滅します。宛先のエイリアスが表示されます。
- 
- 9  チャンル フリー指示機能が有効になっている場合、相手先無線機が [PTT] ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。[PTT] ボタンを押して応答します。  
あるいは  
プログラムされた時間中、音声アクティビティがない場合、通話が終了します。
- 
- 10 短いトーンが鳴ります。ディスプレイには [コールしゅうりょう] と表示されます。
- 

注: エイリアス検索を終了するには、 ボタンまたは  を押し、エイリアス検索を終了します。

## エイリアス検索を使用したスキャン リストへのエントリの表示

手順:

- 1  を押してメニューにアクセスします。

---

- 2  または  を押して [スキャン] に移動し、 を押して選択します。

---

- 3  または  を押して [スキャン リスト] に移動し、 を押して選択します。

---

- 4 必要なエイリアスの最初の文字を入力します。

---

- 5 点滅するカーソルが表示されます。キーボードを使用して、必要なゾーンを入力します。  
 を押して、スペース 1 つ分右側に移動します。  
 を押して、不要な文字を削除します。  
 を長く押して、大文字と小文字の間で切り替えます。

---

- 6 ディスプレイの 1 行目に、入力した文字が表示されます。ディスプレイの 2 行目には、検索結果の短い一覧が表示されます。

---

エイリアス検索には大文字と小文字の区別があります。同じ名前前で 2 つ以上のエントリがある場合は、無線機には、スキャンリストで最初にリストされたエントリが表示されます。

## 📄 エイリアス検索を使用したスキャン リストの編集

### 📄 スキャン リストへの新規エントリの追加

手順:

- 1 **[OK]**を押してメニューにアクセスします。

---

- 2 **[P2]**または**[P3]**を押して[スキャン]に移動し、**[OK]**を押して選択します。

---

- 3 **[P2]**または**[P3]**を押して[スキャンリスト]に移動し、**[OK]**を押して選択します。

---

- 4 **[P2]**または**[P3]**を押して[メンバーつかい]に移動し、**[OK]**を押して選択します。

---

- 5 必要なエイリアスの最初の文字を入力します。

---

- 6 点滅するカーソルが表示されます。  
キーパッドを使用して、必要なゾーンを入力します。  
**[#]**を押して、スペース1つ分右側に移動します。  
**[\*]**を押して、不要な文字を削除します。  
**[0]**を長く押して、大文字と小文字の間で切り替えます。

7 ディスプレイの1行目に、入力した文字が表示されます。ディスプレイの2行目には、検索結果の短い一覧が表示されます。エイリアス検索には大文字と小文字の区別があります。同じ名前のエイリアスが2つ以上ある場合は、無線機には、リストで最初にリストされたエイリアスが表示されます。

- 8 **[OK]**を押して選択します。

---

- 9 **[P2]**または**[P3]**を押して必要な優先度に移動し、**[OK]**を押して選択します。

---

- 10 ディスプレイには、ミニ通知が表示され、その直後に[つかい?]が表示されます。

---

- 11 **[P2]**または**[P3]**を押して[はい]に移動し、**[OK]**を押して選択します。別のエントリを追加するには、ステップ5～9を繰り返します。  
**あるいは**  
**[P2]**または**[P3]**を押して[いいえ]に移動し、**[OK]**を押して現在のリストを保存します。

## 📁 スキャン リストからのエントリの削除

手順:

- 1  を押してメニューにアクセスします。

---

- 2  または  を押して [スキャン] に移動し、 を押して選択します。

---

- 3  または  を押して [スキャンリスト] に移動し、 を押して選択します。

---

- 4 必要なエイリアスの最初の文字を入力します。

---

- 5 点滅するカーソルが表示されます。キーパッドを使用して、必要なゾーンを入力します。  
 を押して、スペース 1 つ分右側に移動します。  
 を押して、不要な文字を削除します。  
 を長く押して、大文字と小文字の間で切り替えます。

---

- 6 ディスプレイの 1 行目に、入力した文字が表示されます。ディスプレイの 2 行目には、検索結果の短い一覧が表示されます。エイリアス検索には大文字と小文字の区別があります。同じ名前のエントリが 2 つ以上ある場合は、無線機には、スキャンリストで最初にリストされたエントリが表示されます。

- 7  を押して選択します。

---

- 8  または  を押して [さくじょ] を選択し、 を押して選択します。

---

- 9 [エントリをさくじょ?] が表示されたら、 または  を押して [はい] に移動し、 を押して選択し、エントリを削除します。ディスプレイにミニ通知が表示されます。  
**あるいは**  
 または  を押して [いいえ] に移動し、 を押して、前の画面に戻ります。

---

- 10 その他のエントリを削除するには、ステップ 4 ~ 9 を繰り返します。

すべての必要なエイリアスまたは ID を削除したら、 を長く押してホーム画面に戻ります。

## 📁 スキャン リスト内のエントリの優先度の設定と編集

手順:

- 1  を押してメニューにアクセスします。

---

- 2  または  を押して [スキャン] に移動し、 を押して選択します。

- 3 **◀P2** または **P3▶** を押して [スキャンリスト] に移動し、  
**☑OK** を押して選択します。

---

- 4 必要なエイリアスの最初の文字を入力します。

---

- 5 点滅するカーソルが表示されます。  
キーパッドを使用して、必要なゾーンを入力します。  
**#** を押して、スペース 1 つ分右側に移動します。  
**\*** を押して、不要な文字を削除します。  
**0** を長く押して、大文字と小文字の間で切り替えます。

---

- 6 ディスプレイの 1 行目に、入力した文字が表示されます。ディスプレイの 2 行目には、検索結果の短い一覧が表示されます。エイリアス検索には大文字と小文字の区別があります。同じ名前前で 2 つ以上のエントリがある場合は、無線機には、スキャンリストで最初にリストされたエントリが表示されます。

---

- 7 **☑OK** を押して選択します。

---

- 8 **◀P2** または **P3▶** を押して [ゆうせんど] に移動し、**☑OK** を押して選択します。

---

- 9 **◀P2** または **P3▶** を押して必要な優先度移动到、**☑OK** を押して選択します。

10 ディスプレイにミニ通知が表示され、その後前に前の画面に戻ります。

11 優先度アイコンがメンバー名の左側に表示されます。

**優先度をなしに設定すると優先度アイコンは表示されません。**

### ☑ 通話リストからのエイリアスまたは ID の保存

手順:

- 1 **☑OK** を押してメニューにアクセスします。

---

- 2 **◀P2** または **P3▶** を押して [つうわりれき] に移動し、**☑OK** を押して選択します。

---

- 3 **◀P2** または **P3▶** を押して必要なリストに移動し、**☑OK** を押して選択します。

---

- 4 **◀P2** または **P3▶** を押して必要なエイリアスまたは ID に移動し、**☑OK** を押して選択します。

---

- 5 **◀P2** または **P3▶** を押して [ほかん] に移動し、**☑OK** を押して選択します。

---

- 6 点滅するカーソルが表示されます。必要に応じて、当該 ID のエイリアスを入力し、**☑OK** を押します。

---

- 7 ディスプレイにミニ通知が表示されます。

エイリアスなしで ID を格納することもできます。

### 📄 手動ダイヤルによるページング 📞

手順:

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して [れんらくさき] に移動し、 を押して選択します。
- 3  または  を押して [ダイヤル] に移動し、 を押して選択します。
- 4 点滅するカーソルが表示されます。ページングを送信するサブスクライバ ID を入力し、 を押します。
- 5  または  を押して [ページング] に移動し、 を押して選択します。
- 6 ディスプレイには [ページング] とサブスクライバのエイリアスまたは ID が表示されます。これはページングが送信されたことを示します。
- 7 無線機がページングを送信している間は LED が緑色に点灯します。

- 8 ページング承認を受信すると、ディスプレイにミニ通知が表示されます。  
あるいは  
ページング承認を受信しない場合、ディスプレイにミニ通知が表示されます。

### 📄 RSSI 値

ご使用の無線機のディスプレイ上部に受信信号強度インジケータ (RSSI) アイコンが表示されます。この機能により、RSSI 値を表示できます。

手順:

ホーム画面が表示されている場合:

- 1 8 秒以内に、 を 3 回押し、 を長く押します。
- 2 ディスプレイには現在の RSSI 値が表示されます。  
ホーム画面に戻るには、 ボタンを長く押します。

**RSSI アイコンについての詳細は、11 ページの「ディスプレイアイコン」を参照してください。**

## ■ テキスト メッセージング

件名の行 (電子メールアプリケーションからのメッセージを受信すると表示される) を含むメッセージ送信の**最大長は、140 文字**です。それに対して、受信の場合の最大長は **280 文字**です。

無線機は、無操作タイマーが終了後に、現在の画面を終了します。作成/編集画面のあらゆるメッセージは、下書きフォルダに自動的に保存されます。

**注:**  ボタンを長く押すと、いつでもホーム画面に戻ります。

### 送信失敗メッセージの管理

メッセージの送信に失敗すると、[さいそうしん] オプション画面に戻ります。

### 手動ダイヤルによるテキストメッセージの転送

[てんそう] を選択し、別のサブスクライバ/グループのエイリアスまたは ID にメッセージを送信します。

手順:

- 1  または  を押して [てんそう] に移動し、 を押して選択します。
- 2  または  を押して [ダイヤル] に移動し、 を押して選択します。  
ディスプレイの 1 行目に [むせん ID:] と表示されます。  
サブスクライバ ID を入力し、 を押します。
- 3 ディスプレイには経過に関するミニ通知が表示され、メッセージが送信中であることが示されます。
- 4 メッセージが送信されると、トーンが鳴り、ディスプレイにミニ通知が表示されます。  
**あるいは**  
メッセージが送信されない場合、低いトーンが鳴り、ディスプレイにミニ通知が表示されます。

## ■ デュアル トーン マルチ周波数 (DTMF)

デュアル トーン マルチ周波数 (DTMF) 機能を使用することで、無線機は無線機システム内で電話機システムを操作できます。

手順:

DTMF 通話を行うには、以下の手順を実行します。

- 1 [PTT] ボタンを押し続けます。
- 2 必要な数値、\* または # を入力します。

すべての無線機 トーンと警告を無効にすることで、DTMF トーンをオフにできます (75 ページの「無線機 トーン/警告のオンとオフの切り替え」を参照)。

## ■ セキュリティ

### 手動ダイヤルによる無線機の停止

手順:

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して [れんらくさき] に移動し、 を押して選択します。エントリーはアルファベット順にソートされます。
- 3  または  を押して [ダイヤル] に移動し、 を押して選択します。  
 または  を押して [こべつコール] に移動し、 を押して選択します。  
ディスプレイの 1 行目に [むせん ID] と表示されます。  
サブスクライバ ID を入力し、 を押します。
- 4  または  を押して [むせんていし] に移動し、 を押して選択します。
- 5 ディスプレイには経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。LED が緑色に点滅します。
- 6 確認応答を待ちます。

- 7 成功すると、ポジティブインジケータ トーンが鳴り、ディスプレイにミニ通知が表示されます。  
あるいは  
失敗の場合、ネガティブインジケータ トーンが鳴り、ディスプレイにミニ通知が表示されます。
- 

無線機停止操作中に **[OK]** を押さないでください。承認メッセージが受信できなくなります。

### 📄 手動ダイヤルによる無線機停止の解除

手順:

- 1 **[OK]** を押してメニューにアクセスします。

---

  - 2 **[P2]** または **[P3]** を押して [れんらくさき] に移動し、**[OK]** を押して選択します。エントリはアルファベット順にソートされます。

---

  - 3 **[P2]** または **[P3]** を押して [ダイヤル] に移動し、**[OK]** を押して選択します。  
**[P2]** または **[P3]** を押して [こべつコール] に移動し、**[OK]** を押して選択します。  
ディスプレイの 1 行目に [むせん ID:] と表示されます。  
サブスクライバ ID を入力し、**[OK]** を押します。
- 

- 4 **[P2]** または **[P3]** を押して [ていしかいじょ] に移動し、  
**[OK]** を押して選択します。
- 

- 5 ディスプレイに [ていしかいじょ] および加入者のエイリアスまたは ID が表示されます。LED が緑色に点灯します。
- 

- 6 確認応答を待ちます。
- 

- 7 成功すると、ポジティブインジケータ トーンが鳴り、ディスプレイにミニ通知が表示されます。  
あるいは  
失敗の場合、ネガティブインジケータ トーンが鳴り、ディスプレイにミニ通知が表示されます。
- 

停止解除操作中に **[OK]** を押さないでください。承認メッセージが受信できなくなります。

## ■ パスワード ロック機能

この機能が有効になると、起動時にパスワードを介し無線機にアクセスします。キーパッドマイクまたは左右のナビゲーションボタンを押してパスワードを入力します。

### 📁 パスワードを使用した無線機へのアクセス

#### 手順:

無線機を起動します。

1 連続音が聞こえます。

2 キーパッド付きマイクを使用して、現在の 4 つの数値から成るパスワードを入力します。

ディスプレイには [●●●●] と表示されます。☎OK を押して先に進みます。

#### あるいは

現在の 4 つの数値から成るパスワードを入力します。⏏P2

または ⏏P3 を押して各桁の数値を編集し、☎OK を押して選択された桁を入力し、次の桁に移動します。各桁が ● に変化します。選択を確認するには、☎OK を押します。数値を押すたびに、ポジティブインジケータ トーンが鳴ります。

3 パスワードが正しい場合:

無線機は起動します。2 ページの「無線機の電源を入れる」を参照してください。

#### あるいは

パスワードが正しくない場合:

ディスプレイに [パスワードふてきごう] と表示されます。ステップ 2 を繰り返します。

#### あるいは

誤ったパスワードを 3 回入力すると、ディスプレイには、[パスワードふてきごう] に続き、[むせんきロックずみ] と表示されます。トーンが鳴り、黄色の LED が 2 回点滅します。

**無線機は 15 分間のロック ステータスに入ると、[オン/オフ] ボタンからの入力のみに対応します。**

**注:** 無線機は、緊急通話、ロック ステータスを含むどのような通話も受信できません。

緊急フットスイッチを使用すると、無線機にアクセスするためのパスワードの入力がキャンセルされます。

## 無線機をロックステータスからロック解除する

### 手順:

15分間待機します。110ページの「パスワードを使用した無線機へのアクセス」にあるステップ1～3を繰り返します。

### あるいは

ロックステータスで無線機を切った場合は、以下の様に無線機を起動します。

- 1 トーンが鳴り、黄色のLEDが2回点滅します。ディスプレイに[むせんきロックずみ]と表示されます。
- 2 15分間待機します。110ページの「パスワードを使用した無線機へのアクセス」を繰り返します。

無線機を起動すると、ロック状態の15分タイマが再始動します。

## パスワードロックのオン/オフを切り換える

### 手順:

- 1 **[OK]**を押してメニューにアクセスします。
- 2 **[P2]**または**[P3]**を押して[せってい]に移動し、**[OK]**を押して選択します。
- 3 **[P2]**または**[P3]**を押して[きのうせってい]に移動し、**[OK]**を押して選択します。

- 4 **[P2]**または**[P3]**を押して[パスワードロック]に移動し、

**[OK]**を押して選択します。

- 5 4つの数値から成るパスワードを入力します。110ページの「パスワードを使用した無線機へのアクセス」にあるステップ2を参照してください。

- 6 パスワードが正しい場合:

**[P2]**または**[P3]**を押して[オン]に移動し、パスワードロックをオンにします。ディスプレイの[オン]の隣に✓が表示されます。

### あるいは

**[P2]**または**[P3]**を押して[オフ]に移動し、パスワードロックをオフにします。ディスプレイの[オフ]の隣に✓が表示されます。

### あるいは

パスワードが正しくない場合:

ディスプレイに[パスワードふてきごう]と表示され、前のメニューに自動的に戻ります。

## 📄 パスワードの変更

手順:

- 1 **[P2]**を押してメニューにアクセスします。

---
- 2 **[P2]**または**[P3]**を押して[せってい]に移動し、**[OK]**を押して選択します。

---
- 3 **[P2]**または**[P3]**を押して[きのうせってい]に移動し、**[OK]**を押して選択します。

---
- 4 **[P2]**または**[P3]**を押して[パスワードロック]に移動し、**[OK]**を押して選択します。

---
- 5 キーパッド付きマイクを使用して、現在の4つの数値から成るパスワードを入力します。  
110ページの「**パスワードを使用した無線機へのアクセス**」にあるステップ2を参照してください。

---

- 6 パスワードが正しい場合:  
**[P2]**または**[P3]**を押して[パスワードへんこう]に移動し、**[OK]**を押して選択します。  
**あるいは**  
パスワードが正しくない場合:  
ディスプレイに[パスワードふてきごう]と表示され、前のメニューに自動的に戻ります。

---
- 7 キーパッドマイクを使用して、4桁の新しいパスワードを入力します。  
110ページの「**パスワードを使用した無線機へのアクセス**」にあるステップ2を参照してください。

---
- 8 4つの数値から成る新規パスワードを再入力します。110ページの「**パスワードを使用した無線機へのアクセス**」にあるステップ2を参照してください。

---
- 9 新規パスワードの入力が双方で一致する場合:  
ディスプレイに[パスワードへんこうずみ]と表示されます。  
**あるいは**  
新規パスワードの入力が双方で一致しない場合:  
ディスプレイに[パスワードふてきごう]と表示されます。

---
- 10 画面は前のメニューに自動的に戻ります。

---

## ■ 正面パネル プログラミング (FPP)

特定の機能のパラメータをカスタマイズして無線機を効果的に利用できます。

### 📖 FPP モードの開始

手順:

- 1 **[OK]** を押してメニューにアクセスします。
- 2 **[P2]** または **[P3]** を押して [せってい] に移動し、**[OK]** を押して選択します。
- 3 **[P2]** または **[P3]** を押して [PGM Radio] に移動し、**[OK]** を押して選択します。

注: **[P2]** ボタンを長く押すと、いつでもホーム画面に戻ります。

### 📖 FPP モードパラメータの編集

機能パラメータをナビゲートするときに必要に応じて次のボタンを使用します。

**[P2]** または **[P3]** – オプションをスクロールしたり、値を増減したり、垂直にナビゲートしたりします。

**[P3]** – オプションを選択したり、サブメニューを表示します。

**[P2]** – 短く押すと、前のメニューに戻ったり、選択画面を終了したりすることができます。ホーム画面に戻るには、長く押します。

## アクセサリ

お使いの無線機は、本章に記載されているアクセサリと互換性があります。詳しくはディーラーにお問い合わせください。

アンテナ	114 ページ
音声	114 ページ
ケーブル	115 ページ
取り付けキット	115 ページ
その他アクセサリ	115 ページ

### ■ アンテナ

- VHF、136 ~ 144 MHz、1/4 ウェーブ ルーフ マウント、ミニ U (HAD4006\_)
- VHF、144 ~ 150.8 MHz、1/4 ウェーブ ルーフ マウント、ミニ U (HAD4007\_)
- VHF、150.8 ~ 162 MHz、1/4 ウェーブ ルーフ マウント、ミニ U (HAD4008\_)
- VHF、162 ~ 174 MHz、1/4 ウェーブ ルーフ マウント、ミニ U (HAD4009\_)
- VHF、132 ~ 174 MHz、3.0 dB ゲイン、スルーホール マウント、ミニ U (HAD4022\_)
- UHF、403 ~ 430 MHz、1/4 ウェーブ ルーフ マウント、ミニ U (HAE4002\_)

- UHF、450 ~ 470 MHz、1/4 ウェーブ ルーフ マウント、ミニ U (HAE4003\_)
- UHF、470 ~ 512 MHz、1/4 ウェーブ ルーフ マウント、ミニ U (HAE4004\_)
- UHF、406 ~ 420 MHz、3.5 dB ゲイン ルーフ マウント、ミニ U (HAE4010\_)
- UHF、450 ~ 470 MHz、3.5 dB ゲイン ルーフ マウント、ミニ U (HAE4011\_)
- UHF、403 ~ 527 MHz、2dB ゲイン、スルーホール マウント、Mini-U (HAE6022\_)
- UHF、445 ~ 470 MHz、5 dB ゲイン ルーフ マウント、ミニ U (ベース付き) (RAE4004\_RB)
- UHF、445 ~ 470 MHz、5dB ゲイン、スルーホール マウント、ミニ U (ベースなし) (RAE4004\_)

### ■ 音声

- バイザ マイク (全方向性) (GMMN4065\_)
- マイク掛けクリップ (要取り付け) (HLN9073\_)
- マイク掛けクリップ (ユニバーサル - 取り付けの必要なし) (HLN9414\_)
- 外部スピーカー 7.5 W (HSN8145\_)
- 外部スピーカー 13 W (RSN4001\_)

- 外部スピーカー 5 W (RSN4004\_)
- 電話機スタイルのハンドセット (PMLN6481\_)
- 携帯電話ヘッドセット (PMLN6520\_)
- 拡張キーパッド付きマイク (PMMN4089\_)
- クリップ付きコンパクトマイク (PMMN4090\_)
- ヘビー デューティ マイク (PMMN4091\_)

## ■ ケーブル

- 携帯電源ケーブル 10 フィート、14 AWG、15A (HKN4137\_)
- 携帯電源ケーブル 10 フィート、12 AWG、20A (HKN4191\_)
- 携帯電源ケーブル 20 フィート、10 AWG、20A (HKN4192\_)
- イグニッション スイッチ ケーブル (RKN4136\_)
- フロント Telco MMP USB プログラミング ケーブル (PMKN4147\_)
- バック 20 ピン MAP USB プログラミング ケーブル (PMKN4148\_)
- バック 20 ピン MAP テストおよび USB プログラミング ケーブル (PMKN4149\_)
- バック 20 ピン MAP テスト ケーブル (PMKN4150\_)
- バック 16 ピン MAP ユニバーサル ケーブル (PMKN4151\_)

## ■ 取り付けキット

- DIN マウント (FTN6083\_)
- ロー プロファイル トラニオン キット (RLN6466\_)
- ハイ プロファイル トラニオン キット (RLN6467\_)
- キー ロック トラニオン キット (RLN6468\_)
- トラニオン蝶ねじ M5 x 0.8 x 9.9mm (03012045001)

## ■ その他アクセサリ

- コネクタとピン付きリア アクセサリ コネクタ シーリング (GMBN1021\_)
- 16 ピン MAP コネクタ キット (HLN9457\_)
- 緊急フットスイッチ付き外部 PTT (RLN4836\_)
- リモート PTT 付きフットスイッチ (RLN4856\_)
- リモート PTT 付き押しボタン (RLN4857\_)
- シャーシ エリミネータ キット (PMEN4041\_)
- コネクタ エクステンダ - 20 個 (PMLN5620\_)

---

## メモ



Radio Communication Solutions

株式会社 ジャパンエニックス

JAPAN ENIX CO.,LTD.

本 社 東京都品川区南品川 2-7-18 TEL 03-5715-2351

関 西 支 店 大阪市西区千代崎 1-24-11 TEL 06-6583-7700

札幌営業所  名古屋営業所

仙台営業所  九州営業所



<https://www.jenix.co.jp/>

営業所住所はこちら▶



**MOTOROLA**

Motorola Solutions Malaysia Sdn Bhd (Co. No. 455657-H)

Plot 2 Bayan Lepas Technoplex Industrial Park

Mukim 12 S.W.D

11900 Penang, Malaysia

モトローラ・ソリューションズ株式会社

〒106-0032

東京都港区六本木1-8-7

MOTOROLA, MOTO, MOTOROLA SOLUTIONS and the Stylized M logo are trademarks or registered trademarks of Motorola Trademark Holdings, LLC and are used under license.

All other trademarks are the property of their respective owners.

© 2013 Motorola Solutions, Inc. All rights reserved.

June 2013. Printed in Malaysia.

[www.motorolasolutions.com/mototrbo](http://www.motorolasolutions.com/mototrbo)



68012008034-A